

個人別成果報告に関する資料

No. 0

● 館長

岩槻 邦男 Kunio IWATSUKI

館長

1934年兵庫県生 京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。

東京大学名誉教授、放送大学客員教授

所属学協会：(社)日本植物学会(評議員、元会長ら)，(社)日本植物園協会(顧問、元会長ら)，日本植物分類学会(元会長ら)，日本シダ学会，生き物文化誌学会(編集委員)，熱帯生態学会，植物形態学会，日本地衣学会，国際植物園連合(直前会長)，国際植物分類学連合(元理事ら)，国際植物形態学会(評議員)，アメリカ植物分類学会(名誉会員)，国際シダ学連合，インドシダ学会(名誉会員)，アメリカシダ学会，イギリスシダ学会，その他

<研究開発>

1 調査研究

■論文・著書 著書

岩槻邦男，(2006)『植物の利用 30 講』(図説生物学 30 講シリーズ植物 2)。朝倉書店。

岩槻邦男，(2006)希少種の保護と生息地保全。村井俊治編『人とわがわい(上)』，366-384。

Koike, F., Clout, M. N., Kawamichi, M., de Poorter, M. & Iwatsuki, K. (eds.) (2007) Assessment and Control of Biological Invasion Risks. Biodiversity Network Japan, 1906.

審査付き論文

Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki, and J.-Y. Dubuisson. (2006) New insights into the phylogeny of the genus *Hymenophyllum* s. l. (Hymenophyllaceae): Revealing the polyphyly of *Mecodium*. *Syst. Bot.* 31, 271-284.

Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., Hennequin, S. & Ito, M. (2006) A Taxonomic Revision of *Hymenophyllaceae*. *Blumea* 51, 221-280.

Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki & J.-Y. Dubuisson. (2006) Phylogenetic systematics and evolution of the genus *Hymenophyllum* (Hymenophyllaceae: Pteridophyta). *Fern Gaz.* 17 (5), 247-257.

Iwatsuki, K. 2006. Spherophylon, the concept of life at the level higher than individual. *Proc. Jap. Acad. B.* 82, 289-296.

Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., and Ito, M. 2007. Systematics of *Trichomanes* (Hymenophyllaceae: Pteridophyta), progress and future interests. *Fern Gaz.* in press.

講演集，著書分担等

Iwatsuki, K. (2006) Sacred forests connected with the temple shrines of Japan. *Conserving Cultural and Biological Diversity: the Role of Sacred Natural Sites and Cultural Landscapes*, 90-92. UNESCO-MAB

Iwatsuki, K. (2006) Alien species and wild flora. In Koike, F. & al. (eds.): *Assessment and Control of Biological Invasion Risks*, 2-3. *Biodiv. NW Japan*.

■その他著作(一部)

著作

岩槻邦男 シルクロードの植物たち 27-50 朝日週間百科『シルクロード紀行』27号-50号

岩槻邦男，(2006)生物多様性を生きる 6，ロゴスドン，66，54-57。

岩槻邦男，(2006)生物多様性を生きる 7，ロゴスドン，67，46-49。

岩槻邦男，(2006)生物多様性を生きる 8，ロゴスドン，68，44-47。

岩槻邦男，(2007)生物多様性を生きる 9，ロゴスドン，69，46-49。

岩槻邦男，(2006)7月の植物。プラント，No.106，3。

岩槻邦男，(2006)日本の絶滅危惧植物 87-88，プラント，No.106，59-60。

岩槻邦男，(2006)9月の植物，プラント，No.107，3。

岩槻邦男，(2006)ワラビ。プラント，No.107，4-6。

岩槻邦男，(2006)11月の植物，プラント，108，3。

岩槻邦男，(2006)日本の絶滅危惧植物 89-92，プラント，No.107，60-63。

岩槻邦男，(2006)植物と共に生きる，プラント，No.108，4-9。

岩槻邦男，(2006)日本の絶滅危惧植物 93-100，プラント，No.108，47-54。

岩槻邦男，(2006)生物多様性の持続的な利用—人と自然の共生。農業と経済，臨時増刊，72(14)，13-22。

岩槻邦男，師を語る：科学のための科学。学術月報，59(12)，54-55。

岩槻邦男，(2006)100年後の森。日経サイエンス，36(12)，3。

岩槻邦男，(2006)植物園の魅力。都市公園，175，2-4。刊行によせて，はじめに等

岩槻邦男，(2006)名前を通じて植物にしたしむ。緑・花文化の知識認定試験 公式問題集平成18年度版，6-7。

■研究発表

国際会議など

Iwatsuki, K., (2006) Harmonious Co-existence between Man and Nature. *Beijing Symposium on Biodiversity*, Beijing.

Iwatsuki, K., (2006) Biodiversity and Mankind— for

harmonious co-existence between nature and mankind - Professor Wu Cheng-yi's 90 years memorial symposium, Kunming.

Iwatsuki, K., (2006) GBIF, its history, present status, and future prospect GBIF International Workshop, Tokyo.

■学会役員など

(社)日本植物園協会, 顧問。
自然史学会連合, 顧問。
アメリカ植物分類学会, 名誉会員。
インドシダ学会, 名誉会員。
インドネシア学術機構 (LIPI), 科学顧問。
マレーシア植物誌委員会, 評議員。
国際植物形態学会, 評議員。
Indian Fern Journal (印), 編集顧問。
Journal of Japanese Botany (日), 編集委員。
ビオヒストリー (生き物文化誌学会), 編集委員。
など。

■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析 - 中国と日本を対比して。日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究B海外), 研究代表者 (金額 832 万円/1532 万円)
「Flora of Japan IIa 巻」. 日本学術振興会科学研究費補助金 (出版助成), 研究代表者。 (金額 240 万円)
生物圏保存地域における生物多様性の回復予測。文部科学省科学研究費補助金 (特別研究促進費), 研究分担者 (80 万円/640 万円)

■海外調査

2006. 8 中華人民共和国福建省
2006. 12 中華人民共和国雲南省

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

■関係講演等

岩槻邦男, 2006. 8, 「ジャングルスクールに学ぶ - 学んだものをどう生かすか」。ジャングルスクール解団式, 三田市。
岩槻邦男, 2006. 9, 「外来生物と人の生活 - 現実をどうとらえ、それにどう対応するか」。企画展シンポジウム「どうする兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市。
岩槻邦男, 2007. 2, 植物からの警告 - 人と自然の調和ある共存に向けて。一白会, 神戸市。
岩槻邦男, 2007. 2, 「生物多様性の持続的利用」。関西学院大学講義, 三田市。
岩槻邦男, 2007. 3, 人と自然を生かした町づくり - 自然と共生する日本列島を。香美町村岡公民館, 香美町。

■館外講演等

岩槻邦男, 2006. 4, 「植物多様性の研究 - 現状と展望」。奈良植物研究会創立30周年記念大会, 近畿大学, 奈良市。
岩槻邦男, 2006. 4, 「人と自然の共生を考える」。グリーンセイバー, アドバンス講義, 環境工科専門学校, 東京都。
岩槻邦男, 2006. 5, 「生物多様性の調査研究 - その現状と展望」。兵庫生物学会創立60周年記念大会, 明石市。
岩槻邦男, 2006. 6, 「生命の寿命を考える - 生き物にとって

生きるとは」。奥野総合法律事務所研修会, 熱海。
岩槻邦男, 2006. 6, 「生物多様性と日本人のこころ」。日本法律家協会近畿支部総会, 大阪市。

岩槻邦男, 2006. 9, 「ヒトとこころ」。パネリスト, コスモスフォーラム IX, 大阪市。

岩槻邦男, 2006. 11, 「博物館は今 - 地域博物館に期待するもの」。新潟に博物館をつくる準備委員会, 新潟市。

岩槻邦男, 2006. 12, 「生物多様性を俯瞰する - 生物多様性の現状とこれから」。京都大学集中講義, 京都大学, 京都市。

岩槻邦男, 2006. 12, 「写真によるシダ植物研究者紹介2」。日本シダの会12月例会, 東京都。

岩槻邦男, 2007. 1, パネリスト, IUCN シンポジウム, 東京都。

岩槻邦男, 2007. 3, 「地域博物館がやるべきこと、やっていること」。日本学術会議中国・四国地区講演会, 広島市。

非常勤講師など

放送大学 客員教授として, 授業担当 (2科目の主任講師、1科目の分担講師), 大学院生の指導 (10人以上の客員指導教員; 修士号取得2名)。

京都大学大学院, 関西学院大学の授業担当。

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2, 共生のひろば コメンテーター。

2 シンクタンク事業

■行政等支援 (委員会, 学会役員など)

政府機関等委員

日本ユネスコ国内委員会, 委員 (自然科学小委員会委員長, MAB 分科会主査)。

中央環境審議会, 委員 (野生生物部会長, 世界自然遺産候補地検討委員会委員長ら)。 (-2007. 1)

文化学術審議会, 専門委員。

(独) 理化学研究所相談役

(独) 国立科学博物館, 評議員, アドバイザー。

(独) 国立科学博物館筑波実験植物園運営委員会, 副会長。

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所, アドバイザー。

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所生物資源委員会, 幹事。

(独) 科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会, 委員長。

日本学術会議第20期, 連携会員。

JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員会, 委員長。

国際機構等

国際植物園連合 (IABG), 直前会長。

国際植物情報機構地球植物誌編集委員会 (IOPI-SPP), 委員。法人等役員

国際生物学賞委員会, 委員。

国際生物学賞委員会選考専門委員会, 委員。

コスモス国際賞委員会, 委員。

日本国際賞審査委員会第2部, 会長。

みどりの学術賞選考委員 (委員長代理)。

(財) WWF - ジャパン, 常任理事。

(財) WWF - ジャパン自然保護委員会, 委員長。

(財) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団, 理事.
(財) 松下幸之助花博記念財団, 理事.
(財) 日本自然保護協会, 評議員.
(財) 国際生態学センター, 評議員.
(財) 国際花と緑の博覧会記念協会, 参与, コスモスフォーラム実行委員長.
(財) 公園緑地管理財団: 緑・花試験実行委員会, 副会長.
(財) 科学技術振興財団, 研究植物園助成選考委員.
(財) 昭和聖徳記念財団, 研究助成選考委員.
(NPO) 聚, グリーンセイバー実行委員長.
(NPO) ベルデ, 理事.
生物多様性 Japan, 代表.
兵庫県生涯教育審議会, 委員.
(財) ひょうご科学技術協会, 理事.

3. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 8 シダ植物標本の採集. 中華人民共和国福建省.
2006. 12 シダ植物標本の採集. 中華人民共和国雲南省.

■整理同定

1990 年代収集のベトナム産シダ植物の同定, 配架.
2006 年収集の中国産シダ植物の同定, 配架.

4. 特別プロジェクト

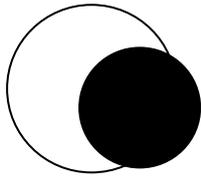
サバ・プロジェクト

ジャングルスクールの企画に参加し, JICA の受け入れ研究者
に対応, サバ大学学長・研究所長の来日時に対応するなど,
さまざまな機会に博物館とサバ大学の協力に貢献した.

GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト
国内技術専門委員会委員長として参画.

ファーブル展ひょうご・プロジェクト

ファーブル展 5 館共同事業実行委員として参画.



個人別成果報告に関する資料

No. 1

● 自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/
埋蔵自然遺産研究グループ

小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

地域環境地質研究グループ/研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所 共生博物館門 兼任

昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了.

理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会等所属, The

Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The

Paleontological Research 所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース (普及教育活動担当, 発掘担当, 地質調査担当)

■研究開発部門

研究開発部門調整担当, 旧地球科学研究部研究担当, 「人と自然」第19号編集担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史
2. 後期古生代・中生代有孔虫化石群集解析
3. 「小林文夫コレクション」の世界

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎Kobayashi, F. (2008) Late Paleozoic and Mesozoic foraminifers contained in the limestone fragments of the Kamade Breccia of the Upper Cretaceous Aioi Group from Kamade, northeastern part of Aioi, Hyogo, Japan. *Paleontological Research*, Vol.12, No. 3, 237-253.

◎Kobayashi, F. (2008) Carboniferous and Permian foraminifers from limestone fragments contained in the Upper Cretaceous Hiromine Formation in north of Himeji, Hyogo, Japan. *Paleontological Research*, Vol. 12, No. 4, 411-418.

Kobayashi, F. and Altiner, D. (2008) Fusulinoidean faunas from the Upper Carboniferous and Lower Permian platform limestone in the Hadim area, central Taurides, Turkey. *Rivista Italiana di Paleontologia e Stratigrafia*. Vol. 114, No. 2, 191-232.

◎小林文夫・後藤篤 (2008) 兵庫県丹波市上滝一下滝地域の下

部白亜系篠山層群下部層の層序と含礫層の結晶片岩礫の K-Ar 年代. *地質学雑誌*, 第114巻, 第11号, 577-586.

椎野勇太・鈴木雄太郎・小林文夫 (2008) 南部北上山地上八瀬地域の中部ペルム系細尾層から産出したフズリナ化石とその意義. *地質学雑誌*, 第114巻, 第4号, 200-205.

Kobayashi, F. (2008) *Aceroschwagerina endoi* Hanzawa from the Uokaneyama Limestone, Mino Terrane, central Japan. *Humans and Nature*, No. 19, 19-26.

Kobayashi, F. (2008) Late Early Permian (Kungurian) fusulines from Kamiishizu, south of Sekigahara, Gifu Prefecture, Japan. *Humans and Nature*, No. 19, 27-33.

■その他著作

Kobayashi, F. (2008) Lithology and foraminifers of Triassic limestones in the Maizuru Terrane of the Yakuno area, Kyoto Prefecture, Japan. *Humans and Nature*, No. 19, 61-65.

■研究発表

◎小林文夫・足立洸 (2008.7) 篠山層下部層の石灰岩礫と石灰岩礫の供給源. 日本地質学会 2008 年関西支部例会. 人と自然の博物館.

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008), 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み ~地学教育・まちづくりへの適応~. 日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008 年年会.

■学会役員など

日本地質学会, 代議員.

日本地質学会, 関西支部行事委員.

Micropaleontology, レフェリー.

Journal of Foraminiferal Research, レフェリー.

Rivista Italiana di Paleontologia e Stratigrafia, レフェリー.

地質学雑誌, レフェリー.

■助成を受けた研究

有孔虫化石の群集解析によるペルム系・三畳系石灰岩の起源と搬入・定置過程. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 130 万円/340 万円).

■海外調査

2008. 8-9. イタリアドロミテ地方, スイス中央アルプス, フランスジュラ山地

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 石灰岩・石灰岩礫岩岩石薄片の作成 (1500枚). 岐阜県赤坂石灰岩, 滋賀県霊仙山, 山口県秋吉石灰岩, 東京都西多摩郡奥多摩町・桧原村, イタリアドロミテ地方ペルム系・三畳系, フランスジュラ山地ジュラ系・白亜系, ジュネーブ南方サレーブ山地白亜系など (小林文夫コレクション).

2008. 4-2009. 3 石灰岩薄片写真資料 (1300点: 小林文夫コレクション)

2008. 8-9. ドロミテ地方ペルム三畳系境界層(hypostratotype, parastratotype)地質資料, ジュラ山地・サレーブ山地ジュラ系・白亜系地質資料, ベルナルオーバーアルペン地質資料.

2008. 1-6 篠山層地質資料, 丹波市・篠山市.

2009. 1-2 篠山層群産恐竜化石の発掘, 丹波市.

■整理同定担当資料

小林文夫コレクション (中・古生代石灰岩岩石薄片).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2008. 9, 「サンゴの薄片をつくろう」, 博物館. (8名)

小林文夫, 2008. 10. 「コノドント化石の抽出・観察」, 博物館. (11名)

小林文夫, 2009. 1. 「六甲山地の地形・活断層・上昇過程」, クラーク記念国際高校芦屋キャンパス. (120名)

小林文夫, 2008. 5. 「篠山層群と恐竜化石」, 博物館. (特注セミナー, 神戸大理学部学生・教員 29名)

小林文夫, 2008. 4. 「薄くしてみる岩石・化石」, 博物館. (オープンセミナー2回, 75名)

館外講演

小林文夫, 2008. 5, 「教科書的でない川, 武庫川」, 講師, フレミラ宝塚 (26名)

小林文夫, 2008. 6, 「教科書的でない川, 武庫川」, 武庫川流域環境講演会講師, 阪神北県民局 (40名).

小林文夫, 2008. 7, 「恐竜がいた大地ができるまで」, 兵庫県立大学公開講座講師, 丹波の森公苑 (40名).

小林文夫, 2008. 7, 「篠山川流域の地形・地質野外観察」, 兵庫県立大学公開講座講師, 丹波の森公苑 (40名).

小林文夫, 2008. 11, 「化石を通してみる地球の生い立ち」, 豊中市蜚池公民館秋の講座講師, 豊中市蜚池公民館(22名).

小林文夫, 2008. 11, 「北摂地域の地質と化石」, 豊中市蜚池公民館秋の講座講師, 豊中市蜚池公民館(22名).

兵庫県立大学・大学院教育

地域地質論

非常勤講師

2008. 5. 「地形のデザイン」, 神戸芸術工科大学, 分担.

2008. 10-11. 「大量絶滅と生物の進化」, 関西学院大学, 分担.

講師派遣

小林文夫, 2008. 10, 「篠山川河床の地層観察」, 理科おもしろ推進事業特別講師, (丹波市立上久下小学校児童 25名プラス丹波市立小学校教員 15名).

■研修生等の受け入れ

卒論生等

2006. 8-2009. 3 ジュネーブ大学 Faculte des Sciences, Section des Sciences de la Terre PHD student Jerome Chablais, 日本の古生代・中生代テクトニクス, 同三畳系地質・三畳紀有孔虫化石.

2007. 1-2009. 3 東京大学理学研究科博士課程 椎野勇太, 南部北上のテクトニクス; ペルム紀フズリナ生層序・古生物地理.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2005. 12-1. 「玄武洞ミュージアム」登録博物館審査, 審査員, 兵庫県教育委員会.

相談・指導助言

来訪者 5件, 10名. 電話・FAX 相談 10件.

■学会開催等支援

2008. 6 日本地質学会関西支部例会開催 人と自然の博物館, 40名.

佐藤 裕司, Hiroshi SATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物館部門 兼任

昭和32年大阪府生まれ。神戸大学大学院理学研究科修士課程修了。学術博士(神戸大学)。日本第四紀学会, 日本陸学会, 日本藻類学会, 日本珪藻学会, 日本環境教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 室長

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 分担者

■研究開発部門

研究部長代理, 研究部門会議担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 完新世の相対的海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎佐藤裕司 (2008) 瀬戸内海東部, 播磨灘沿岸域における完新世海水準変動の復元. 第四紀研究, 47: 247-259.

■その他著作

◎佐藤裕司・松原尚志・清水一文・藤原清尚 (2008) 日笠山貝塚 (兵庫県高砂市) から採取された貝類遺骸の¹⁴C年代. 人と自然, 19: 67-70.

◎兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子・佐藤裕司 (2008) シンポジウム「瀬戸内海の変遷—自然, 環境, 人」の趣旨. 第四紀研究, 47: 21-222.

◎佐藤裕司 (2009) 環境適合型社会に向けて. 兵庫県北播磨県民局県民生活部環境課発行, 北はりまエコニュース・ハリーン通信, 5: 4.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

◎谷川晃一朗・加藤茂弘・佐藤裕司・久保純子 (2008) 兵庫県丹波川下流域における沖積層層序と堆積環境. 日本地球惑星科学連合2008年大会, 幕張メッセ国際会議場 (5月).

◎狩谷千恵・兵頭政幸・佐藤裕司 (2008) 海洋酸素同位体ステージ11初期に起こった一時性的海面低下現象. 日本地球惑星科学連合2008年大会, 幕張メッセ国際会議場 (5月).

◎伴 英美香・佐藤裕司・加藤茂弘 (2008) 瀬戸内海東部沿岸域の海洋酸素同位体ステージ (MIS) 7における相対的海水準変動. 日本第四紀学会2008年大会, 東京大学, 東京 (8月).

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008), 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み ~地学教育・まちづくりへの適応~. 日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会2008年年会.

■学会役員など

2008.4-2009.3, 日本珪藻学会編集委員
論文査読, 日本珪藻学会 (8月)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 現生淡水藻類の標本採集. 丹波市・上郡町など.
2008.11-2009.3 篠山層群恐竜化石の発掘. 丹波市.

■整理司定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2008.4.26, 27, 5.10, 11, 「ため池をさぐる」, (全4回, のべ56名)

佐藤裕司, 2008.8.18, 教職員セミナー「地球史から読み解く温暖化問題」, (40名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2008.10.1, 8, 高校連携セミナー「身近な環境を調査しよう〜ピオトープ池を調べる〜」, キリンビール (株) 神戸工場, (のべ22名)

佐藤裕司, 2009.2.27, 特注セミナー「地球温暖化と海面上昇」, 明石市立高齢者大学あかおが丘, (101名)

オープンセミナー

変わった生きもの観察「マリモとそのなかま」, 2008.5.6. (73名)

変わった生きもの観察「イシクラゲの正体」, 2008.7.13. (51名)

変わった生きもの観察「不死身?の小動物, クマムシをさがそう」, 2008.10.11. (45名)

変わった生きもの観察「希少な藻類, カワモズク」, 2009.3.22. (58名)

館外講演

2008.6.11, いきいき学舎・フレミア専門コース「宝塚の自然・環境コース「宝塚周辺に探る氷河時代の環境変動」フレミア宝塚」(26名)

2008.7.19, 姫路赤十字病院地域医療連携交流会「地球温暖化と海面上昇」ホテル日航姫路 (140名)

2008.11.20, 兵庫県立大学公開講座「微生物が語る水惑星の環境史」, 兵庫県立大学本部 (23名)

2008.12.20, 六甲山魅力再発見市民セミナー「瀬戸内海の自然史と六甲山」六甲山YMCA 里見ホール. (29名)

2009.3.1, 平成20年度環境適合型社会づくりを目指す事例発表会, 基調講演「環境適合型社会に向けて」, 事例発表コーディネーター, 加東市社公民館 (87名)

2009.3.17, 兵庫県阪神シニアカレッジ・マイスター教室「地球温暖化と海面上昇」兵庫県阪神シニアカレッジ学習室 (160名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学全学共通教育科目「共生生物学」(オムニバス形式, 代表)

兵庫県立大学環境人間学研究所共生生物部門・学務担当
大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」

非常勤講師

2008.9-2009.3, 環境教育, 関西学院大学

ラジオ・テレビ等出演

2008.10.10, 「カンテンコケムシ, 神戸の池で発見」神戸新聞

■3) ミニキャラバン事業

2008.5.22, 環境フェア in KOBE 設営

2008.9.23, 兵庫県自治学会デモンストラーションコーナー (65名)

■連携事業

成果発表

2009. 2. 11, 共生の広場 「安室川の淡水産紅藻チヌジノリを復活させる試み (part III)」, 上郡町立上郡中学校科学部 (指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 3, 山南中学校 2名

学校団体対応

2008. 6. 10, 尼崎市立成良中学校 (69名) 講義「地球史から読み解く温暖化問題」

2008. 9. 21, 愛媛県立松山南高校 (14名) 講義「地球温暖化と海面上昇」

2009. 2. 19, 西宮市立甲陽園小学校 (139名) 講義「地球温暖化と海面上昇, どうすればいいの?」

2009. 3. 3, 東条町立東条東小学校 (41名) 実習「川の微生物」

講師派遣

2008. 6. 11, 「宝塚周辺に探る氷河時代の環境変動」, 講師, フレミラ宝塚 (26名).

2008. 7. 19, 「地球温暖化と海面上昇」, 講師, 姫路赤十字病院 地域医療連携交流会 (140名)

■研修生等の受入

卒論生等

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 大学院生2名 (神戸大学大学院理学研究科博士課程前期および後期課程), 卒論生2名 (神戸大学理学部)

■フェスティバル等

2008. 11 ひとつはくフェスティバル, 「深田公園本部」.

■展示

企画展

2009. 2 共生のひろば展 (分担者)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ピオトープ創出に関する研究」分担者, キリンビール株式会社神戸工場. (70万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 5名.

■行政等支援

委員会等 (計2件)

2008. 4-2009. 3, 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所

2008. 4-2009. 3, 安室川自然再生検討会・技術部会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所

相談・指導助言

来訪者16件, 27名. 電話・FAX相談5件, メール相談16件.

先山 徹, Tohru SAKIYAMA

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教

授.

昭和29年岐阜県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本鉱物科学会, 地学団体研究会, 日本地学教育学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

博物館ネットワーク構築タスクフォース リーダー
恐竜・化石タスクフォース サブリーダー, 活用担当
環境学習推進タスクフォース メンバー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 花崗岩の形成とマグマ混合の研究
2. 遺跡石材の岩石学と産地同定に関する研究
3. 兵庫の地質とその科学教育への活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 代表者.

■その他著作

◎先山 徹・高橋 晃・藤本真理・三枝春生・嶽山洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会講演要旨, 528.

◎先山 徹 (2009) ひとつはくが実施した「地質の日」イベント. 地質ニュース, No. 654, 40 - 43.

◎先山 徹 (2009) 第6章自然科学分析—第一節 石棺・葺石の分析. 時光寺古墳発掘調査報告書, 高砂市教育委員会, 95 - 96.

■研究発表

◎先山 徹 (2008) 兵庫県下とその近辺の白亜紀〜古第三紀深成岩類の岩相と帯磁率. 2008年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・藤本真理・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み〜地学教育・まちづくりへの適用〜. 2008年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会2008年年会.

■学会役員など

日本地質学会, 生涯教育委員.
地学団体研究会, 「地球科学」 常任エディター.

■助成を受けた研究

加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と
学校教材化に関する研究. 受託研究, 研究代表者 (金額 170
万円/170 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 歴史的石造物の石材に関する資料. 芦屋市,
高砂市, 大和高田市, 京都市.

■整理同定担当資料

岩石・鉱物 (花崗岩類, 大身谷鉱山鉱石).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

先山 徹・加藤茂弘, 2008. 5, 「春の石めぐりハイキングー二
上山ー」, 奈良県香芝市. (36 名)

先山 徹・加藤茂弘, 2008. 5~2009. 2, 「石ころクラブ」博物
館・丹波市・篠山市・宍粟市. (全 10 回, 161 名)

先山 徹, 2008. 7, 「石を知ろうー鉱物の見分け方入門」博物
館 (23 名)

先山 徹, 2008. 8, 「石を知ろうー岩石の見分け方入門」博物
館 (25 名)

先山 徹, 2008. 8, 「夏季教職員セミナー 石の観察と見分け
方」博物館 (41 名)

先山 徹, 2008. 8, 「夏季教職員セミナー 地震教材をつくら
う」博物館 (15 名)

先山 徹, 2008. 10, 「石を通して地域を知るー恐竜がいた頃
の日本」博物館 (8 名)

先山 徹, 2008. 11, 「石を通して地域を知るー千種たたらと
岩石」博物館 (18 名)

先山 徹, 2008. 12, 「石を通して地球を知るー大陸移動とプ
レート」博物館 (16 名)

先山 徹, 2009. 3, 「石を通して地球を知るー地球と大気の大
史」博物館 (21 名)

加藤茂弘・先山 徹, 2008. 9, 「秋の石めぐりハイキングー京
都府夜久野町ー」, 京都府福知山市. (17 名)

先山 徹, 2008. 7, 「石を見分けよう」石ころ調査隊, 博物館
(8 名)

先山 徹, 2008. 8, 「特注セミナー 恐竜がいたころの日本」
兵庫県立姫路飾西高等学校, 博物館 (38 名)

◎先山 徹, 2008. 6, 「オープンセミナー 偏光シートで遊ば
う」博物館 (52 名)

◎先山 徹, 2008. 8, 「オープンセミナー 蛍石をひからせよ
う」 (269 名)

◎先山 徹, 2008. 11, 「オープンセミナー 液状化実験を体験
しよう」 (90 名)

館外講演

先山 徹, 2008. 6, 「恐竜がいた頃の日本」, 出石中学校環境
学習, 出石中学校 (344 名)

先山 徹, 2008. 7, 「恐竜が見た火山」, 兵庫県立大学特別講
座, 丹波の森公苑 (40 名)

先山 徹, 2008. 9, 「甲山地質観察」, 六甲山自然案内人の会,
西宮市甲山周辺 (20 名)

先山 徹, 2008. 10, 「丹波竜と周辺の地層」, 丹波市ボランテ
ィアガイドセミナー, 丹波市上久下 (50 名)

先山 徹, 2008. 10, 「多田銀山と地質案内」, 猪名川町観光ボ
ランティア養成講座, 猪名川町 (27 名)

先山 徹, 2008. 10, 「宝塚の地質と岩石」, 宝塚市いきいき学
舎, 宝塚市 (30 名)

先山 徹, 2008. 10, 「箕谷の地質」, 石ころ探検隊, 神戸市北
区谷上 (9 名)

先山 徹, 2008. 10, 「六甲花崗岩と瀬戸内の花崗岩」, 石造物
研究会, 博物館 (18 名)

先山 徹, 2008. 10, 「恐竜発掘ケーキで科学しよう」, 博物館
(7 名)

先山 徹, 2008. 11, 「恐竜発掘ケーキで科学しよう」, 博物館
(7 名)

先山 徹, 2008. 11, 「恐竜発掘ケーキで科学しよう」, 神戸市
住吉〜御影 (6 名)

先山 徹, 2008. 11, 「恐竜発掘ケーキで科学しよう」, 県立祥
雲館高校 (7 名)

先山 徹, 2008. 12, 「南極大陸の自然」, 人と自然の会新人研
修会, 博物館 (40 名)

先山 徹, 2008. 12, 「谷上の地質」, 石ころ探検隊, 神戸市北
区 (3 名)

◎先山 徹, 2009. 1, 「グラリンで耐震・免震のしくみを知ろう」,
北淡活断層シンポジウム 2009, 北淡震災記念公園 (50 名).

先山 徹, 2009. 2, 「恐竜ラボと発掘現場案内」, 芦屋サンピ
ース, 博物館・丹波市 (19 名).

先山 徹, 2009. 3, 「恐竜の発掘と恐竜がいたころの日本」,
兵庫県立図書館, 兵庫県立図書館 (24 名).

先山 徹, 2009. 3, 「但馬の火山の成り立ち」, 但馬海岸ジオ
パークボランティアガイド講座, 豊岡市 (72 名).

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

非常勤講師

2008. 4-2008. 9. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■連携事業

共催事業

2008. 5, 丹波竜フェスティバル 2008, 丹波県民局・丹波市・
人と自然の博物館 (シンポジウム開催, 展示, イベントの
実施)

2008. 6, 2008 年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合
同例会公開講演会.

2009. 1, 公開授業『大地をさぐる』, 三田市立狭間小学校

2009. 1, 三田市小学校理科担当者会及び三田市教育研究グル
ープ理科部会の合同授業研修会, 三田市教育研究グルー
プ理科部会

協力事業

2008. 3~6, ようこそ恐竜ラボへ ~化石の謎をときあかす~,
大阪市自然史博物館 (展示貸出)

2008. 7~9, びっくり!どっきり!大化石展, 島根県立三瓶自

然館（展示貸出）

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 8, 兵庫県立姫路飾西高等学校, 講師（38名）

講師派遣

2008. 6, 「出石中学校環境学習」, 出石中学校全校生徒（344名）

2008. 4～2009. 3 「県立大付属中学プロジェクト学習」, 兵庫県立大学付属中学校2学年（5名）

■研修生等の受入

博物館実習

2002. 8. 8～8. 21, 新潟大学理学部学生1名, 神戸学院大学人文学部学生1名.

■展示

2009. 2. 7～2009. 3. 31, 常設展, 恐竜展示コーナー（責任者）.

2. シンクタンク事業

■受託研究

加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究（研究代表者）. 兵庫県東播磨県民局.（170万円）

■行政等支援

委員会等（計5件）

2008. 4-1. 六甲山自然保護センター, コーディネーター, 兵庫県神戸県民局.

2008. 4-1. 大坂城東六甲採石場調査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2008. 4-1. 玄武洞公園整備検討委員会, 委員, 豊岡市.

2008. 12-1. 文化財調査専門部会, 委員, 高砂市

2009. 1-1. 山陰海岸ジオパーク推進協議会専門部会兵庫分会, 分会長, 兵庫県但馬県民局.

相談・指導助言

来訪者8件, 電話・FAX相談5件, メール相談5件.

2008. 4 加古川露頭サンドパイプの保存と活用, 指導助言, 兵庫県東播磨県民局.

2008. 10 文化財の活用について, 指導助言, 高砂市.

2009. 1 石造物石材調査, 指導助言, 大和郡山市.

■学会開催等支援

2008. 6 2008年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会. 人と自然の博物館, 50名.

加藤 茂弘, Shigehiro KATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/研究・シンクタンク推進室

主任研究員

昭和35年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学. 理学修士. 日本地理学会, 日本活断層学会, 日本地質学会, 日本第四紀学会, 日本人類学会, 日本地形学連合等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

研究シンクタンク推進室 副室長, 研究推進担当責任者

■タスクフォース システム更新タスクフォース

システム更新タスクフォース メンバー（研究部研究・資料担当）

■研究開発部門

研究推進担当, 総合共同研究・部門研究の推進と調整, 中期目標及び月例報告にかかる研究・資料データの取りまとめ, 館報データの取りまとめ

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究
2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
3. 地震断層の保存と活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎加藤茂弘・岡田篤正・寒川 旭（2008）大阪湾と六甲山, 淡路島周辺の活断層と第四紀における大阪・播磨灘堆積盆地の形成過程. 第四紀研究, 47, 233-246.

◎加藤茂弘（2009）4. 新生界 4.2.4 明石・播磨地域. 日本地質学会（編）, 「日本地方地質誌 5 近畿地方」, 232-236, 朝倉書店, 東京.

◎Kitaba, I., Iwabe, C., Hyodo, M., Katoh, S. and Matsushita, M. (2009) High-resolution climate stratigraphy across the Matuyama-Brunhes transition from palynological data of Osaka Bay sediments in southwestern Japan. Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology, 272, 115-123.

■その他著作

加藤茂弘（2008）能登半島地震1周年シンポジウム「活断層・地震と共生する未来に向けて」を開催. 日本活断層学会ホームページ.

http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/jsafr/pdfs/oto_sym_p3.pdf

◎加藤茂弘（2009）北淡活断層シンポジウム2009「親子で体験！地震と防災」開催報告. 日本活断層学会ホームページ.

<http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/jsafr/pdfs/Hokudan2009report.pdf>

◎兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子・佐藤裕司（2008）シンポジウム「瀬戸内海の変遷—自然, 環境, 人」の趣旨. 第四紀研究, 47, 221-22.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

◎加藤茂弘・小滝篤夫・木谷幹一・檀原 徹・植村善博（2008）近畿三角帯の北西周辺地域における中期更新世以降の地殻変動. 日本活断層学会 2008年度秋季学術大会, 東京大学山上会館, 東京都.

- ◎加藤茂弘・客野尚志・川東丈純 (2009) 台湾 921 地震教育園の完成と将来の課題. 北淡活断層シンポジウム 2009, 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市.
- ◎小滝篤夫・加藤茂弘・木谷幹一・牧野州明・三宅康幸 (2008) 京都府, 神吉盆地の 70m ボーリングコアに含まれる大山起源の中期更新世テフラ. 日本地質学会第 115 年学術大会, 秋田大学, 秋田市.
- ◎谷川晃一郎・加藤茂弘・佐藤裕司・久保純子 (2008) 兵庫県 円山川下流域における沖積層層序と堆積環境. 日本地球惑星科学連合 2008 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子 (2008) マツヤマブリュンヌ地磁気逆転期における植生変化と気候変動に関する予察的研究. 日本地球惑星科学連合 2008 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子 (2008) 大阪湾堆積物の花粉分析によるマツヤマブリュンヌ地磁気逆転期の高精度気候層序. 日本第四紀学会 2008 年大会, 東京大学山上会館, 東京都.
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子 (2008) マツヤマブリュンヌ地磁気逆転トランジションにおける寒冷化イベント. 地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS) 第 124 回総会・講演会, 仙台市戦災復興記念館, 仙台市.
- ◎伴 芙美香・佐藤裕司・加藤茂弘 (2008) 瀬戸内海東部沿岸域の海洋酸素同位体ステージ (MIS) 7 における相対的海水準変動. 日本第四紀学会 2008 年大会, 東京大学山上会館, 東京都.
- ◎三島稔明・兵頭政幸・松下まり子・加藤茂弘 (2008) 大阪湾 1700m コアによる Gauss-Matuyama 境界前後の地磁気変動復元. 地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS) 第 124 回総会・講演会, 仙台市戦災復興記念館, 仙台市.
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008 年年会, 東北大学, 仙台市.

■学会役員など

- 日本活断層学会, 理事.
- 日本活断層学会, 行事委員会副委員長.
- 日本活断層学会, 普及教育専門委員会委員長.
- 日本活断層学会, 能登半島地震 1 周年シンポジウム実行委員会委員.

■助成を受けた研究

- 近畿三角帯とその周辺地域の中期更新世テクトニクスと地形発達. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 240 万円/総額 340 万円).
- 第四紀黎明期の地磁気攪乱一気候とのリンク. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者 (金額 40 万円).
- 要注意の長大活断層を対象とした活動域区分・活動履歴の高精度化. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 連携研究者 (金額 150 万円)

■海外調査

- 2008. 10 台湾 (台中市および台北市)
- 2008. 10-11 中国 (平涼・西安・北京近郊)

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2008. 4-2009. 3 中期更新世の段丘堆積物や火山灰の収集. 加古川市, 加西市, 加東市, 宍粟市, 丹波市, 京都府福知山市・綾部市など.
- 2009. 2 篠山層群産恐竜化石. 丹波市上滝.

■整理同定担当資料

- 第四紀堆積物 (火山灰, ボーリングコア等, 活断層はぎとり標本等).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 加藤茂弘, 2008. 6, 「火山灰を調べる」, 人と自然の博物館. (9 名)
- 加藤茂弘, 2008. 8, 「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」, 人と自然の博物館. (42 名)
- 加藤茂弘・先山 徹, 2008. 9, 「秋の石めぐりハイキングー京都府夜久野町ー」, 夜久野町田倉山周辺. (17 名)
- ◎加藤茂弘, 2008. 11, ペーパークラフトで学ぶ火山のしくみ. 人と自然の博物館. (52 名)
- ◎加藤茂弘, 2008. 12, ペーパークラフトで学ぶ断層と地震. 人と自然の博物館. (10 名)
- 先山 徹・加藤茂弘, 2008. 5 - 2009. 2, 「石ころクラブ」, 人と自然の博物館. (全 8 回, 150 名)
- 先山 徹・加藤茂弘, 2008. 5, 「春の石めぐりハイキングー二上山ー」, 二上山. (36 名)
- 加藤茂弘, 2008. 7-8, 「ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール' 08」, ひとはく連携活動グループ run ♪ run ♪ plaza 主催, 兵庫県立人と自然の博物館・ハチ北高原. (全 7 回, 224 名)

館外講演

- 加藤茂弘, 2008. 7, 「山崎断層と近未来の大地震」, 神崎郡中学校理科部会研修会, 講師, 兵庫県立人と自然の博物館 (7 名).
- 加藤茂弘, 2008. 10, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ 4 年生, 講師, 宝塚ソリオ (170 名).
- 加藤茂弘, 2008. 11, 「宝塚の活断層と大地震の長期予測」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース (環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚 (29 名).
- 加藤茂弘, 2009. 1, 「氷河と氷河地形からわかる気候変動と地球温暖化」, 丹波の森 O B 大学 (生活環境コース), 講師, 丹波の森公苑 (27 名).
- 加藤茂弘, 2009. 1, 「兵庫県の活断層と近未来の大地震」, 阪神シニアカレッジ O B 会, 講師, 宝塚ソリオ (195 名).
- 加藤茂弘, 2009. 1, 「兵庫県の活断層と近未来の大地震」, 阪神シニアカレッジ 3 年生, 講師, 宝塚ソリオ (150 名).
- ◎加藤茂弘, 2009. 1, 「動く活断層ペーパークラフトを作ろう」, 「青赤メガネで立体視: 大阪湾周辺の地形と活断層」, 北淡活断層シンポジウム 2009 「親子で体験! 地震と防災」, 北

淡活断層シンポジウム実行委員会, 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス (80名).

兵庫県立大学・大学院教育

アドバイザー (伴 芙美香)

■ミニキャラバン事業

2008.9, 2008年度兵庫県県政学会 (分担者). 兵庫県県政学会, 兵庫県立大学学園都市キャンパス.

2008.10, ひょうごフローラフェスタ (分担者), ひょうごフローラフェスタ実行委員会, 淡路夢舞台.

■連携事業

連携グループ等

南淡路地学の会 (副担当)

東中国クマ集会 (副担当)

共催事業

2007.7-8, ひとく博士と行くハチ北高原サマースクール'08, ひとく連携活動グループ

run♪ run♪ plaza, 兵庫県立人と自然の博物館・ハチ北高原 (セミナー講師)

2009.1 北淡活断層シンポジウム2009「親子で体験!地震と防災」, 北淡活断層シンポジウム実行委員会, 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス (委員及びイベント講師)

協力事業

2009.9-12, 第37回特別展「地震展2008」, 大阪自然史博物館 (展示品の貸出および展示内容に関する助言)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.11, 上野台中学校1名, 藍中学校1名, けやき台中学校1名, ボーリングコア整理など

学校団体対応

2008.4, 「くらやみで光る鉱物や岩石を見てみよう」, 大阪府立泉北高等学校1年生. (16名)

2008.12, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 大阪府立豊中高等学校サイエンス・セミナー. (33名)

2009.2, 「六甲山地と三田盆地周辺の地形と地質」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生. (40名)

講師派遣

2008.6, 「近未来の南海地震を考える」, 「グラリンで学ぶ耐震と免震」講師, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生 (40名).

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8.19-8.20, 新潟大学理学部学生1名, 神戸学院大学人文学部学生1名.

卒論生等

2008.4.1-2009.3.31, 伴 芙美香 (兵庫県立大学院環境人間学研究科修士課程2年), 兵庫県南部, 瀬戸内海沿岸域における環境変動史の解明~海洋酸素同位体ステージ7の相対的海水準変動について~.

2008.4.1-2009.3.31, 北場育子 (神戸大学大学院理学研究科修士課程2年), 大阪湾堆積物の花粉分析によるマツヤマープリユンス地磁気逆転期の高精度気候層序.

2008.4.1-2009.3.31, 谷川晃一朗 (神戸大学大学院理学研究科博士課程後期), 兵庫県円山川下流域における完新世海面

変動に関する研究.

■フェスティバル等

2008.10, 淡路フローラフェスティバル (分担者). 兵庫県淡路県民局, 淡路島国営明石海峡公園.

■展示

企画展

2008.9-10 ひょうごのフェアブル (輝安鉱の産状標本展示)

ミニ企画等

2009.2.15-4.5, 臨時展示「共生のひろば展」(研究員展示分担者).

2008.5, 3F 常設展示震災コーナー, ビデオブースの修理.

2009.3, 3F 常設展示震災コーナー, 野島断層動く地形模型の修理.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究」(研究分担者). 東播磨県民局. (170万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 6回, 19名.

■行政等支援

委員会等 (計2件)

2008.4-2009.3. 野島断層活用委員会, 委員, 淡路市教育委員会.

2008.10-2009.3. 北淡活断層シンポジウム実行委員会, 委員・事務局幹事, 淡路市教育委員会.

相談・指導助言

来訪者17件, 40名. 電話・FAX相談30件, メール相談50件.

2008.5-2009.3 加古川市神野町高位段丘層の保存と活用についての指導・助言, 兵庫県加古川土木事務所.

2008.5-8 北淡震災記念公園への「神戸の壁」移設についての指導・助言及び現地指導, 淡路市教育委員会.

2008.12 野島断層保存館およびメモリアルハウス内の断層の修復・保存についての指導・助言及び現地での保存処理作業, 淡路市教育委員会.

2009.1-3 野島断層保存館内の噴霧装置の修繕と維持管理についての指導・助言, (株)高環境エンジニアリング.

2009.3 ボーリングコアの理科教育への活用についての指導・助言, 兵庫県立六甲高等学校.

■学会開催等支援

2008.5 能登半島地震1周年シンポジウム「活断層・地震と共生する未来に向けて」開催. 石川県七尾市サンビーム日向ヶ丘, 170名.

2009.1 北淡活断層シンポジウム2009 親子で体験!地震と防災. 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス, 360名.

古谷 裕, Hiroshi FURUTANI

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教授

1952年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

恐竜タスクフォース, 環境学習推進タスクフォースメンバー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究代表者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷裕・半田久美子 (2008), 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出. 化石研究会会誌, Vol. 41, 2-12.

■その他著作

古谷 裕 (2008) ますます盛り上がった共生のひろば「ミューゼ」, 84号, 20-21, アム・プロモーション, 東京.

古谷 裕 (2009) 第三次発掘調査, 途中経過! 「ひとはく新聞」3月14日号

■研究発表

竹村静夫・竹村厚司・菅森義晃・古谷 裕 (2008), 岡山県東部, 超丹波帯上月層の緑色岩-チャートシークエンスの岩相と放散虫化石, 日本地質学会第115年学術大会.

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008), 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み ~地学教育・まちづくりへの適応~. 日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008年年会.

■助成を受けた研究

加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究. 受託研究, 研究分担者 (金額 170万円/170万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.5 篠山層群産化石資料, 篠山市.

2008.5 紡錘虫化石資料, 滋賀県.

2008.6 北但層群産化石資料. 養父市.

2008.8 丹波帯岩石. 篠山市, 丹波市.

2008.11 紡錘虫化石資料, 滋賀県.

2009.1-3 恐竜化石. 丹波市.

2009.2 超丹波帯, 丹波帯岩石資料, 姫路市, 福崎町.

2009.3 神戸層群産化石, 神戸市

■受贈担当資料

2009.2 岐阜県金生山, 岡山県成羽産化石資料, 13点.

■整理同定担当資料

化石 (微化石, 無脊椎動物化石).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

古谷 裕, 2008.7. 「顕微鏡で見る化石」, ひとはく (1回, 20名)

古谷 裕, 2008.8. 「地層の見方・調べ方 in 淡路」, 南あわじ市 (1回, 13名)

古谷 裕, 2008.8. 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 篠山市, 丹波市 (1回, 27名)

古谷 裕, 2008.10. 「川西と猪名川で中・古生代の地層を見る」川西市, 猪名川町 (1回, 17名)

◎古谷 裕, 2008.10-2009.3. 「顕微鏡で見る化石」, ひとはく (6回, 50名)

◎古谷 裕, 2008.10-2009.3. 「顕微鏡で見る化石」, 丹波市 (6回, 50名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2008.4-2009.3. 丹波地域「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」

展示作成

丹波竜フェスティバル2008 分担者

■ミニキャラバン事業

2002.11, ふれあいフェスティバル (分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 淡路市.

■連携事業

連携グループ等

篠山層群をしらべる会 (顧問; 主担当)

共催事業

2008.4-5, 「~民俗学のふるさと・銀の馬車道ふれあい事業~ 「歴民に化石がやってくる!」~第2弾 中生代. 神埼郡歴史民俗資料館, (主担当).

2008.12-2009.1, 化石展「和泉層群の世界」, 主催: 南あわじ市教育委員会, 南あわじ地学の会, 南あわじ市シヨッピン

グブラザパーティ (主担当)

協力事業

2008. 5, 「恐竜と太古の海の生きもの」展, 海遊館, (資料貸出)
2008. 5, ゴールデンウィーク恐竜フェスティバル, 丹波の森ショッピングタウン, (資料貸出)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 11, 上野台中学校 1 名, 藍中学校 1 名, けやき台中学校 1 名.

学校団体対応

2009. 4, 「顕微鏡で見る化石」, 講師, 京都府立桃山高等学校, 20 名.
2008. 8, 「放散虫化石を調べる」, 講師, 兵庫県立飾西高等学校, 20 名.
2008. 10, 「地層・化石を調べる」, 講師, 三田市立すずかけ台小学校 6 年生, 106 名.
2008. 11, 「化石の“虫”, 三葉虫と放散虫 (昆虫ではありません)」加西市立善防中学校, 講師, 75 名.
2008. 12, 「地層・化石を調べる」, 講師, 三田市立あかしあ台小学校, 6 年生, 107 名.
2008. 12, 「いろいろな地層と化石」, 講師, 西宮市立平木小学校, 6 年生, 40 名.
2008. 12, 「顕微鏡で見る化石」, 大阪府立豊中高等学校 20 名.

講師派遣

2008. 6, 「太古の兵庫を探る 中生代ジュラ紀以前の川西」, 川西市生涯学習センター講師,
2008. 7, 「丹波地域の地層と化石」, 講師, 兵庫県立篠山鳳鳴高等学校, 1 年生 (名).
2008. 8, 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 講師, 多可郡理科教員研修会,
2008. 8, 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 講師, 岸和田市理科教員研修会,
2008. 11, 「砥堀小学校周辺の地層」, 講師, 姫路市立砥堀小学校, 6 年生 (48 名).
2008. 12, 「篠山層群の化石」, 講師, 多可町立松井小学校, 6 年生
2009. 1, 「宝塚で見られる地層と化石」, 講師, いきいき学舎・フレミラ, (26 人).
2009. 2, 「山田小学校周辺の地層」, 講師, 姫路市立山田小学校, 6 年生 (27 人)

■展示

企画展

2008. 4 丹波の恐竜化石第二次発掘調査～速報展～ 分担者
2009. 2 共生のひろば展に出展

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究 (研究分担者). 東播磨県民局. (170 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 4 回, 29 名.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 15 名. 電話・FAX 相談 10 件.

三枝 春生, Haruo SAEGUSA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門 准教授.
昭和 33 年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了.
理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会,
Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

恐竜タスクフォース, サブリーダー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

- Saegusa, H. (2008) Dwarf *Stegolophodon* from the Miocene of Japan: passengers on sinking boats. *Quaternary International*, 182(1): 49-62 .
Markov, G., and Saegusa, H. (2008) On the validity of *Stegoloxodon kretzoi*, 1950 (Mammalia: Proboscidea). *Zootaxa* 1861: 55-56.
◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷 裕・半田久美子 (2008) 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出について. 化石研究会会誌, 41(1):2- 12
Hanta, R., Ratanasthien, B., Kunimatsu, Y., Saegusa, H., Nakaya, H., Nagaoka, S. and Jintasakul, P. (2008) A new species of Bothriodontinae, *Merycopotamus thachangensis* (Cetartiodactyla, Anthracotheriidae) from the late Miocene of Nakhon Ratchasima, northeastern Thailand. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 2008, 28(4):1182- 1188
Saegusa, H, and Gilbert, W. H. (2008) Chapter 9 Elephantidae. In (W. Henry Gilbert and Berhane Asfaw eds). *Homo erectus in Africa: Pleistocene Evidence from the Middle Awash, Ethiopia. The Middle Awash Series 1*, 193-226. University of California Press, Berkeley.

■その他著作

- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S., Matsubara, T. (2008) A titaniform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 28 (3, supplement) : 135A.

- ◎三枝春生 (2008) 表紙および裏表紙説明, 化石, 84

■研究発表

- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008 年年会, 東北大学, 仙台市.

- ◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志(2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み～地学教育・まちづくりへの適用～. 2008 年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

- ◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115 年学術大会.

- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S., Matsubara, T. (2008) A titaniform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. 68th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland, USA.

- ◎三枝春生・田中里志 (2008) 下部白亜系篠山層群およびの脊椎動物化石群と堆積相. 化石研究会 130 回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.

- ◎田中里志・三枝春生(2008) 古第三系神戸層群の脊椎動物化石群と堆積相. 化石研究会 130 回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.

Zin-Maung-Maung-Thein, Takai, M., Uno, H., Naoko Egi, N., Tsubamoto, T., Nishimura, T.D., Saegusa, H., Thaug-Htike⁵, Ito, T. (2009) Paleoenvironmental Analysis of the Late Neogene Chaingzauk Fauna of Myanmar Using Stable Isotope of Tooth Enamel. 日本古生物学会 第 158 回例会, 琉球大学・沖縄県立博物館.

- ◎Saegusa, H. and Tomida, Y. (2009) Titaniform sauropods from Japan. 大恐竜展～知られざる南半球の支配者～開催記念特別シンポジウム, 国立科学博物館新宿分館

■学会役員など

化石研究会, 編集委員.

Paleontological Research 査読

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石の研究. 文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究代表者 (金額 470 万円/1481 万円).

■海外調査

2008. 10 アメリカ合衆国・クリーヴランド

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 5-11 篠山層群産の小型脊椎動物化石の収集. 丹波市・篠山市.

2009. 1-3 丹波市産恐竜化石の発掘, 丹波市.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (哺乳類, 恐竜類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎三枝春生, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 化石工房」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 120 名)

◎三枝春生, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 化石工房」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 100 名)

三枝春生, 2008. 5. 5, 「丹波の恐竜化石第二次発掘報告会」, 博物館, (41 名)

三枝春生, 2008. 6. 21, 「丹波の恐竜」, 山南町自治会長会, 博物館, (40 名)

三枝春生, 2008. 6. 29, 「丹波の恐竜化石」, 日本地質学会関西支部, 博物館, (40 名)

三枝春生, 2008. 7. 10, 「兵庫の恐竜と中生代哺乳類化石」, 兵庫県立大学附属高校, 博物館, (166 名)

三枝春生, 2008. 7. 11, 「兵庫の恐竜」, 兵庫県立有馬高校との連携セミナー, 博物館, (50 名)

三枝春生, 2008. 7. 19, 「カエル骨格作成教室—生物の構造を探る」, 博物館, (9 名)

三枝春生, 2008. 9. 14, 「丹波の恐竜化石」, 西宮自然保護協会, 博物館, (24 名)

三枝春生, 2008. 10. 11, 「中生代の動物たち 1」, 山南住民センター, (5 名)

三枝春生, 2008. 10. 23, 「丹波の恐竜化石ラボレク」, 下滝百寿会, 博物館, (20 名)

三枝春生, 2008. 11. 8, 「丹波の恐竜化石」, 県立事務職員協会 東播磨支部, 博物館, (27 名)

館外講演

三枝春生, 2008. 5. 4 「第二次発掘調査状況報告」, 恐竜を活かしたまちづくりシンポジウム, 丹波竜フェスティバル 2008 実行委員会, 丹波市立やまなみホール (340 名).

三枝春生, 2008. 5. 18, 「恐竜研究ってこんなに面白い! —丹波の恐竜化石発掘最新報告」, 恐竜ラボ展大阪実行委員会, 大阪自然史博物館, (80 名)

三枝春生, 2008. 6. 16, 「ひょうごの恐竜」, 垂水文化講座, 講師, 井植記念会館 (150 名).

三枝春生, 2008. 6. 18, 「兵庫の太古を探访する 恐竜時代の兵庫」, オープン講座, 講師, 川西市生涯学習センター (166 名).

三枝春生, 2008. 6. 21, 「丹波の恐竜化石発掘」, 楠歯会学術講演会, 講師, 神戸大学医学部口腔外科同門会楠歯会, 神戸大学医学部 (40 名).

三枝春生, 2008. 6. 25, 「兵庫の太古を探访する 哺乳類全盛

時代の兵庫」, オープン講座, 講師, 川西市生涯学習センター (166名).

三枝春生, 2008. 7. 12, 「丹波竜の発掘」, 兵庫県保健所検査技師会, 講師, 県立新たんば荘 (30名).

三枝春生, 2008. 7. 26, 「丹波竜—その発掘・研究の最前線—」, 恐竜ミュージアム2008 (沖縄タイムス社・沖縄文化の杜主催), 講師, 沖縄県立博物館 (20名).

三枝春生, 2008. 7. 31, 「丹波の恐竜と中生代の世界」, 丹波の森大学, 講師, 丹波の森公苑 (100名).

三枝春生・池田忠広, 2008. 8. 1, 第51回兵小理夏季実験実技講習会, 講師, 兵庫県小学校教育研究会理科部会, 山南住民センター内丹波竜化石工房 (150名).

三枝春生, 2008. 8. 2, 「丹波の恐竜とその仲間たち」, 兵庫県立大学公開講座, 講師, 丹波の森公苑 (40名).

三枝春生, 2008. 8. 9, 「篠山層群の恐竜と中生代哺乳類」, 恐竜クラブ創立20周年記念講演会, 講師, 恐竜クラブ, アルカディア市谷 (50名).

三枝春生, 2008. 8. 20, 基調講演「篠山層群の恐竜と哺乳類」, 篠山化石フォーラム, 講師・公開ディスカッションコーディネーター, 篠山市民センター (200名).

三枝春生, 2008. 8. 21, 「丹波の恐竜」, 神戸市老眼大学, 講師, 神戸文化ホール (2400名)

三枝春生, 2008. 9. 15, 「丹波の恐竜と中生代哺乳類」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, ソリオ2内シニアカレッジ学習室 (100名).

三枝春生, 2008. 9. 17, 「丹波の恐竜と中生代哺乳類」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, ソリオ2内シニアカレッジ学習室 (100名).

三枝春生, 2008. 9. 19, 「丹波の恐竜と中生代哺乳類」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, ソリオ2内シニアカレッジ学習室 (100名).

三枝春生, 2008. 9. 20, 「丹波の恐竜化石と中生代の世界」, 兵庫県整形外科医会35周年記念講演会, 講師, 兵庫県整形外科医会, ホテルオークラ神戸 (150名)

三枝春生, 2008. 10. 2, 「丹波の恐竜と中生代哺乳類」, 兵庫県小学校長会研究大会, 丹波大会, 講師, 市島公民館 (300名).

三枝春生, 2008. 11. 6, 「丹波の恐竜と中生代哺乳類」, 丹波市やまなみ大学, 講師, やまなみホール (440名).

三枝春生, 2008. 11. 15, 「丹波の恐竜と中生代哺乳類」, 自然史学会連合講演会, 講師, 千葉県立中央博物館 (102名).

三枝春生, 2008. 12. 26, 理数系教員指導力向上研修「中生代の古生物」, 講師, 滋賀県教育センター, 人と自然の博物館・丹波市発掘現場 (28名).

兵庫県立大学・大学院教育

2008. 7-8, 平成20年度兵庫県立大学特別公開講座「丹波の恐竜をめぐる」, 代表教員, 第五回「丹波の恐竜とその仲間たち」(2008. 8. 2) 担当講師, 丹波の森公苑 (40名)

ラジオ・テレビ等出演

2008. 8. 22, 「関西ラジオワイド」, NHK 大阪

2009. 3. 14, 「週刊こどもニュース」, NHK 総合

■連携事業

連携グループ

篠山層群をしらべる会 (主担当)

共催事業

2008. 8 「化石発見市民フォーラム」篠山市・人と自然の博物館・篠山層群をしらべる会共催, 篠山市民センター (講師・展示制作)

2009. 1 「自然のたからもの～丹波竜&コウノトリに会おう～」展, 人と自然の博物館・NK 神戸共催 神戸大丸 (展示制作 監修)

協力事業

2008. 9 「関西の恐竜時代」伊賀文化都市協会・上野歴史民俗資料館 (展示制作協力)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 13, 藍, 上野台, けやき台中学校3名.

学校団体対応

2008. 7. 10 県立大学附属高校1年生159名. 講演「兵庫の恐竜」

■展示

ミニ企画等

2008. 5, 臨時展示「丹波の恐竜化石速報展」(分担者).

2008. 4—現在, 新常設展示「丹波の恐竜化石」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2008. 11—2009. 3. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員, 篠山市.

相談・指導助言

2008. 6 朝日放送「探偵! ナイトスcoop」.

■学会開催等支援

2008. 11 化石研究会130回例会. 28名.

半田 久美子, Kumiko HANDA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和45年栃木県生. 大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 演習フロアサービスグループ 企画展補助等

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 発掘担当, 山南化石工房クリーニングスタッフ支援担当, 炭獣の教育支援担当

フェアブル展推進タスクフォース ひょうごフローラフェスタ担当, ひょうごのナチュラリスト担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 新生代における植生・植物相の変遷史
2. 花粉の形態分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

- ◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷 裕・半田久美子(2008) 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出について. 化石研究会会誌, 41(1):2-12

■その他著作

- ◎半田久美子(2009) 木材化石図鑑: 神戸層群の珪化木. ひととはく図鑑, ひととはく新聞(3月14日).

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

- ◎半田久美子・寺田和雄(2008) 神戸層群の木材化石フロラ(予報). 日本植生史学会第23回大会, パルセ飯坂, 福島市.
- ◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志(2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み〜地学教育・まちづくりへの適用〜. 2008年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.
- ◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫(2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会.
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次(2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008年年会.

■学会役員など

日本植生史学会, 編集書記.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 神戸層群産珪化木. 神戸市, 小野市, 西宮市, 東条町, 三木市.

2009.1-3 篠山層群産恐竜化石発掘. 丹波市.

2009.3 篠山層群産植物化石. 篠山市.

■整理同定担当資料

植物化石.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2008.4「花粉の観察1 春の花」, 人と自然の博

物館. (1回, 6名)

半田久美子, 2008.5「花粉の観察2 ハチミツ」, 人と自然の博物館. (1回, 4名)

半田久美子, 2008.7「ボルネオジャングルスクール」, マレーシア. (18名)

半田久美子, 2008.8「花を解剖しよう」, 博物館. (1回, 16名)

◎半田久美子, 2008.4-2008.9「実演, 解説! 化石工房」, 人と自然の博物館. (5回, 120人)

◎半田久美子, 2008.4-2008.9「実演, 解説! 丹波竜化石工房」, 山南住民センター. (8回, 150人)

半田久美子, 2008.12「ハチミツに含まれる花粉の観察」, 人と自然の博物館. (1回, 8名)

館外講演

半田久美子, 2008.6「東条湖の植物化石」, 講師, 小野カブスカウト, 人と自然の博物館. (17名)

半田久美子, 2008.7「花粉の観察 ハチミツ編」, 講師, 六甲みつばち王国, 人と自然の博物館. (9名)

半田久美子, 2008.10「丹波の恐竜化石」, 講師, 一水会, 人と自然の博物館. (32名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2008.10-11. 学校キャラバン 神戸層群の植物化石と堀治三朗

セミナー担当

2008.5.5 展示解説ツアー, 丹波竜フェスティバル. (講師)

■ミニキャラバン事業

2008.10, ひょうごフローラフェスタ(主担当), ひょうごフローラフェスタ実行委員会, 淡路夢舞台.

■連携事業

共催事業

2008.6, 展示「地球46億年の旅」, 南あわじ地学の会, 南あわじ市教育委員会(展示物貸出)

2008.7-8, 「植物化石の魅力を探る!」展, 小野市教育委員会(展示制作, 資料貸出)

トライやるウィーク

2008.6.3-6.6, 山南中学校2名.

2008.6.10-6.13, 上野台中学校1名, 藍中学校1名, けやき台中学校1名

学校団体対応

2008.4, 兵庫県立大学付属中学校1年生(40名).

2008.7, 兵庫県立大学付属高校1年生(20名).

2008.11, 兵庫県立大学付属中学校1年生(20名).

2008.11, 加東市立米田小学校6年生(18名)

2009.1, 三田市立狭間小学校6年生(3回, 120名)

講師派遣

2008.10, 「丹波の恐竜化石」, 講師, 加東市立東条中学校1年生(70名).

■研修生等の受入

卒論生等

2008.4.1-2009.3.31, 仁木 佐知恵(神戸女学院大学 人間科学部 環境・バイオサイエンス学科4年), 岡田山キャンパスにおけるセイヨウミツバチの花資源利用.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくフェスティバル, 「ブラスバンド」(責任者).

■展示

企画展

2008. 9. 20-2008. 11. 30, 企画展「ひとくフェアブル大作戦」(分担者).

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)

ミニ企画等

2009. 2. 7-2009. 3. 31, トピックス展「この珪化木は広葉樹? 針葉樹?」(責任者).

2. シンクタンク事業

相談・指導助言

来訪者 20 件, 30 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 1 件.

松原 尚志, Takashi MATSUBARA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ/研究・シンクタンク推進室

主任研究員

昭和43年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科単位取得後退学.
学術博士(理学). 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本貝類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

研究・シンクタンク推進室

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 発掘調査, 展示企画, グッズ作成担当

■研究開発部門

資料担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 新生界の層序学に関する研究
2. 新生代の化石貝類に関する研究
3. 下部白亜系篠山層群に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Matsubara, T. (2009) The availability of “*Semifusus Swainson, 1840*”. *Venus*, vol. 67, no. 3, p. 207-208.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝 (2009) 東京大学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ標本図説. 2. エゾボラ属. ちりぼたん, vol. 39, no. 2, p. 88-95.

佐々木猛智・松原尚志・伊藤泰弘・天野和孝 (2008) 東京大

学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ標本図説.

1. *Acmaea* 属として記載されたカサガイ類4種. ちりぼたん, vol. 39, no. 1, p. 35-41.

Yamaguchi, T., Matsubara, T., Suzuki, S. and Tanaka, H. (2008) Paleogene ostracodes from Kurashiki City, Okayama Prefecture, southwestern Japan. *Paleontological Research*, vol. 12, p. 355-369.

◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷 裕・半田久美子, 2008: 下部白亜系篠山層群から竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出. 化石研究会会誌, vol. 41, no. 1, p. 2-12.

■その他著作

松原尚志 (2008) A 班 男鹿半島の火山岩相: 始新世～前期中新世火山岩と戸賀火山. 参加者の感想. 日本地質学会 News, vol. 11, no. 11, p. 6-7.

松原尚志 (2009) 書評: Evceev, G. A. & Yakovlev, Yu. M.: *Dvustvorchatie mollyuski dalnevostochnikh morey* (エヴセーヴ・ヤコヴレフ: 極東海域の二枚貝類). 120 p. “Policon”. Vladivostok, 2006 年. ISBN 5-902956-01-03, ロシア語. ちりぼたん, vol. 39, no. 2, p. 119-120.

松原尚志・小守一男 (2008) 岩手県二戸地域の下部中新統四ツ役層からの *Vicarya* (腹足綱) の発見とその意義. 日本地質学会第115年学術大会講演要旨, p. 117.

◎佐藤裕司・松原尚志・清水一文・藤原清尚 (2008) 日笠山貝塚(兵庫県高砂市)から採取された貝類遺骸の ¹⁴C 年代. 人と自然, no. 19, 67-70.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本真里・三枝春生・池田忠広・嶽山洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・客野尚志・小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生理学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会講演要旨, p. 267.

■研究発表

◎松原尚志 (2008) 矢部長克博士の肉声テープの発見について. 日本古生物学会2008年年会, 東北大学, 仙台市.

松原尚志・小守一男 (2008) 岩手県二戸地域の下部中新統四ツ役層からの *Vicarya* (腹足綱) の発見とその意義. 日本地質学会第115年学術大会, 秋田大学, 秋田市.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤勉・先山 徹・古谷 裕・三上貞次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会2008年年会, 東北大学, 仙台市.

◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S. and Matsubara, T. (2008) A titanosauriform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the Lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. 68th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland Museum of Natural History and Case Western Reserve University, Cleveland, Ohio, USA.

山野井 徹・斎藤喜和子・松原尚志・小守一男 (2008) 岩手県門ノ沢層からマングローブ花粉化石の発見. 日本古生物学会2008年年会, 東北大学, 仙台市.

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋 晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み～地学教育・まちづくりへの適用～. 2008年度

日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会。

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援。日本地質学会第115年学術大会。

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について。日本古生物学会 2008年年会。

■学会役員など

日本貝類学会, 編集委員。

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石に関する研究。文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者 (金額 10万円/1098.4万円)。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.9 北但層群産貝類化石 (長岡桂介氏コレクション)。

2009.12 中新世貝類化石, 岡山県。

2009.1-3 篠山層群産恐竜化石。

■受贈担当資料

2008.4 豊岡市竹野海岸産貝類化石 (小林恭子氏)。1点。

2008.4 青森県下北半島産貝類化石。57点。

■整理同定担当資料

中生代～新生代貝類化石 (二枚貝綱, 腹足綱, 掘足綱)

森下 晶博士寄贈地質文献資料

池田展生博士寄贈地質文献等資料

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

松原尚志, 2008.5, 「化石のレプリカをつくろう!!」, 博物館。(全1回, 15名)。

松原尚志, 2008.10, 「貝化石でさぐる過去の地球温暖化」, クラーク高等学校, 芦屋。(全1回×4クラス, 121名)

松原尚志, 2008.11, 「小さな化石の観察講座」, 博物館。(全1回, 5名)。

松原尚志, 2008.4-10, 「実演・解説!!化石工房」, ひとつは恐竜ラボ。(全7回, 199名)

松原尚志, 2008.4-10, 「実演・解説!!丹波竜化石工房」, 丹波竜化石工房, 丹波市。(全6回, 202名)

館外講演

池田忠広・松原尚志, 2008.8, 丹波竜サマーキッズスクール「丹波竜発掘体験」。指導者, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり課, 丹波市山南支所, 丹波市 (全2回, 20名)。

池田忠広・松原尚志, 2008.8, 丹波竜サマーキッズスクール「化石のクリーニング体験」。指導者, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり課, 丹波市山南支所, 丹波市 (全2回, 20名)。

■キャラバン事業および地域研究員養成事業

セミナー担当

2008.5 丹波竜フェスティバル 2008 丹波竜化石工房展示 解説ツアー (講師) (全2回, 45名)

■研修生等の受入

博物館実習

2009.8, 新潟大学理学部学生1名, 琉球大学理学部学生1名。

卒論生等

■フェスティバル等

2009.11 ひとつは恐竜フェスティバル, 記録写真担当。

■展示

企画展

2008.9.20-11.30, 「ひとつは恐竜フェスティバル, ひょうごのナチュラリスト」(分担者)。

特別展示

2008.7.20-8.31, 臨時展示「丹波の恐竜化石～夏休み期間特別展示～」(責任者)。

ミニ企画展等

2008.4.20-6.1, 臨時展示「丹波の恐竜化石第二次発掘調査～速報展～」(分担者)

2008.4.20～, 「ひとつは恐竜ラボ」展示作成 (責任者)。

2009.2.15-4.5. 「共生のひろば展」 「私が発見した化石貝類の新種」 展示パネル作成。

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX相談2件, メール相談8件。

■学会開催等支援

2008.12. 岡山市周辺の第三系の層序・年代および見学旅行コースに関する助言。専門家招聘。日本地質学会第116年学術大会岡山大会実行委員会。

池田 忠広, Tadahiro IKEDA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

研究員

昭和53年埼玉県生。鹿児島大学大学院理工学研究科博士課程修了。理学博士。日本古生物学会, 日本爬虫両棲類学会, Society of Vertebrate Paleontology 所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 連携・担い手M 所属

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 発掘担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 下部白亜系篠山層群産有鱗類化石の分類学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的な研究と自然史学習の展開」, 研究分担者。

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者。

■論文・著書

- ◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷裕・半田久美子 (2008) 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出。化石研究会会誌, Vol. 41 (1), 2-12.

■その他著作

- ◎Ikeda, T., Otsuka, H. and Ota, H. (2008) The Late Pleistocene snake fauna (Reptilia: Squamata) of the Ryukyu archipelago, Southwest Japan, with special reference to the formation process of the extant snake fauna of this region. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 28 (3, supplement): 95A
- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S., Matsubara, T. (2008) A titaniform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 28 (3, supplement): 135A.

■研究発表

- ◎池田忠広・大塚裕之 (2008) 琉球列島, 沖縄島産前期更新世へビ類椎骨化石の分類学的研究。日本古生物学会 2008 年年会, 東北大学。
- ◎Ikeda, T., Otsuka, H. and Ota, H. (2008) The Late Pleistocene snake fauna (Reptilia: Squamata) of the Ryukyu archipelago, Southwest Japan, with special reference to the formation process of the extant snake fauna of this region. Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland Museum of Natural History and Case Western Reserve University, Cleveland, Ohio, USA.
- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S. and Matsubara, T. A titaniform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the Lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. 68th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland Museum of Natural History and Case Western Reserve University, Cleveland, Ohio, USA.
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について。日本古生物学会 2008 年年会, 東北大学
- ◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋 晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み～地学教育・まちづくりへの適応～。日本地質学会 2008 年度近畿支部総会・合同例会, 兵庫県立人と自然の博物館。
- ◎先山 徹・高橋 晃・藤本真里・三枝春生・池田忠広・嶽山洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・客野尚志・小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援。日本地質学会第 115 年学術大会, 秋田大学。

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石の研究。文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究分担者。

■海外調査

2008. 10 米国 ユタ州 デンバー, デンバー自然科学博物館

2. 資料収集・整理

■資料収集

2009. 5 下部白亜系篠山層群産小型脊椎動物化石の発掘。篠山市, 兵庫県。

2009. 1-3 下部白亜系篠山層群産恐竜化石の発掘。丹波市, 兵庫県。

■整理同定担当資料

小型脊椎動物化石

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

池田忠広, 2008. 7, 「カエル骨格作成教室」, 博物館 (全 2 回, 9 名)

池田忠広, 2008. 10, 「中生代の動物たち 2」, 博物館 (全 1 回, 4 名)

池田忠広, 2008. 11, 「ヘビの世界」, 博物館 (全 1 回, 11 名)

◎池田忠広, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 化石工房」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 120 名)

◎池田忠広, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 丹波恐竜化石工房」, 丹波市 丹波恐竜化石工房 (全 7 回, 128 名)

池田忠広, 2008. 6-8, 「恐竜ラボ解説」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 201 名)

池田忠広, 2008. 6-8, 「丹波恐竜化石工房での恐竜解説」, 丹波市 丹波恐竜化石工房 (全 1 回, 25 名)

池田忠広, 2008. 7, 「篠山層群産恐竜化石について」, 博物館 (全 1 回, 22 名)

池田忠広, 2008. 7, 「丹波の恐竜化石と周辺環境」, 博物館 (全 1 回, 38 名)

池田忠広, 2008. 8, 「有鱗類の化石」, 博物館 (全 1 回, 13 名)

館外講演

池田忠広, 2008. 5, 「篠山層群から発掘された恐竜化石」, 兵庫県生物学会第 62 回大会, 講師, 篠山市四季の森生涯学習センター (40 名)

三枝春生・池田忠広, 2008. 7, 「ラボ・現場解説」, 兵庫県小学校教育研究会理科部会 第 51 回夏期実験実技講習会, 講師, 丹波市山南町 山南住民センター (150 名)

池田忠広, 2008. 8, 「恐竜の生きていた世界～丹波の恐竜化石発見」, 夏の特別公開講座, 講師, 神戸新聞文化センター, ミント神戸 (30 名)

ラジオ・テレビ等出演

2008. 4. 17, 「関西ラジオワイド」, NHK ラジオ

2008. 4. 23, 「BRANDNEW KOBE」, FM 神戸

2008. 6. 27, 「ニュース番組」, 読売テレビ

2008. 9. 20, 「ウィークエンド関西」, NHK 総合
2008. 6. 27, 「大阪ほんわかテレビ」, 読売テレビ

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

篠山層群をしらべる会 (アドバイザー)

展示作成

2008. 10-11. 学校キャラバン 神戸層群の植物化石と堀
治三朗

セミナー担当

2008. 5. 5 展示解説ツアー, 丹波竜フェスティバル. (講師)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 6, 丹波市山南中学校 2 名.
2008. 6. 11, 13 三田市立上野台中学 1 名, 三田市立けやき
台中学校 1 名, 田市立藍中学校 1 名.
2008. 11. 20, 篠山市立篠山中学校 3 名.

■展示

企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)

2. シンクタンク事業

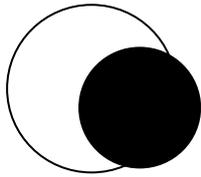
■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 1 件, 0 名. 電話・FAX 相談 4 件, メール相談 0 件.

■学会開催等支援

2008. 11 化石研究会 130 回例会. 28 名.



個人別成果報告に関する資料 No. 2

● 自然・環境評価研究部 森林多様性研究グループ / 昆虫共生系研究グループ

高橋 晃, Akira TAKAHASHI

自然・環境評価研究部
森林多様性研究グループ
研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授

昭和29年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

- ・恐竜・化石タスクフォース/タスクフォースリーダー
恐竜ラボ開設事務, 恐竜化石第三次発掘に向けた館内外の連絡調整, 次年度予算案の企画立案・折衝, 発掘成果の展示・普及教育等事業推進の統括
- ・フェアブル展タスクフォース/タスクフォースリーダー
巡回展「フェアブルにまなぶ」, 兵庫県地域展, 自然の再生と共生国際フォーラム, コラボ展, セミナー・イベント類など各種事業の準備事務と開催運営の統括
- ・グローバルプログラムタスクフォース
ジャングル体験スクール運営補助, フランスアペロン県との国際交流, JICA カウンターパート研修受入講師

■研究開発会議

研究部における諸事業推進の統括

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 熱帯産樹種の生長解析・木材解剖学
2. 兵庫県産植物の分類・地理学的研究
3. 植物を素材にした自然史教育の研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究代表者.

■その他著作

◎福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃 (編) (2008) 兵庫県産維管束植物 10. 人と自然 (19), 161-222. (編集およびイネ科分担執筆)

■研究発表

千川慶史・布施静香・高野温子・高橋晃・田村実 (2009) 日本産イグサ科植物の分類学的再検討 (予報). 日本植物分類学会第8回大会, 宮城県民会館, 仙台市.

■助成を受けた研究

自然史系博物館の連携研究員養成法の研究, 科学研究費・基

盤研究 (C), 研究分担者. (分担金 10 万円/総額 120 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-11 種子植物, 宍粟市・氷ノ山・香美町の山間部

■受贈担当資料

- 2008. 4. 1 村瀬忠義コレクション 2008, 52 点.
- 2008. 5. 30 材鑑証拠標本 (2008 佐賀), 146 点.
- 2008. 8. 20 材鑑証拠標本 (2008 木曾), 216 点.
- 2008. 10. 3 鳴橋コレクション 2008, 225 点.
- 2008. 11. 12 材鑑証拠標本 (2008 滋賀), 154 点.
- 2009. 1. 8 小林禧樹コレクション 2008, 27 点.

■整理同定担当資料

種子植物, 材鑑標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 高橋 晃・布施静香・福田知子・山本伸子, 2008. 4-12 植物リサーチクラブ専修科 (全4回), 博物館. (36名)
- 高橋 晃・布施静香・福田知子, 2008. 4 植物園をあるくー春の植物を覚えよう, 大阪市立大学理学部附属植物園. (24名)
- 高橋 晃・福田知子, 2008. 5 植物リサーチクラブ①春の西播磨と氷ノ山, 赤西溪谷〜氷ノ山. (39名)
- 高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ, 2008. 9 植物画を描こう (全2回), 博物館. (28名)
- 福田知子・布施静香・高橋 晃, 2008. 6 植物リサーチクラブ②染色体の観察, 博物館. (9名)
- ◎布施静香・高橋 晃・福田知子, 2008. 6 野草のお茶を楽しもう, オープンセミナー, 博物館. (152名)
- 高橋 晃・福田知子, 2008. 8 園児自然観察指導者講習, 博物館. (16名)
- 高橋 晃・福田知子, 2008. 8 植物標本の作り方, 教職員セミナー, 博物館. (20名)
- ◎高橋 晃, 2008. 8 木と遊ぼう, オープンセミナー, 博物館. (85名)
- ◎高橋 晃・高野温子, 2008. 10 野草のお茶を楽しもう, オープンセミナー, 博物館. (85名)
- ◎橋本佳明・高橋 晃・山本伸子, 2008. 11 収蔵庫ツアー, オープンセミナー, 博物館. (46名)
- 高橋 晃・高野温子・山本伸子, 2009. 2-3 植物リサーチクラブ③標本の調べ方, 博物館. (27名)
- ◎高橋 晃・山本伸子, 2009. 3 収蔵庫ツアー, オープンセミ

ナー, 博物館. (31名)

館外講演など

高橋 晃, 2008.4 六甲山二つ池環境調査, 講師, 六甲山環境整備協議会. (10名)

高橋 晃, 2008.11 樹木の生長と木材の構造, 講師, 大阪市立大学. (37名)

兵庫県立大学・大学院教育

2008.4-2009.2 特別研究, (主任)

2008.7 多様性生物学特別演習(集中), (主任)

2008.9 共生博物学(集中), (分担)

非常勤講師など

2008.4-7 系統分類学, 関西学院大学理工学部.

2008.12 博物館学, 香川大学教育学部

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2008.6-10 但馬, ハチ北地区

セミナー担当

2008.6 但馬地域 ハチ北自然観察会「初夏の植物」, ハチ北観光協会. (11名)

2008.10 但馬地域 ハチ北自然観察会「秋の植物」, ハチ北観光協会. (9名)

■ミニキャラバン事業

2008.11 丹波の森フェスティバル, 丹波市柏原町. (分担者)

■連携事業

連携グループ等

GREEN GRASS (主担当, 植物画研究会運営支援)

成果発表

2009.2 第4回共生のひろば, 花粉を観る, 福岡忠彦(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, ミスジナガハグサ, 西野雅満(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, 装飾花をもつ花たちーすばらしきパートナーー, 西野真美(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, ミズワラビの発生・生長について, 林 美嗣(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, 高山植物, 伊東吉夫(指導)

協力事業

六甲山市民講座, 六甲山自然保護センターを活用する会(アドバイザー)

■学校教育支援

学校団体対応

2008.5 「山の植物について」, 開明中学校1年生. (285名)

2008.10 「熱帯のいきもの」, 赤穂東中学校1年生. (53名)

2008.10 「熱帯のいきもの」, 関西大倉中学校3年生. (50名)

講師派遣

2008.4-2009.3 「植物のなかま分け」, 兵庫県立大学附属中学校. (3名)

■研修生等の受入

研修生

2008.12 JICAカウンターパート研修, マレーシア・サバ州 BBEC 関係者 1名

2009.2-3 JICAカウンターパート研修, インドネシア国立生

物学研究センター研究員ほか3名.

■展示

ミニ企画等

2008.12-2009.1 干支展「ネズミさんありがとう、ウシさんようこそ」(分担者)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5回, 80人

■行政等支援

委員会等

2008.4- 環境庁版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境庁.

2008.4- 希少野生動植物種保存推進員, 環境庁.

2008.4-2009.3 六甲山環境整備協議会, アドバイザー, 六甲山自然保護センターを活用する会.

視察対応

2008.4 北九州市立自然史博物館・副館長 1件

相談・指導助言

来訪・電話・メール・手紙等による相談 11件

2008.6 植えてはいけないケシの鑑定, 宝塚健康福祉事務所

2008.7 メリケンカルカヤの分布調査, 大阪産業大学学生

2008.7 製品に混入した異物(葉)の鑑定調査, (株)マンダム

2008.12-2009.1 ササ属植物同定相談, (株)三幸バイオ研究所

秋山 弘之, Hiroyuki AKIYAMA

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

主任研究員

姫路工業大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 助教授.

昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了.

理学博士. 日本植物分類学会, 日本蘚苔類学会, 米国植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■研究開発部門

研究紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究

2. 半数体植物における種分化のあり方に関する研究

3. タイ国インタノン山蘚類相の研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

◎西村直樹・道盛正樹・川合啓二・大石善隆・秋山弘之 (2008)
兵庫県丹波地域の蘚苔類. 人と自然, No. 19, 115-134.

Miwa, H., I. J. Odrzykoski, A. Matusi, M. Hasegawa, H. Akiyama, Y. Jia, R. Sabirov, H. Takahashi, D. E. Boufford & N. Murakami (2009) Adaptive evolution of rbcL in Conocephalum (Hepaticae, bryophytes). Gene (in press, preprint in WEB site).

秋山弘之・山口富美夫(2008) 無性芽を有するヘチマゴケ属 (ハリガネゴケ科, 蘚類) の研究 1. 日本産キヘチマゴケとその近縁種の再検討. 蘚苔類研究 9巻9号, 279-290.
秋山弘之(2008) 日本の貴重なコケの森「船越山池の谷瑠璃寺境内・参道および鬼の河原」. 蘚苔類研究 9巻8号, 275-276.

秋山弘之(2008) ナンジャモンジャゴケの遺伝的多様性. 蘚苔類研究 9巻10号, 333.

■ブログへの情報提供

ひとはく: ブログ3件 BBS: 34件

■研究発表

秋山弘之(2008) ナンジャモンジャゴケの遺伝的多様性. 日本蘚苔類学会, 秋田市

秋山弘之・高城邦之・山口省吾(2008) アクアリウムに登場したあたらしい苔たち. 日本蘚苔類学会, 秋田市

黒沢高秀・大森威宏・秋山弘之・薄葉満(2009) 尾瀬国立公園の指定植物の選定. 東北大学, 仙台市.

■学会役員など

日本植物分類学会 編集委員.

日本蘚苔類学会 庶務幹事, 編集委員.

■助成を受けた研究

屋久島蘚苔類相の現状把握と保全への基礎調査. 文部科学省 科学研究費基盤研究(C) (一般), 研究代表者 (金額 340 万円/80 万円).

■海外調査

2008. 3 シンガポール, タイ国チェンマイ県

2008. 12-2009. 1 タイ国チェンマイ県

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 蘚苔類 三田市, 宝塚市, 神戸市, 篠山市

2008. 3 蘚苔類 シンガポール, タイ国チェンマイ県

2008. 12-2009. 1 蘚苔類 タイ国チェンマイ県

■整理同定担当資料

植物 (蘚苔類, 菌類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

秋山弘之, 2008. 6 「とっとこ倶楽部 梅雨のキノコ探検隊 1」 神戸市 (全1回, 15名)

秋山弘之, 2008. 7 「とっとこ倶楽部 苔の観察」 神戸市 (全1回, 15名)

秋山弘之, 2008. 11 「とっとこ倶楽部 秋のキノコ1」 三

田市 (全1回, 15名)

秋山弘之, 2008. 11 「とっとこ倶楽部 秋のキノコ2」 神戸市 (全1回, 15名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

兵庫県立大学附属中学校

プロジェクト学習 (分担)

■連携事業

2008. 10, リバグレイス猪名川 「コケのはなし」 (21名)

2008. 11, リバグレイス猪名川 「キノコのはなし」 (18名)

2008. 11, シニア自然大学キノコ観察会 (18名)

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 10, 兵庫県立大学附属中学校1年生 (25名).

2008. 8, 西宮市総合教育センター教職員研修 (25名)

■展示

企画展

2008. 2. 23-2009. 8. 20, 企画展「クリプトガミックボタニー 隠花植物の不思議な世界」 (責任者).

ミニ企画等

2009. 2. 8-5. 31, 臨時展示「六甲山のキノコ展」 (分担者).

○自然・環境評価研究部 昆虫共生系研究グループ

橋本佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 准教授.

昭和31年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程

修了, 学術博士, 昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■日仏共同企画「ファーブルにまなぶ」展プロジェクト

人博ファーブルタスクホース, 人博企画調整, 全国企画運営 会議委員, 展示制作WG委員担当

■人博共生生物学事業サブプロジェクト

企画調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 膜翅目昆虫 (アリ類等) の系統分類学的研究

2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究

3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究

4. 共生生物学

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習支援 および地域振興に関する研究」・但馬地域, 研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■その他著作

橋本佳明 (2008) 「ファーブルにまなぶ展の紹介」31-34.
昆虫と自然 43 巻
橋本佳明 (2008) 「海外の博物館 マレーシア国立サバ大
学熱帯生物学・保全研究所」30-32. 昆虫と自然 43 巻
橋本佳明 (2008) 「昆虫たちのコスモスへファーブルに
まなぶ展紹介」神戸新聞社
橋本佳明 (2008) 「ファーブルにまなぶ展の紹介」朝日小
学生新聞
橋本佳明 (2008) 「ファーブルにまなぶ展から上ー昆虫記
の翻訳」神戸新聞社
橋本佳明 (2008) 「ファーブルにまなぶ展から中ー昆虫記
は回想録」神戸新聞社
橋本佳明 (2008) 「ファーブルにまなぶ展から下ー昆虫記
の先見性」神戸新聞社

■研究発表

橋本佳明 (2008) 系統的制約と機能的適応 アリ類の外骨格
-筋肉系の機能形 日本昆虫学会 香川大学

■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference
Collections (ANeT) 評議委員.
Insectes sociaux レフェリー
Asian myrmecology レフェリー
Japanese Journal of Entomology レフェリー

■助成を受けた研究

アリ類の種多様性はアリグモ類の種多様性の鋳型となってい
るか 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金
額130万円/487万円).
地球規模生物多様性情報機構(G B I F)の促進における生物
多様性データベース作成課題「鱗翅目データベース」独
立行政法人 科学技術振興機構, 研究分担者

■海外調査

2008. 8 マレーシア・サラワク州
2009. 2 マレーシア・サラワク州

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 8 マレーシア・サラワク州 アリ類の採集
2009. 2 マレーシア・サラワク州アリ類の採集

■整理同定担当資料

佐藤コレクション 4000 点
トゲアリ・タイプ標本 40 点

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳明. 2008. 9 「ファーブル昆虫記を読み解く」(10名)
橋本佳明. 2008. 10 「日本のファーブルから学ぶ、ハチの観察
法」(40名)
橋本佳明. 2008. 11 「ファーブル入門～昆虫のデザイン、人の
デザイン～」(10名)
橋本佳明. 2008. 11 「ファーブルにまなぶ～昆虫学入門」高
校連携セミナー (64名)

橋本佳明. 2008. 9 「ファーブル昆虫記を読み解く」大阪シニ
ア大学 博物館 (100名)
橋本佳明. 2008. 9 「ファーブル・ギャラリートーク」博物
館 (60名)
橋本佳明. 2008. 10 「ファーブル・ギャラリートーク」博物
館 (60名)
橋本佳明. 2008. 10 「ファーブル・ギャラリートーク」博物
館 (60名)
橋本佳明. 2008. 11 「ファーブル・ギャラリートーク」三木
の会 博物館 (50名)
橋本佳明・高橋晃・布施静香, 2008. 11 「生物系収蔵庫ツア
ー」博物館. (40名)
高橋晃・布施静香・橋本佳明, 2009. 3 「生物系収蔵庫ツア
ー」博物館. (40名)

館外講演

橋本佳明, 2008. 7. ファーブル展共催事業「日仏友好百五
十周年記念国際シンポジウム」, 講師, 滋賀県立琵琶湖博
物館 (100名)
橋本佳明, 2008. 8. ファーブル展共催事業「アリの行列実演」,
講師, 伊丹市昆虫館 (80名)
橋本佳明, 2008. 8. ファーブル昆虫記を読み解く 講師, 大阪
よみうり文化センター (150名)

非常勤講師など

2007. 5. 「アリとハチのデザイン」 神戸芸術工科大学 80
名

■キャラバン事業

担当

2008. 7 淡路島 「花と虫の物語ー 南米の昆虫たち」
2008. 11 淡路島 「日本の伝統文化ー虫愛ずる日本人」

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 8 あゆみ会 ファーブル・トーク (64名)
2008. 10 宝塚小学校 ファーブル・トーク (143名)
2008. 10 仁川小学校 ファーブル・トーク (140名)
2008. 10 城崎中学校 ファーブル・トーク (40名)
2008. 10 池田市立石橋小学校 ファーブル・トーク (78名)
2008. 10 黒田庄中学校 ファーブル・トーク (95名)
2008. 10 人丸小学校 ファーブル・トーク (100名)
2008. 10 阪神特別支援学校 ファーブル・トーク (43名)
2008. 10 附属池田小学校 ファーブル・トーク (89名)
2008. 10 茨木市立大池小学校 ファーブル・トーク (137名)
2008. 10 陵北小学校 ファーブル・トーク (77名)
2008. 10 日吉西中学校 ファーブル・トーク (74名)
2008. 10 山崎南中学校 ファーブル・トーク (58名)
2008. 10 矢野川中学校 ファーブル・トーク (40名)
2008. 10 関西大倉中学校 ファーブル・トーク (135名)
2008. 10 北条小学校 ファーブル・トーク (77名)
2008. 10 稲美北中学校 ファーブル・トーク (170名)
2008. 10 豊富小学校 ファーブル・トーク (111名)
2008. 11 塩屋中学校 ファーブル・トーク (108名)
2008. 11 大久保小学校 ファーブル・トーク (108名)
2008. 11 三田市立あかしあ台小学校 ファーブル・トーク (84
名)

2008.11 尼崎市立七松小学校 フェアブル・トーク (90名)
2008.11 国際クラーク高校 フェアブルにまなぶ～昆虫学入門 (64名)

講師派遣

橋本佳明, 2008.7. フェアブル展連携事業「環境体験事業 昆虫学習」, 講師, 明石市立朝霧小学校 (79名)

■展示

企画展

2008.9.20-2008.11.30, フェアブルにまなぶ展 (責任者)
2008.9.20-2008.11.30, フェアブルにまなぶ展・昆虫不思議ラボ (責任者)

沢田佳久 SAWAA, Yoshihisa

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 助手

昭和34年京都府生 九州大学大学院農学研究科修了、農学博士、日本昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

フェアブルタスクフォース 事務局運営, 報告書作成担当

■研究開発部門

甲虫, 半翅類担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. オトシブミ, チョッキリの多様性

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援 および地域振興に関する研究」

■研究発表

沢田佳久 (2008) マメヤハズの飛行特性. 日本昆虫学会第68回大会, 香川大学, 高松市.

沢田佳久 (2008) マメヤハズの飼育. 昆虫学会近畿支部大会, 兵庫県博, 三田市.

沢田佳久 (2008) ユアサハナゾウムシの奇妙な営巣. 昆虫学会近畿支部大会, 兵庫県博, 三田市.

■学会役員など

日本昆虫学会, 電子化推進委員.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 各種昆虫類. 三田市等

2008.6 ヒメクロオトシブミ色彩型間交雑帯での採集. 福井県

2008.7-11 フェアブル展関連資料の収集. 奈良県等

■受贈担当資料

ジャコウアゲハ休眠研究証拠標本 (室谷コレクション) 一式

甲虫標本 (松本コレクション) 15箱

アサギマダラ移動被食証拠標本 (前田コレクション) 一式
シロテンハナムグリ早期出現証拠標本 (和泉コレクション), 1点

■整理同定担当資料

昆虫 (鞘翅目, 半翅目).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

沢田佳久, 2008.6, 「もいちど始める昆虫採集」, 博物館. (5名)

沢田佳久, 2008.5, 「深田公園オトシブミ観察会」, 博物館.

沢田佳久, 2008.7, 「小さな虫の標本作り」, 博物館. (20名)

沢田佳久, 2008.8, 「土の中のむし」, 博物館. (20名)

沢田佳久, 2008.9, 「虫の体を調べよう」, 博物館. (10組)

沢田佳久, 2008.10, 「とび出せ立体写真!」, 博物館.

沢田佳久, 2008.11, 「立体写真撮影入門」, 博物館. (10名)

沢田佳久, 2008.11, 「青赤立体写真実習」, 博物館. (10名)

沢田佳久, 2009.2, 「ゾウムシ学序論」, 博物館. (5名)

館外講演

沢田佳久, 2008.7, 「北摂の甲虫たち」, いきいき学舎・フレミラ. (35名)

沢田佳久, 2008.10, 「昆虫標本のはなし」, クラーク記念国際高校.

■キャラバン事業

展示調整

2008.8 田園空間博物館 (甲虫)

■ミニキャラバン事業

展示調整

2008.10 学校キャラバン (甲虫)

展示作成

2008.8 地域キャラバン (象鼻箱)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.3-6.6, 3名.

学校団体対応

2008.9-11, フェアブルトーク. (24校)

■展示

ミニ企画等

2008.6, DPF シアター「ヒユマイトトンボ」.

2008.7-8, DPF シアター「101匹ハムちゃん大行進」.

2008.11-12, DPF シアター「赤いトンボとあかとんぼ」.

2009.2-3, DPF シアター「深田公園のユアサハナゾウムシ」.

2008.12-09.1, 年末・年始特別展示, 展示物.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 数回, 数名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者10件程度, 電話・FAX・メール相談等, 計30件程度.

八木 剛, YAGI, Tsuyoshi

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

昭和43年大阪府生。神戸大学大学院農学研究科修士課程修了。
農学修士。日本昆虫学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門

企画調整室

■タスクフォース

フェアブル展タスクフォース

■研究開発会議

研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 昆虫分布の解釈に関する研究
2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援
および地域振興に関する研究」, 研究代表者。

■論文・著書

藤井優恵・三好百合子・足立 勲・八木 剛 (2008) ミヤマ
アカネ・リサーチプロジェクトを活用した環境教育の実践
と効果—宝塚市の3小学校と博物館が連携した4年間の取
り組み事例—。人と自然, 19: 101-114.

■その他著作

八木 剛・石田弘明・山下治子 (2009) イタリアの自然史系
ミュージアム【1】ミラノ市立自然史博物館 (Museo Civico
di Storia Naturale di Milano) の教育プログラムを担う
ADM. Musee, 87: 14-17.

■ブログへの情報提供

15件

■研究発表

安岡拓郎・八木 剛・前藤 薫・竹田真木生 (2008) ヒメボ
タルの発光時刻の地理的変異と気象条件による影響。日本
昆虫学会第68回大会, 香川大学

安岡拓郎・八木 剛・前藤 薫・竹田真木生 (2008) ヒメボ
タルの発光時刻の地理的変異と気候との関係。日本昆虫学
会近畿支部2008年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第137
回例会 合同大会, 兵庫県立人と自然の博物館

■学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事。

■助成を受けた研究

博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究。科学
研究費補助金基盤研究 (C)。研究代表者 (200万円/350
万円)。

■海外調査

2008.8-9. イタリア

2. 資料収集・整理

■資料収集

2007.5-2007.10 ヒメボタル等。京都市, 三田市, 宝塚市,
佐用町, 香美町, 奈良県, 岐阜県, 長野県

■整理同定担当資料

昆虫 (双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類)。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

八木 剛. 2008.4-2009.2. 「ユース昆虫研究室」. 国営明石海
峡公園 (神戸地区)・船越山 (佐用町)・博物館 (全13回)。

八木 剛. 2008.6. 「六甲山系ヒメボタル分布調査プロジェク
ト」. 兵庫県立六甲山自然保護センター

八木 剛. 2008.6.9. 「身近な環境を調査しよう〜トンボとり
ペナントレース」. 博物館 (全2回)

八木 剛. 2008.4.5. 「むしの観察とお絵かき」. 博物館 (全
2回)

八木 剛. 2008.8. 「夏季教職員セミナー:校区の昆虫を調べ
よう〜実習編〜」. 宝塚市立教育総合センター。

八木 剛. 2008.8. 「夏季教職員セミナー:校区の昆虫を調べ
よう〜理論編〜」. 宝塚市立教育総合センター。

館外講演

八木 剛. 2008.9.10. 「ビオトープ」NPO法人シニア自然大学。
博物館 (全3回, 63, 69, 51名)

八木 剛. 2009.1「ヒメボタルについて」島本町水と緑の会 (40
名)

非常勤講師

2007.5. 「自然とデザイン」. 神戸芸術工科大学

ラジオ・テレビ等出演

2008.4.20 「サイエンス・ZERO」, NHK 教育

2008.6.10 「三上きみやの情報朝市」, ラジオ関西

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2008.7. 森のホテルとのすてきな出会い 但馬地域 (ハチ北
高原)

■ミニキャラバン事業

2008.11. 丹波の森フェスティバル (主担当)。丹波の森公苑

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人人と自然の会 (アドバイザー: 主)

run♪ run♪ plaza (アドバイザー: 主)

テネラル (アドバイザー: 主)

あかねちゃんクラブ (アドバイザー: 主)

きんひばり (アドバイザー: 副)

さんぽクラブ (アドバイザー: 副)

地域研究員: 吉田浩史 (アドバイザー: 主)

成果発表

2008.2 共生の広場「マーケティング調査で得られたミヤマアカ
ネの周年経過と行動に関する知見」横田 靖, あかねちゃん

- んクラブ (指導・助言)
- 2008.2 共生の広場「ミヤマアカネを卵から観察- 血統書付き・あかねちゃん誕生! -」浅倉景子, あかねちゃんクラブ (指導・助言)
- 2008.2 共生の広場「生物多様性に富んだ三木山森林公園をめざした昆虫調査」大塚剛二ほか, 三木山森林公園昆虫調査グループ (指導・助言)
- 2008.2 共生の広場「キイロモモトノハバチの縄張り行動について」森本健太郎, テネラル (指導・助言)
- 2008.2 共生の広場「あいの昆虫2008」中野彰人ほか, ユース昆虫研究室 (指導・助言)
- 2008.2 共生の広場「佐用町昆虫館の出発に向けて- 廃止された小さな昆虫館を再生させる取り組み-」NPO 法人こどもとむしの会 (協働)

共催事業

- 2008.4-2009.3「ドリームスタジオ」(全12回), 「花工房」(全12回), 「古代体験」ほか, NPO 法人人と自然の会, 博物館
- 2008.7-8 「ひととく博士と行くハチ北高原サマースクール」. run♪ run♪ plaza, 博物館・ハチ北高原 (全5回)
- 2008.4,5. 「かわいい春をみつけよう」. run♪ run♪ plaza, 深田公園 (全2回)
- 2008.6. 「かわいい春をみつけようスペシャル 今年のホテルを見に行こう!」, run♪ run♪ plaza. 三田市波豆川 (38名)
- 2008.6. 「昆虫アドベンチャー (1泊2日)」. run♪ run♪ plaza, 三田市波豆川
- 2008.7. 「パパといっしょの昆虫アドベンチャー」. run♪ run♪ plaza, 明石公園
- 2008.8. 第4回みやまあかね祭, あかねちゃんクラブ. 宝塚ゴルフクラブ (227名)
- 2008.9. こども灘山探検隊. 淡路市灘山緑地 (共催: 淡路花博記念事業協会)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6 1日

学校団体対応

- 2008.5. 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」宝塚市立西山小学校4年生 (88名).
- 2008.6 「ホテルについて」加東市黒谷地域活動協議会 (43名)
- 2008.7 「平成20年度初任者研修 (阪神北地区第3回校外研修)「学校教育と博物館~博物館利用のすすめ~」博物館 (134名)
- 2008.8 「昆虫博士とあそぼう- トンボとりペナントレース」みこころ幼稚園親子学級. 深田公園・博物館 (146名)
- 2008.9. 「フェアブルトーク」高砂市立新井小学校6年生 (67名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」宍粟市立繁盛小学校 (46名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」市島町立瀬加小学校 (20名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」猪名川町立白金小学校 (84名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」宝塚市立宝塚小学校 (76名)

- 2008.10. 「フェアブルトーク」宝塚市立仁川小学校 (68名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」西脇市立西脇南中学校 (77名, 76名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」明石市立人丸小学校 (58名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」大阪教育大学附属池田小学校 (44名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」西宮市立上ヶ原南小学校 (83名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」茨木市立春日小学校 (111名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」小林聖心女子学院小学校 (91名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」小野市立小野中学校 (105名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」神戸市立鈴蘭台中学校 (107名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」神戸市立塩屋中学校 (51名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」猪名川町立猪名川中学校 (76名)
- 2008.10. 「フェアブルトーク」姫路市立広畑第二小学校 (51名)
- 2008.10. 「博物館の概要」神戸大学農学部 (36名)
- 2008.11. 「研究員の仕事・博物館の概要」大阪府立北野高校 (43, 45名)
- 2008.11. 「フェアブル展示解説」関西学院大学 (12名)
- 2008.11. 「フェアブルトーク」神戸市立多聞南小学校 (63名)
- 2008.12. 「クロマダラソテツジジミについて」加古川南高校 (6名)
- 2009.2 「博物館の概要」神戸大学博物館学 (39名)

講師派遣

- 2008.6 「ホテルのタベ」, ガーデン・カフェ・レストラン・アリス (西宮市) (名)
- 2008.7 「ふなこし山姫螢のタベ」, NPO 法人こどもとむしの会設立準備会 (佐用町)
- 2008.7 「トンボと自然環境」「いきいき学舎・フレミラ (専門コース)」, 宝塚市立老人福祉センター (20名)
- 2008.7 宝塚市立西山小学校4年生「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」(80名).
- 2008.7 三田市立三輪小学校5年生「三田の昆虫」
- 2008.9 「宝塚の鳴く虫たち」「いきいき学舎・フレミラ (専門コース)」, 宝塚市立老人福祉センター (20名)
- 2008.9 「トンボとホテルのふれあい活動」阪神南地域ビジョン委員会, 西宮市市民会館 (名)
- 2009.1 「校庭の昆虫」明石市立朝霧小学校3年生
- 2009.2 「環境学習 (ホテルについて)」淡路市立生田小学校3,4年生 (11名)

■フェスティバル等

- 2008.11 ひととくフェスティバル, 虫放天 (責任者).

■展示

企画展

- 2008.9-11 ひととくフェアブル大作戦! (分担者)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5回, 50名.

■行政等支援

委員会等 (計2件)

- 2008. 4- ささやまの森公園運営協議会, 委員.
- 2008. 4- ヒメボタル保全検討会委員, 国土交通省京都国道事務所

相談・指導助言

- 2008. 7. 兵庫県篠山土木事務所
- 2008. 8. 兵庫県柏原土木事務所
- 2008. 8. 新川ヒメボタルの会
- 2008. 8. 柏崎市立博物館
- 2008. 10 日本科学未来館
- 2009. 1 猪名川上流広域ゴミ処理施設組合
- 2009. 2 JR 西日本福知山支社
- 2009. 2 NPO 法人野生生物を調査研究する会
- 2009. 3 兵庫県学校厚生会
- 2009. 3 神戸市須磨区役所まちづくり課

■学会開催等支援

- 2008. 12 日本昆虫学会近畿支部大会・日本昆虫学会近畿支部例会合同大会(昆虫学公開研究発表会)開催. 101名
- 2009. 2 兵庫トンボ研究会総会開催. 15名
- 2009. 3 第1回 関西・中国地区のチョウ類の保全を考える集い. 日本蝶類保全協会. 55名.

高野 温子, Atsuko TAKANO

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/研究・シンクタンク推進グループ

主任研究員

昭和46年大阪府生. 大阪市立大学理学研究科後期博士課程修了. 理学博士.

日本植物学会, 日本植物分類学会, 米国植物分類学会他所属

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

■タスクフォース

グローバル・プログラムタスクフォース (JICA 研修生3名の研修スケジュール作成とアレンジ、マレーシアにおける植物調査)

情報システム更新タスクフォース (館収蔵植物標本データのHP公開に向けた整備)

生物多様性タスクフォース (生物多様性ひょうご戦略の用語解説記述 (一部)、戦略検討会議のオブザーバー)

■研究開発部門/資料データバンク整備活用マネージャー

博物館資料の受け入れ・貸し出しに関すること
小薫蒸

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1. ショウガ科植物の分類学的研究

2. 兵庫県産植物の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」研究分担者
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」研究分担者.

■論文・著書

Avelinah Julius, M. Suleiman, A. Takano. 2008. Preliminary molecular phylogeny of Bornean *Plagiostachys* (Zingiberaceae) based on DNA sequence data of internal transcribed spacer (ITS). *Journal of Tropical Biology and Conservation* 4: 67-80.

■その他著作

- ◎藤本義昭・布施静香・黒崎史平・高橋晃・高野温子. 2008. イネ科. 福岡誠行・黒崎史平・高橋晃編: 兵庫県産維管束植物 10. 人と自然 No. 19. 161-214.
- ◎黒崎史平・岡村はた・高野温子. 2008. タケ科. 福岡誠行・黒崎史平・高橋晃編: 兵庫県産維管束植物 10. 人と自然 No. 19. 214-217.

■研究発表

千川慶史・布施静香・高野温子・高橋晃・田村実. 2009. 日本産イグサ科の分子系統と分類学的再検討 (予報). 日本植物分類学会第8回大会, 東北大学, 仙台市.

■学会役員など

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica レフェリー

■助成を受けた研究

雌しべが動いて性が変わる: フレキシスタイリーの起源と進化に関する研究. 文部科学省科学研究費若手研究 (B), 研究代表者 (金額100万円/310万円)

■海外調査

2008. 11. マレーシア・サバ州

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 12 篠山市

■受贈担当資料

2008. 10 兵庫・大阪府産植物標本 (江村伸一コレクション). 15点.

■整理同定担当資料

植物 (イネ科、タケ科)

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

◎高橋晃・高野温子. 2008. 10, 「野草のお茶をたのしもう」. 博物館. (85名)

館外講演

高野温子. 2009. 3. 「東南アジアのショウガ科植物」. 明石市立男女共同参画センター. (30名)

兵庫県立大学・大学院教育

特別セミナー (指導補助)

■学校教育支援

学校団体対応

2009. 2, 明石市立野の池中学校2年生 (80名).

■研修生等の受入

2009. 2. 10-3. 5 生物学研究センター標本管理体制及び生物多様性保全のための研究機能向上プロジェクト・カウンターパート研修 インドネシア国立生物学研究センター研究員3名

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内 2回. 38名.

■行政等支援

委員会等 1件

2008. 4- ため池生物多様性保全計画検討会委員, いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

相談・指導助言

来訪者4件, 7名, 電話1件, メール相談2件

自然・環境環境評価研究部

森林多様性研究グループ/研究・シンクタンク推進室
研究員

布施 静香, Shizuka FUSE

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 博士(理学). 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

なし

2. タスクフォース 情報システム更新タスクフォース

システム検討メンバー

3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室/資料データベース整備活用マネージャー: 資料データベース整備活用業務の総轄, 収蔵庫入庫に関する説明会開催, 標本燻蒸.

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理
2. 隔離分布する植物の種の認識に関する研究
3. 兵庫県産植物の分類学的研究
4. 日本産イグサ科植物の分子系統

2) 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

3) 論文・著書

なし

4) その他著作

◎高橋晃・高野温子・福田知子・布施静香・佐藤順子・原麻砂

美・中井康子編(2008) 藤本義昭コレクションー台湾産植物標本目録・植物学関連文献目録一. (社)兵庫県自然保護協会, 神戸.
◎藤本義昭, 布施静香, 黒崎史平, 高橋晃, 高野温子 (2008) イネ科. (福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物10). 人と自然 19: 161-217.

布施静香(2008) 2008年度日本植物分類学会講演会のお知らせ. 日本植物分類学会ニュースレター, 30: 7.

布施静香(2008) 2008年度日本植物分類学会講演会のご案内. 日本植物分類学会ニュースレター, 31: 12-14.

布施静香(2009) 2008年度日本植物分類学会講演会の報告. 日本植物分類学会ニュースレター, 32: x.

5) ブログへの情報提供

2件

6) 研究発表

千川慶史・布施静香・高野温子・高橋晃・田村実 (2009) 日本産イグサ科の分子系統と分類学的再検討(予報), 日本植物分類学会第8回大会. 東京エレクトロンホール宮城, 仙台.

7) 学会役員など

日本植物分類学会, 講演会担当委員.

種子植物談話会, 事務局・世話人.

ANNALES BOTANICI FENNICI, 査読.

8) 助成を受けた研究

隔離分布する植物を用いた生活史レベルでの種の認識に関する研究. 植物研究助成(新技術開発財団). 研究代表者(131万円/総額251万円).

双子葉植物から単子葉植物への進化の道すじの推定—単子葉植物の起源を探る 第一段階—, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C). 研究分担者(5万円/総額156万円).

9) 海外調査

なし

10) 賞罰

なし

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2008. 6 冬虫夏草. 西宮市.

2008. 8 種子植物. 奈良県.

2) 受贈担当資料

2008. 剣山県民の森資料館 植物標本 80点

3) 整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

高橋晃・布施静香・福田知子・高野温子, 2008. 4-「植物リサーチクラブ専修科講座」, 博物館. (全4回)

高橋晃・福田知子・布施静香, 2008. 4, 「植物園を歩く—春の植物を覚えよう—」大阪市立大学理学部附属植物園, (26名). 布施静香, 2008. 5-6, 「高校連携セミナー: 標本資料を理解する」(全2回/85名)

福田知子・高橋晃・布施静香, 2008. 6, 「植物リサーチクラブ②

染色体をみよう」, 博物館, (9名)
 ◎布施静香・福田知子・高橋晃, 2008. 6, 「野草のお茶をたのしもう」, 博物館, (152名)
 ◎布施静香, 2008. 6, 「植物クイズに挑戦!」, 博物館, (15名)
 布施静香, 2008. 7, 「企画展示「クリプトガミックボタニー」ギャラリートーク」, 博物館 (7名).

館外講演
 なし
 兵庫県立大学・大学院教育
 大学院生特別研究指導補助.
 非常勤講師
 2008. 5 「花が咲く植物のデザイン」, 神戸芸術工科大学.
 2008. 6 「生物学実験 I」, 大阪府立大学.
 ラジオ・テレビ等出演
 なし
 2) キャラバンおよび地域研究員養成事業
 なし
 3) ミニキャラバン事業
 なし
 4) 連携事業
 なし
 5) 学校教育支援
 トライやるウィーク
 なし
 学校団体対応
 2008. 4, 景観園芸基礎演習 (収蔵庫説明), 淡路景観園芸学校 (20名).
 2008. 4, CD ケースを使った種子標本の制作, 大阪府立泉北高校 (16名).
 2008. 4, DNA 抽出実験, 宝塚北高校 1年 (20名)
 2008. 6, 企画展示クリプトガミックボタニー講習会, 大阪府立大学 (21名)

講師派遣
 なし
 遠隔授業
 なし
 6) 研修生等の受入
 なし
 卒論生等
 2007. 4. 1-2009. 3. 31, 千川慶史 (兵庫県立大学大学院環境人間学研究科前期博士課程), 日本産イグサ科の分子系統と分類学的再検討.
 7) フェスティバル等
 なし
 8) 展示
 企画展
 2008. 2. 23-2008. 8. 20, 企画展「クリプトガミックボタニー 隠花植物の不思議な世界」(分担者).
 ミニ企画等
 2008. 6. 24-7. 18, ミニ企画展「野草のお茶をたのしもう」(責任者).

2. シンクタンク事業
 1) 受託研究
 なし
 2) 自然環境情報調査
 なし
 3) 収蔵庫・ジーンファームの公開
 生物系収蔵庫の案内, 14回, 93名.
 4) 行政等支援
 委員会等 (計1件)
 2005. 4- 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員. 環境省.
 相談・指導助言
 来訪者 3件, 5名. 電話・FAX 相談 2件, メール相談 5件.
 2008. 5 神戸市環境局.
 5) 学会開催等支援
 なし

自然・環境評価研究部
 森林多様性研究グループ
 研究員
 福田 知子, Tomoko FUKUDA

昭和 40 年愛知県生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了.
 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>
 なし

<研究開発>

1. 調査研究
 1) 特別課題研究 (個人研究)
 1. ミヤマシキミの生物地理・分類

2) 共同研究
 総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.
 部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

3) 論文・著書
 福田知子 (2008) 「カムチャツカの花 アバチャ山の植物を中心に」 NPO法人カムチャツカ研究会
 Fukuda T. (2008) Plant list during the expedition of Kamchatka in 2007. Human and Nature, 19: 147-160.

4) その他著作

5) ブログへの情報提供
 1件
 6) 研究発表

9) 海外調査
 2008. 8 ロシア・カムチャツカ州

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

3) 整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

高橋 晃・布施静香・福田知子・山本伸子, 2008.4-12 植物リサーチクラブ専修科 (全4回), 博物館. (36名)

高橋 晃・布施静香・福田知子, 2008.4 植物園をあるくー春の植物を覚えよう, 大阪市立大学理学部附属植物園. (24名)

高橋 晃・福田知子, 2008.5 植物リサーチクラブ①春の西播磨と氷ノ山, 赤西溪谷〜氷ノ山. (39名)

福田知子・布施静香・高橋 晃, 2008.6 植物リサーチクラブ②染色体の観察, 博物館. (9名)

◎布施静香・高橋 晃・福田知子, 2008.6 野草のお茶を楽しもう, オープンセミナー, 博物館. (152名)

高橋 晃・福田知子, 2008.8 園児自然観察指導者講習, 博物館. (16名)

高橋 晃・福田知子, 2008.8 植物標本の作り方, 教職員セミナー, 博物館. (20名)

非常勤講師

2008.4-9. 「分子でわかる生物学」, 大谷大学 (京都市).

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

なし

副担当

2008.6 但馬, ハチ北地区

展示作成

リサーチプロジェクト

なし

セミナー担当

2008.6 但馬地域「ハチ北自然案内人養成講座ー初夏の植物」, 講師, ハチ北観光協会. (11名)

3) ミニキャラバン事業

なし

4) 連携事業

連携グループ等

成果発表

共催事業

協力事業

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

なし

学校団体対応

2008.4 「DNA抽出」, 宝塚北高校. (42人)

2008.8 「生物地理学」, 観音寺第一高校. (41名)

2008.8 「DNA抽出」, 柏原高校. (25名)

講師派遣

遠隔授業

6) 研修生等の受入

博物館研修

2008.8 JICA 研修員に標本庫の説明

卒論生等

7) フェスティバル等

8) 展示

企画展

ミニ企画等

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

2) 自然環境情報調査

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫 8回, 46人

4) 行政等支援

委員会等

相談・指導助言

5) 学会開催等支援

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/□□□室

研究員

山本 伸子, Nobuko YAMAMOTO

昭和56年岡山県生. 岡山理科大学大学院総合情報研究科修士課程修了. 日本植物学会, 植物地理・分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

なし

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究 (個人研究)

系統分類学的研究

2) 共同研究

3) 論文・著書

小林禎樹・池田 博・渡辺邦秋・山本伸子・邑田 仁 2008. 中国地方におけるナガバマムシグサ群 (サトイモ科) の地理的分布ー広島県内でみられるヒガンマムシグサとタカハシテンナンショウの棲み分けー. 分類 8(2): 149-156.

矢野興一・山本伸子・池田 博・任 炯卓・孫 炫徳・星野卓二 2008. 韓国のスゲ属植物 I. 莎草研究 (13): 55-60.

池田 博・山本伸子・狩山俊悟・小林禎樹・星野卓二 2008. 岡

山県で50年ぶりに採集されたクロタマガヤツリ(カヤツリグサ科). 莎草研究(13): 1-7.

4) その他著作

山本伸子(2008)岡山県西部石灰岩地域(阿哲地域)に特産する絶滅危惧種ナガバヤクシソウ(*Paraixeris yoshinoi* (Makino) Nakai)の分布と保全に関する研究. 財団法人八雲環境科学振興財団研究レポート集, No. 9, 54-60.

5) ブログへの情報提供

2件

6) 研究発表

山本伸子(2008)岡山県西部石灰岩地域(阿哲地域)に特産する絶滅危惧種ナガバヤクシソウ(*Paraixeris yoshinoi* (Makino) Nakai)の分布と保全に関する研究. 財団法人八雲環境科学振興財団平成20年度研究発表会(平成19年度環境研究助成報告), 岡山大学, 岡山市.

7) 学会役員など

なし

8) 助成を受けた研究

なし

9) 海外調査

2008.7-8 ネパール・マナスル地域

10) 賞罰

なし

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

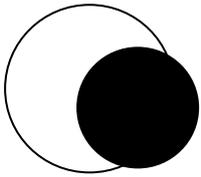
2008.9-12, 種子植物, 姫路市, 篠山市.

2) 受贈担当資料

なし

3) 整理同定担当資料

・種子植物.



個人別成果報告に関する資料

No. 3

● 自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ /
動物共生研究グループ

江崎 保男, Yasuo EZAKI

自然・環境マネジメント研究部 / 流域生態研究グループ
研究部長 / 研究系次長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授。
昭和26年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。
理学博士。日本鳥学会、応用生態工学会、日本生態学会、イギリス鳥学会、アメリカ鳥学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

グローバルプログラムタスクフォース リーダー

■研究開発部門

研究次長、館内研究者の指揮・総括

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- ダム水源地を含む流域生態系保全に関する研究
- 人と陸域生物群集の相互作用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」、研究分担者。

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」、研究代表者。

■論文・著書

- ◎江崎保男・彦根宏道・遠藤菜緒子 2008. 兵庫県三田市の市街地残存林でのミゾゴイの繁殖。山階鳥類学雑誌 40:56-58
江崎保男（分担執筆）川の百科事典（「コウノトリ」など21項目；高橋 裕 編）2008. 丸善株式会社、東京

■その他著作

江崎保男 2008. 中村登流の適応空間—独自のハビタット概念にもとづく群集解析論。山階鳥類学雑誌 39:127-128

中村浩志・江崎保男 2008. 「賞に関する要望書」への回等書。日本鳥学会誌 57:44-46

江崎保男（編）2008. 地球温暖化と生物多様性。第4回環境人間学フォーラム報告書(24pp)。

江崎保男。2008. 世の中すべてバランスである。(株)建設環境研究所、東京。

- ◎江崎保男。2008. 書評：野生復帰されるコウノトリとの共生を考える—「強いられた共生」から「地域のもの」へ。応用生態工学 11:229.

- ◎江崎保男。2008. G8 環境大臣会合開催記念シンポジウムの開催。兵庫県立大学学報 2008. No. 6:6.

江崎保男。2009. 生物群集からみた河川。河川レビュー No. 144:20-25.

■研究発表

脇坂英弥・中川宗孝・伊藤雅信・江崎保男(2008) カラスと

水田の湿り具合がケリの密度に与える影響」日本鳥学会 2008 年度大会、立教大学、東京。

- ◎遠藤菜緒子・江崎保男(2007)「コロニー形成時の行動からサギコロニーの形成プロセスと機能を探る」日本鳥学会 2008 年度大会、立教大学、東京

風間美穂・江崎保男 (2008)「開放水面に営巣するカイツブリ一人為がもたらす営巣場所の変化」日本鳥学会 2008 年度大会、立教大学、東京

■学会役員など

日本鳥学会、副会長。

日本鳥学会、評議員。

応用生態工学会、幹事長

日本鳥学会員近畿地区懇談会、世話人。

(財)姫路工業大学後援財団評議員

■助成を受けた研究

人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究。平成 20 年度兵庫県立大学特別教育研究助成金。研究代表者（金額 80 万円）

水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究。ダム水源地環境整備センター。研究代表者（金額 60 万円）

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 鳥類死体の収集。県内各地。

■整理同定担当資料

鳥類

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

江崎保男, 2008. 8 教職員セミナー「生態系ってなに?」, 博物館。(全1回, 38名)

- ◎江崎保男, 2008. 8 ひととはくセミナー「都市の生態系」, 博物館。(全1回, 11名)

- ◎江崎保男, 2008. 10 ひととはくオープンセミナー「自然ってなんだろう?」, 博物館。(全1回, 4名)

館外講演

2008. 2 「地域から温暖化対策を考える」, パネルディスカッション座長, 第4回環境人間学フォーラム, 兵庫県立大学 (55名)

2008. 4 「アジアからの発信人と自然の共生のみちをさぐる」, シンポジウム進行, G8 環境大臣会合開催記念シンポジウム, 人と自然の博物館 (400名)

2008. 4 「アジアからの発信人と自然の共生のみちをさぐる」, ワークショップパネリスト, G8 環境大臣会合開催記念シンポジウム, 人と自然の博物館 (20名)

- 2008.7 「緊急課題の地球環境問題—生物多様性の保全に向けて」、講師、宮水学園選択講座環境コース (50名)
- 2008.7. 「世の中すべてバランスである」招待講演講師、(株)建設環境研究所平成20年全社会議, 東京 (200名).
- 2008.11 「都市の自然,そして生態系」、講師、尼崎市高齢者生きがい促進協会シニアウォーキング入門教室 (100名)
- 2008.9 「森にうかぶ人造湖,ダムをどうとらえるか?」基調講演講師,第11回水源地生態研究セミナー (200名)
- 2008.9 「第11回水源地生態研究セミナーパネルディスカッション」,パネリスト,第11回水源地生態研究セミナー (200名)
- 2008.9 「公開シンポジウム自然再生の課題と展望」,パネリスト,ELR2008福岡,福岡大学 (200名)
- 2008.11 「環境人間学の目指すところ」パネリスト,環境人間学部開設10周年記念シンポジウム,兵庫県立大学 (200名)
- 2008.11 「宇宙と化石と環境をつなげる—歴史的存在としての人と自然の共生—」,講師,兵庫県立大学公開講座 (26名)
- 2008.11 「川から生態系保全を発想する」講師,第10回ダム水源地環境整備センター技術研究発表会特別講演 (150名)
- 2009.1 「森と川と鳥と」講師,リバグレス猪名川講演会,猪名川町 (23名)
- 2009.1 「人と自然の共生とはどういうことか?」講師,まちの寺子屋師範塾,兵庫県立大学 (25名)
- 2009.2 「生態系とはなにか?人と自然の共生とは?」講師,シニア自然大学,大阪 (200名)

兵庫県立大学での実績

- 自然・環境科学研究所 所長・教授
環境人間学研究科 教授
兵庫県立大学 生涯学習推進委員会 委員
同 発明審査会 委員
同 将来計画委員会 委員
同 附属学校委員会 委員
同 本部移転検討委員会 委員
生態学特別演習 (大学院講義)
特別ゼミナールⅠ (大学院指導)
特別ゼミナールⅡ (大学院指導)
特別研究 (大学院指導)
共生博物学 (学部講義)

大学院生の指導

- 2008.4-2009.3 脇坂英弥 (環境人間学研究科博士前期課程2年)「水田におけるケリの繁殖戦略—田園鳥類の保全研究」
2008.4-2009.3 風間美穂 (環境人間学研究科博士前期課程1年)「都市近郊のため池で繁殖するカイツブリ・バンなどの鳥類と,環境要因に関する研究」
2008.4-2009.3 前畑晃也 (環境人間学研究科博士前期課程1年)「兵庫県におけるカワウ *Phalacrocorax carbo* の分布域の変化とその要因」

- 2008.10-2009.3 前田 了 (環境人間学研究科博士前期課程1年)「コウノトリ (*Ciconia boyciana*) の幼鳥の独立過程」
2008.10-2009.3 佐藤 直 (環境人間学研究科博士前期課程1年)「コウノトリの餌動物分布をもちいた環境評価」
平成21年度大学院環境人間学研究科博士前期課程 (A日程) 専門科目の出題および採点委員
同 口述試験 面接委員
平成21年度大学院環境人間学研究科博士前期課程 (B日程) 専門科目の出題および採点委員
同 口述試験 面接委員

非常勤講師

- 2008.10-2009.3. 「生態学」,淡路景観園芸学校.

■連携事業等

成果発表 (地域研究員養成事業)

- 2009.2 共生のひろば「ハヤブサの落とし物 (Part4)」溝田浩美 (指導)
2009.2 共生のひろば「冬の水田の湿り具合がケリの営巣度に与える影響」脇坂英弥 (指導)

■学校教育支援

学校団体対応等

- 2008.4.22 ひとはくを代表しての終わりのあいさつ,兵庫県立大学附属中学校 (40名)
ボルネオジャングルスクール
2008.7.25-8.1 副校長
2008.8.24 講演「熱帯林と宮崎駿の世界」,ボルネオジャングル体験スクール終了式

■フェスティバル等

- 2008.11 ひとはくフェスティバル,「館内支援」.

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「平成19年度G8環境大臣会合開催記念シンポジウム (仮称) 広報業務」環境省. (95万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 生物系収蔵庫等の案内,2回,8名.

- 2008.12.28 西海 功 (国立科学博物館) トラツグミの計測

■行政等支援

委員会等 (計14件)

- 2006.12- コウノトリ保護・増殖 (野生化) 対策会議,委員,兵庫県.
2008.8- 水源地生態研究会,委員長,(財)ダム水源地環境整備センター
2004.4- 河川水辺の国勢調査 (河川版) スクリーニング委員会,委員,リバーフロント整備センター
2004.4- 河川水辺の国勢調査 (ダム湖版) スクリーニング委員会,委員,ダム水源地環境整備センター
2004.4- 川上ダム自然環境保全委員会,委員,水資源開発機構
2004.4- 川上ダム希少猛禽類保全委員会,委員長,水資源開発機構
2004.4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会,委員,大

阪府

- 2004. 10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府
- 2006. 2- 生態系保全検討委員会, 委員, 兵庫県環境局.
- 2006. 2- 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター
- 2006. 11- 利根川水系河川整備計画有識者会議, 委員, 国土交通省関東地方整備局
- 2007. 11- 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会, 委員, 国土交通省
- 2008. 8- 与布土ダム環境保全検討委員会, 委員, 兵庫県
- 2008. 4. 1- 独立行政法人国立科学博物館外部評価委員会, 委員, 独立行政法人国立科学博物館

相談・指導助言

- 来訪者 50 件, 220 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 10 件.
- 2006. 6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」兵庫県
- 2007. 6. 金出地ダム「鳥類モニタリング」兵庫県
- 2007. 7- 平成 19 年度緑のふるさと林道建設事業 (奥寄線) 調査業務に係る指導助言. 京都府
- 2007. 8- 「緑のふるさと林道建設事業 (奥寄線)」京都府
- 2007. 8- 「丹住谷川通常砂防事業」京都府
- 2008. 3- 「上流武庫川自然を活かした治水対策」兵庫県丹波県民局篠山土木事務所

その他

- 兵庫県職員採用選考試験にかかる専門試験作成委員、兵庫県人事委員会
- 兵庫県職員採用選考試験にかかる業績審査委員、兵庫県人事委員会
- 兵庫県職員採用選考試験にかかる面接委員、兵庫県人事委員会

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ/研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 准教授.
昭和 23 年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了.
理学博士. 日本生態学会, 日本魚類学会, 兵庫県県政学会, 魚類自然史研究会, 関西自然保護機構, 兵庫県水生生物研究会, ひょうご水辺ネットワーク等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

- 環境学習推進タスクフォース
- 情報システム更新タスクフォース

■研究開発部門

- 研究・シンクタンク推進室室長, 研究部会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

■共同研究

- 総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」分担者
- 部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」分担者

■論文・著書

- ◎田中哲夫 (2008) 地球温暖化と淡水魚の盛衰. 岩槻邦男・堂本暁子 (編), 「温暖化と生物多様性」, 113-121, 築地書館, 東京.

■その他著作

- 田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・谷本卓弥 (2009) 「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究 VII」. レフュジアビオトープ研究会.
- 田中哲夫 (2008) 「ため池の自然」. Ban Cu1, No. 68, 32-35.
- 田中哲夫・佐藤裕司 (2008) 「キリンビール神戸工場ビオトープの試み」. 人博コラム, ひとく新聞 (6月30日).
- 田中哲夫 (監修) (2008) 「さんだのさかな」. 三田市有馬富士学習センター.
- 田中哲夫 (監修) (2008) 「生きている猪名川」. 325, NPO 法人野生生物を調査研究する会.

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

- 田中哲夫・藤田茂宏・谷本卓也・山科ゆみ子・三浦靖弘 (2008) ため池におけるカワバタモロコの増殖速度と個体群動態. 2008 年度日本魚類学会シンポジウム「カワバタモロコとは?—その実態と保全」, 愛媛大学, 松山市.
- 田中哲夫・藤田茂宏・谷本卓也・山科ゆみ子・三浦靖弘 (2009) カワバタモロコの初期増殖速度と個体群動態. 日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

■学会役員など

生態学会, 保全生態学研究, 編集委員.

■助成を受けた研究

- 治水と希少水生生物の保全は両立するか. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 130 万円/480 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2008. 4-12 兵庫県産水生生物.
- 2008. 4-12 邇上障害河川横断工作物の映像.

■受贈担当資料

- 2009. 2 丹羽コレクション (兵庫県産水生生物), 500 点.

■整理同定担当資料

- 淡水魚および水生生物全般.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫, 2008. 4-2008. 5, 「ため池を探る」, 博物館・三田市香下ため池群. (全4回, 49名)

◎田中哲夫, 2008. 8, 「川魚の生活」, 博物館・常設展示「生物の生活」前. (全2回, 32名)

館外講演

田中哲夫, 2008. 5, 「キリンビオトープ観察会」, 講師, キリン神戸工場, 神戸市 (20名).

田中哲夫, 2008. 5, 「猪名川の河川環境」, リバグレス猪名川, 講師, 猪名川町 (21名).

田中哲夫, 2008. 6, 「猪名川の水生动物観察」, リバグレス猪名川, 講師, 猪名川町 (22名).

田中哲夫, 2008. 7, 「企画展解説」, リバグレス猪名川, 講師, 博物館 (23名).

田中哲夫, 2008. 7, 「生物多様性と多自然川づくり」, 第一回河川講習会, 講師, 県土整備部河川計画室, 神戸市 (81名).

田中哲夫, 2008. 12, 「ひとはく地域研究員・連携プログラム」, ひょうごサイエンスフォーラム2008, ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット, 講師, 神戸大学, 神戸市 (35名).

非常勤講師

2008. 6, 「流れと生物」, 神戸芸術工科大学「自然とデザイン」, 神戸市 (80名).

2008. 11, 「治水と河川環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市 (150名).

2008. 11, 「武庫川の淡水魚」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市 (30名).

2008. 11, 「外来生物と環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市 (150名).

2008. 11, 「武庫川の淡水魚」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市 (30名).

■キャラバン事業および地域研究員養成事業

主担当

谷本卓弥 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

琢磨千恵子 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

法西浩 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

副担当

水辺のフィールドミュージアム (ひとはく連携活動グループ; 副アドバイザー)

山東の自然に親しむ会 (ひとはく連携活動グループ; 副アドバイザー)

NPO 里山レンジャー (ひとはく連携活動グループ; 副アドバイザー)

森本静子 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)

キャラバン「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」分担者

成果発表

2009. 2 共生の広場 「西宮市・宝塚市におけるクロマダラ

ソテツシジミの研究」, 法西浩 (川ガキクラブ、ひとはく地域研究員主アドバイザー)

2009. 2 共生の広場 「ビオトープで遊ぼう」, 藤田茂宏 (協働)

2009. 2 共生の広場 「ホトケドジョウを守る会の活動」, 山科ゆみ子 (協働)

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル (分担者), 三田自然学習センター, 有馬富士公園.

■連携事業

共催事業

2008. 5-2009. 2, リバグレス猪名川, 猪名川町生涯学習センター (セミナー企画・分担実施)

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 9-11, 三田祥雲館高校連携講座「ビオトープ池を調べる」担当.

2008. 4-2009. 31, 兵庫県立大学附属中学「角亀川の水生物と環境」担当.

2008. 10, ブラックバスの驚異, 神戸市立狩場台小学校, (74名).

2009. 2, 淡河川の淡水魚とオオクチバス, 淡河小学校3年生 (15名).

講師派遣

2008. 6, 「武庫川上流の魚」, 定置網実習講師, 篠山産業高校丹南分校総合学習, 高校1年生 (16名).

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 13-8. 20, 高知大学理学部学生1名, 筑波大学生物学群学生1名.

■展示

ミニ企画等

2008. 5. 23-2008. 5. 26, 「希少淡水生物のレフュジアビオトープ-キリンビール神戸工場との生物多様性保全への取り組み-」環境フェア in KOBE, 神戸市立中央体育館, 神戸.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトープに関する研究」. 代表者, キリンビール神戸工場. (70万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内, 3回, 8名.

■行政等支援

委員会等 (計9件)

2008. 4-2009. 3. 環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県環境影響評価室.

2008. 4-2008. 9. 水族館のあり方検討会, 委員, 姫路市立水族館, 姫路市教育委員会.

2008. 6-2009. 3. 揖保川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.

2008. 6-2009. 3. 岸田川水系「ひょうごの川・自然環境調査」,

アドバイザー、兵庫県但馬県民局。

2008.4-2009.3. 大滝ダム運用環境調査委員会、委員長、国土交通省近畿地方整備局。

2008.4-2009.3. 猪名川自然環境委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局、猪名川河川事務所。

2008.4-2009.3. 尼崎市環境審議会、委員、尼崎市環境局。

2008.4-2009.3. 県立宝塚西谷の森公園運営協議会、委員、宝塚市。

2008.10-2009.3. 円山川水系自然再生推進委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局、兵庫県但馬県民局。

相談・指導助言

来訪者 30 件、100 名。電話・FAX 相談 30 件、メール相談 20 件。

三橋 弘宗, Hiromune MITSUHASHI

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究・シンクタンク推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 講師。

昭和 45 年京都府生。京都大学大学院理学研究科修士課程修了。

理学修士。日本生態学会、アメリカベントス学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

生物多様性タスクフォース

博物館ネットワーク構築タスクフォース

情報システム更新タスクフォース

■研究開発部門

総合共同研究担当

兵庫県立大学自己評価委員 大学認証評価報告書作成担当、第 2 期中期目標とりまとめ担当

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 自己評価委員会、委員長 教員評価システムの構築担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究

2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」、研究代表者。

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」、研究分担者。

■論文・著書

◎荒木田葉月・三橋弘宗（2008）大都市圏におけるヒバリの繁殖適地と経年変化からみた存続可能性の評価。保全生態学研究, 13, 225-235.

◎瀧健太郎・関基・堀江史生・杉野伸義・大沢剛士・三橋弘宗

（2008）兵庫県安室川における希少藻類チズジノリの生育適地の推定。河川技術論文集, 第 14 巻, 403-408.

◎久加朋子・大澤剛士・石田裕子・佐々木宏展・前田知己・三橋弘宗（2008）太陽光発電と小型揚水ポンプを用いた簡易魚道内の水位維持の試み—設置方法と効果の紹介—. 人と自然, No. 19, 95-100.

◎Sakata, H., S. Hamasaki, H. Mitsuhashi (2008). The management of sika deer populations in Hyogo prefecture, Japan. Sika Deer, 437-452, Springer, NewYork.

■その他著作

◎畑田彩・鈴木まほろ・三橋弘宗（2008）博物館と生態学：まとめ ～連載「博物館と生態学」を振り返って～. 日本生態学会誌, 58, 57-61.

◎三橋弘宗（2009）学校のすぐ横の東条川にあって、ほかの川で減っているもの、いのち輝け東条川。加東市立東条東小学校。

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス円山川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス矢田川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス岸田川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス竹田川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス猪名川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス武庫川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス加古川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス明石川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス夢前水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス市川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス揖保川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス千種川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス洲本川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス三原川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県立大学自然・環境科学研究所（2009）任期制に関する教員評価のガイドライン（執筆）

■ブログへの情報提供

8 件

■研究発表

三橋弘宗・荒木田葉月・竹村紫苑・鎌田磨人（2008）内湾度を定量化する方法。第 12 回応用生態工学会，福岡大学，福

岡市.

荒木田葉月・三橋弘宗・鎌田磨人 (2008) 内湾度からみたシギ・チドリ類の渡来地の評価. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

竹村紫苑・荒木田葉月・三橋弘宗・鎌田磨人 (2008) 内湾度を用いたマングローブ林の潜在的生育地の推定. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

清水洋平・久加朋子・大澤剛士・佐々木宏展・前田知己・三橋弘宗・石田裕子 (2008) 簡易魚道における効果的な堰板設置の検討. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

丹羽英之・三橋弘宗 (2008) 流域スケールでの環境類型区分と指標群落の抽出. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

大澤剛士・三橋弘宗・丹羽英之・丑丸敦史 (2008) 河畔植生における希少種ホットスポットはどこにある?—地形から広域的なポテンシャルを探る—. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

田口勇輝・三橋弘宗・柄本武良・夏原由博 (2009) 兵庫県におけるオオサンショウウオの分布推定—モデルを用いた生息地分断化の評価—. 第56回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

宮崎祐子・三橋弘宗・大澤剛士 (2009) 竹林拡大のリスク評価. 第56回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市 (ポスター賞受賞).

大澤剛士・三橋弘宗・丑丸敦史 (2009) 裸地が多様性に貢献する?—河川の合流が生み出す群集ダイナミクス—. 第56回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

■学会役員など

日本生態学会, 編集委員・編集幹事.

日本生態学会, 法人化委員.

関西淡水動物談話会, 世話役.

NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 事務局担当.

■助成を受けた研究

コウノトリはなぜ豊岡盆地で生き残れたのか?—標本と歴史資料が語る生態系のしくみ—. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額120万円/400万円).

■賞罰

第56回日本生態学会 (岩手県立大学) ポスター賞優秀賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.5-2009.3 総合共同研究芦屋川の生態系に関する資料の収集. 芦屋市

2008.6-2009.3 自然再生事業に関連した資料収集. 上郡町, 豊岡市, 丹波市.

2008.4-2009.3 各種底生動物類. 三田市, 神戸市, 豊岡市, 篠山市.

■受贈担当資料

2008.4 兵庫の川自然環境調査標本 (県土整備部河川計画室). 3,000点.

2008.4 円山川水系自然再生計画に関わる調査標本. 2,000

点

■整理同定担当資料

昆虫 (毛翅目, カゲロウ目, トンボ目, カワゲラ目, 脈翅目, 甲虫目, 双翅目など水生昆虫).

魚類, 両生類, 爬虫類, 貝類, 甲殻類など無脊椎動物全般.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎三橋弘宗, 2008.5, 「芦屋川の水生物と水環境」, 芦屋川. (全2回, 90名)

◎三橋弘宗, 2008.5, 「川の水生昆虫観察会 (芦屋川編)」, 芦屋川. (全1回, 30名)

◎三橋弘宗, 2008.6, 「封入標本をつくろう (特注セミナー)」, 博物館. (全1回, 35名)

◎三橋弘宗, 2008.8, 「水生昆虫の調べ方 (野外編)」, 神戸市北区. (全2回, 40名)

◎三橋弘宗, 2008.8, 「ソーラーパネルと自然再生」, 博物館. (全1回, 50名)

◎三橋弘宗, 2008.11, 「封入標本をつくろう」, 博物館. (全1回, 40名)

◎三橋弘宗, 2009.3, 「水生昆虫をじっくり見よう」, 博物館. (全1回, 100名)

館外講演

三橋弘宗, 2008.4, 「市民活動と環境保全」, 大阪産業大学特別講義, 大阪産業大学 (150名).

三橋弘宗, 2008.5, 「封入標本の作製講座」, 学芸員向け技術講習会, NPO 西日本自然史系博物館ネットワーク, 多賀町立博物館 (20名).

三橋弘宗, 2008.5, 「GIS講習会」, 学芸員向け技術講習会, NPO 西日本自然史系博物館ネットワーク, 奈良教育大学 (30名).

三橋弘宗, 2008.6, 「河川生態系管理における数値目標の設定」, 九州大学工学部特別ゼミ, 九州大学 (30名).

三橋弘宗, 2008.6, 「池尻川のホタル観察会」, 武庫川上流ルネッサンス懇談会, 三田土木事務所 (90名).

三橋弘宗, 2008.6, 「モリアオガエルを観察しよう」, 有馬富士公園湿地観察会, 有馬富士公園パークセンター (15名).

三橋弘宗, 2008.7, 「自然史資料の整備と生物多様性保全への活用」, 特別ゼミナール, 山階鳥類研究所 (30名).

三橋弘宗, 2008.8, 「青垣生き物観察会」, 青垣生きものふれあいの里, 丹波市 (50名).

三橋弘宗, 2008.8, 「生息適地モデルの総説」, 数理生態学ゼミナール, ダム水源地センター (50名).

三橋弘宗, 2008.9, 「河川生態系管理における数値目標の設定」, 水環境学会シンポジウム, 関西大学 (90名).

三橋弘宗, 2008.9, 「安室川の水生物観察会 (山の里なんでも探検隊)」, 県土整備部上郡土木事務所 (100名).

三橋弘宗, 2008.10, 「簡単に効果あり! ニュータウンの自然再生の方法教えます」, 花王コミュニティー・ミュージアム

プログラム, 株式会社花王 (60名).

三橋弘宗, 2008. 10, 「地域生態系の保全と自然史博物館」, 現代GP「里山の修復活動を通じた環境理解教育の実践」特別講義, 近畿大学 (150名).

三橋弘宗, 2008. 11, 「「里」の生物多様性ローカルスポット」, 金沢大学里山プロジェクトシンポジウム「SATOYAMAの生物多様性保全～海・川・山のつながりを活かした人のいとなみ～」, 金沢大学 (200名).

三橋弘宗, 2008. 11, 「プロバイダー情報とコレクション管理」, 自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会, 神奈川県立生命の星地球博物館 (小田原市).

三橋弘宗, 2008. 12, 「ソーラーパネルと自然再生」, 奈良県教員研修, きつづ光科学館ふおとん, (京都府木津町).

三橋弘宗, 2009. 2, 「カスミサンショウウオを観察しよう」, 有馬富士公園湿地観察会, 有馬富士公園パークセンター (15名).

三橋弘宗, 2009. 2, 「生物多様性情報の整備: 位置情報取得と分布図作成」, 学芸員向け技術講習会, 滋賀県立琵琶湖博物館 (20名).

三橋弘宗, 2009. 3, 「土と田んぼの美味しい関係 (コーディネーター)」, 豊岡市生息地保全協議会講演会, 豊岡市 (20名).

兵庫県立大学・大学院教育

トビケラ目カクツツトビケラ科の生活史戦略, 渡辺昌造, M2 (修士論文指導)

兵庫県立大学自然・環境科学研究所自己評価委員会, 委員長
兵庫県立大学自己評価委員会, 委員

ラジオ・テレビ等出演

2008. 4, 「変わる科学ミュージアム: サイエンスゼロ」, NHK

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2008. 4 阪神南地区 テーマ「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」

セミナー担当

2008. 7 阪神南地域 芦屋川探検隊「水生生物観察会」(講師・企画運営)

2008. 8 阪神南地域 宮川の水生生物観察会(講師・企画運営)

2008. 11 阪神南地域 芦屋川探検隊「夜のモクズガニ観察」(講師・企画運営)

2008. 11 阪神南地域 芦屋川グリーンマップづくり(協力)

成果発表

2009. 2 共生の広場 「芦屋川探検隊が地域にもたらすものとは」, NPO 法人さんびいす (指導・協働)

2009. 3 第2回近畿「子どもの水辺」交流会, NPO 法人さんびいす (協力)

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル (分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人さんびいす (主担当)

里山レンジャー (主担当)

水辺のフィールドミュージアム (主担当)

琢磨千恵子 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)

東山真也 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)

森本静子 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

成果発表

2009. 2 共生の広場 「芦屋川探検隊が地域にもたらすものとは」, NPO 法人さんびいす (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「コンクリートの川にホテルを増やそう～池尻川ホテル再生計画～」, 有馬高校科学部 (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「自然の恵み～森から学ぶ「修法ヶ原のきのこたち」」, 御影高校 (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「ソーラーパネルと小型ポンプを用いた簡易魚道の設置～安価で簡便な自然再生の方法～」, 水辺のフィールドミュージアム研究会 (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「カスミサンショウウオのお家づくり」, NPO 里山レンジャ (指導・協働)

協力事業

2008. 9, JICA-GIS 研修「GIS (地理情報システム) による天然資源・農業生産の管理」, 国際協力機構(JICA)・名古屋大学農学国際教育協力研究センター (ICCAE)

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 6 大阪府立大学 (50名).

2008. 9 県立御影高校 (30名).

2009. 11 明石市立大久保小学校 (80名).

2009. 2 川西市立川西北小学校 (90名).

2009. 3 加東市立東条東小学校 (25名).

講師派遣

2008. 7 「水生生物観察会」, 講師, 東条東小学校3～4年生 (40名).

2008. 7 「神戸市理科教員研修会: 水生昆虫の観察と検索」, 講師, 神戸市北区 (25名).

2008. 6 「水辺のいきもの観察会」, 講師, 後川小学校4～6年生 (20名).

2008. 9 「樹脂を用いた標本作製技術」, 講師, 御影高校2年生 (20名).

2008. 9 「樹脂を用いた標本作製技術」, 講師, 御影高校2年生 (20名).

2008. 11 「樹脂を用いた標本作製技術」, 講師, 御影高校2年生 (20名).

2008. 10 「博物館連携プログラム」, 県立大付属中学校2年生 (5名).

2008. 12 「水生生物の観察会」, 講師, 東条東小学校3～4年生 (40名).

2009. 2 「三木にすむ水生生物について」, 講師, 三木市立みなぎ台小学校 (120名).

■研修生等の受入

卒論生等

2008. 4. 1～2008. 3. 31, 大澤剛士 (神戸大学大学院人間発達環

境学研究科博士課程2年), 河川生態系における生物多様性の維持機構。

2008. 4. 1-2008. 3. 31, 辻真理奈(神戸大学発達科学部4年), 阪神間におけるカエル類の生息適地評価。

2008. 4. 1-2008. 3. 31, 荒木田葉月(徳島大学大学院研究科博士課程2年), 日本列島における干潟の形成要因からみた鳥類の生息地評価。

2008. 4. 1-2008. 3. 31, 清水洋平(摂南大学工学部4年), 水田魚道の水理特性のための水路実験に関する研究。

■フェスティバル等

2008. 11 ひとほくフェスティバル, 「会場担当」(分担者)。

■展示

企画展

2008. 2. 23-2008. 8. 20, 企画展「クリプトガミック・ボタニー～隠花植物の不思議な世界～」(担当者)。

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)。

ミニ企画等

2009. 2. 10-5. 31, 「六甲山のキノコ展～リアルな森の妖精たち～」(責任者)。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「兵庫の川自然環境調査に関する分任業務」。県土整備部河川計画室。(450万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 10回, 20名。

■行政等支援

委員会等 (計19件)

2008. 4-。豊岡市戸島湿地基本計画検討委員会, 委員長, 豊岡市。

2008. 4-。出石川加陽地区湿地再生パートナー協議会, 委員, 国土交通省豊岡河川国道事務所。

2008. 4-。円山川水系自然再生推進検討委員会, 委員, 国土交通省・兵庫県。

2008. 4-。円山川水系自然再生推進検討委員会技術部会, 委員, 国土交通省・兵庫県。

2008. 4-。安室川自然再生検討委員会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所。

2008. 4-。安室川自然再生検討委員会技術部会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所。

2008. 4-。有馬富士公園湿地管理検討会, 会員, 兵庫県三田土木事務所。

2008. 4-。武庫川上流ルネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所。

2008. 4・G B I F 技術専門委員会, 委員, 独立行政法人科学技術振興機構。

2008. 4. 科学系博物館情報ネットワーク検討委員会, 委員, 国立科学博物館。

2008. 4-。ため池生物多様性保全計画(生物多様性保全推進支援事業: 環境省), 委員, いなみ野ため池ミュージアム運営協議会(東播磨県民局)。

2008. 4-。豊岡コウノトリ生息地保全対策事業(生物多様性保全推進支援事業: 環境省), 委員, 豊岡市・

2008. 6-2009. 3. 揖保川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局。

2008. 6-2009. 3. 岸田川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県但馬県民局。

2008. 7-。「源流の里」環境保全活動委託事業, 委員長, 丹波県民局。

2008. 7-。守りたい神戸の生きもの百選選定委員, 委員, 神戸市環境局。

2008. 8. 丸山湿原エコミュージアム推進協議会, 委員, 阪神北県民局。

2008. 8-。武庫川水系に生息・生育する生物およびその生活環境の持続に係る専門検討委員会, 座長, 兵庫県県土整備部。

2009. 3. 高橋川河川整備計画, ヒアリング対象者, 神戸土木事務所。

相談・指導助言

来訪者85件, 120名。電話・FAX相談40件, メール相談35件。

大谷 剛, Takeshi OHTANI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ/生涯学習推進室/研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授。

昭和22年福島県生。北海道大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学。理学博士。日本昆虫学会, 日本生態学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会, 日本直翅類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 演習フロアサービス

■タスクフォース

環境学習推進タスクフォース リーダー

フェアブル展推進タスクフォース

■研究開発部門

資料担当, 資料審査会座長

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
2. 1個体追跡法に基づく動物の行動研究
3. 動物の歩行肢に関する考察

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学

の実践」, 研究分担者.

■論文・著書

- 大谷 剛(2008) 招集バチによる影響を受けたミツバチ働きバチの尻振ダンス招集効率(英文), 人と自然, No. 19, 71-88.
- 大谷 剛(監修・訳2009) ケン・プレストン・マフハム著「世界チョウ図鑑 500 種」, 株式会社ネコ・パブリッシング, 527pp.

■その他著作

- 大谷 剛(2008) 深田公園鳴く虫地図. ひととはく新聞(2008年9月30日)

■研究発表

- 大谷 剛(2008) ミツバチはダンス情報を使えるのだろうか. 筑波大学共生生物学研究室セミナー(2008. 5. 8).
- 大谷 剛(2008) ミツバチはなぜ収穫ダンスをするのだろうか. 兵庫県立大学人間環境学部環境生物学セミナー(2008. 5. 28).
- 大谷 剛(2008) ミツバチの収穫ダンス: 定説にあわない例—2007年のデータから. 東京工業大学ダーウィンセミナー第2回(2008. 6. 19).
- 大谷 剛(2008) ミツバチ収穫ダンスの生理的側面, 日本昆虫学会近畿支部2008年度大会・日本鱗翅学会近畿支部例会合同大会. 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市(2008. 12. 13).

■学会役員など

- 兵庫県生物学会, 編集委員.

■助成を受けた研究

- ミツバチの尻振りダンスは擬似飛行ではないだろうか. 文部科学省科学研究費萌芽研究, 研究代表者(金額50万円/210万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 3-7 ゲンジボタル幼虫上陸数観察・成虫飛来数. 神戸市北区道場町.

■受贈担当資料

2009. 2 コガタスズメバチ巢の標本. 1点.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎大谷 剛, 2008. 4-8, 「愛蜂家養成講座・初級」, 博物館. (全4回, 20+17+17+14=68名)
- ◎大谷 剛, 2008. 5. 24, 「家族で蜂蜜しばり(1)」, 博物館. (全1回, 49名)
- ◎大谷 剛, 2008. 6~2007. 9, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」, 博物館・深田公園. (全3回, 22+20+15=57名)
- ◎大谷 剛, 2008. 6. 28, 「家族で蜂蜜しばり(2)」, 博物館. (全1回, 45名)
- ◎大谷 剛・沢田佳久, 2008. 8(土・日・月), 「昆虫標本づくり実演コーナー2008」, 博物館. (全14回, 373名)

- ◎大谷 剛, 2008. 8. 1; 8. 8, 「家族でつくる昆虫標本(全2回)」, 博物館. (全2回, 49+46=95名)
- ◎大谷 剛, 2008. 8. 12; 8. 19, 「昆虫標本をつくってみませんか?」(教職員セミナー), 博物館. (全2回, 13+9=22名)
- ◎大谷 剛, 2008. 8. 20, 「あなたのハチの知識は正しいですか?」(教職員セミナー), 博物館. (全1回, 40名)
- ◎大谷 剛, 2008. 8-2007. 10, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」, 道場町日下部・博物館. (全4回, 7+4+4+5=20名)
- ◎大谷 剛, 2007. 9-2008. 1, 「愛蜂家養成講座・上級」, 博物館. (全4回, 14+10+11+13=48名)
- ◎「さんびばり」・大谷 剛, 2008. 10. 4, 「親子の鳴く虫の夕べ, 鳴く虫5種類覚えよう」, 神戸市北区道場町日下部ふれあい会館. (全1回, 16名)
- ◎大谷 剛, 2009. 1. 15, 「昆虫の触角はどこにあるのか?」, クラーク記念国際高校芦屋キャンパス. (全1回, 102名)
- ◎大谷 剛, 2009. 3. 1, 「ホタル幼虫の上陸観察」(3年目), 博物館・神戸市北区道場町. (全1回, 3名)

館内特注セミナー

- ◎大谷 剛, 2008. 6. 15, 「ハチミツしばり体験」, NPOシニア自然大学「つちのご探検隊」, 博物館横養蜂場(22名).
- ◎大谷 剛, 2008. 6. 27, 「ミツバチのからだ観察」, 尼崎市立成文小学校(46名).
- ◎大谷 剛, 2008. 7. 14, 「ハチミツしばり体験」, 博物館職員グループ, 博物館横養蜂場(18名).
- ◎大谷 剛, 2008. 9. 26, 「ミツバチのからだ観察」, 高砂市立荒井小学校3年生(131名).

館外講演

- ◎大谷 剛, 2008. 4. 10, 「ホタルの幼虫上陸観察会」, 講師, NPO法人「さんぼくらぶ」, 神戸市北区道場町塩田八幡宮駐車場(71名).
- ◎大谷 剛, 2008. 6. 6, 「ホタルの観察会」, 講師, NPO法人「さんぼくらぶ」, 神戸市北区道場町川北集会所・塩田八幡宮周辺(57名).
- ◎大谷 剛, 2008. 6. 8, 「大谷先生と歩く武庫川大曲ホタル観察会」, 講師, 「ゆりのきフィールドウォーカー」, 三田市藍本武庫川大曲周辺(13名).
- ◎大谷 剛, 2008. 6. 21, 「鳴く虫を聞き分けるコツ、初夏の鳴く虫観察会」, 講師, リバグレス猪名川(2008猪名川町生涯学習カレッジ)、猪名川町生涯学習センター(23名).
- ◎大谷 剛, 2008. 7. 21, たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり」, 講師, NPO法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター(42名).
- ◎大谷 剛, 2008. 7. 12, 「昆虫採集と標本の作り」, 講師, NPO法人北はりま田園空間博物館, 道の駅北はりまエコミュージアム(43名).
- ◎大谷 剛, 2008. 7. 15, ウォーキング講習会「身近な昆虫(1) —直翅目(バッタ目)の昆虫たち—」, 尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室(60名).
- ◎大谷 剛, 2008. 7. 27, 「昆虫標本の作り方、仕上げ、同定」, 講師, NPO法人北はりま田園空間博物館, 道の駅北はりまエコミュージアム(43名).

- ◎大谷 剛, 2008. 8. 24, たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり、仕上げ、標本箱へ」、講師, NPO 法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター (31 名).
- ◎大谷 剛, 2008. 9. 22, 「イナゴを採って食べる(2 歳児と保護者)」、講師, NPO 法人「さんぼくらぶ」、神戸市北区道場町 (25 名).
- 大谷 剛, 2008. 9. 30, ウォーキング講習会「身近な昆虫(2)ーゴミムシ・ガ・ハチ・アブ・カメムシのトピックスー」、尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室 (54 名).
- ◎大谷 剛, 2008. 10. 1, 「イナゴを採って食べる(3 歳児と参加希望の保護者)」、講師, NPO 法人「さんぼくらぶ」、神戸市北区道場町 (17 名).
- 大谷 剛, 2008. 11. 12, 「毒をもつ虫とのつきあい方(いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース)、フレミラ宝塚 (26 名).
- 大谷 剛, 2008. 11. 16, 科学サロン「ハチの分業」、ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター) (8 名).
- 大谷 剛, 2008. 11. 21, 「ミツバチの分業と暮らし」、神戸女学院大学研究所 (70 名).
- 大谷 剛, 2009. 1. 28, おもしろ理科教室「ハンミョウ」、講師, 神戸市立有野児童館 2 階集会室 (43 名).
- 大谷 剛, 2009. 3. 22, 天文ひとはく科楽セミナー「虫の音楽家コオロギとキリギリス」、講師, 明石市立天文科学館 2 階天文ホール (33 名).

兵庫県立大学・大学院教育

昆虫行動論 (主任)

非常勤講師

2008. 5. 27, 昆虫野外観察, 神戸市シルバーカレッジ.
2008. 6. 18, 「自然とデザイン」、神戸芸術工科大学.

■ミニキャラバン事業

2008. 5, ありまふじフェスティバル 2008 春 (分担者), ありまふじフェスティバル 2008 春実行委員会, 県立有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

- 鳴く虫研究会「きんひばり」(主担当)
NPO 法人「人と自然の会」みつばち研究会(主担当)
NPO 法人「さんぼくらぶ」(主担当)
アピス同好会 (主担当)

成果発表

2008. 2 共生の広場 「鳴く虫界のナマケモノ(?)、ヒサゴクサキリ (第一報)」、鳴く虫ワールド 2008, 鳴く虫研究会「きんひばり」(指導・協働)
2008. 2 共生の広場 「手探りの活動開始ーハチに魅せられて」、アピス同好会 (指導・協働)
2008. 2 共生の広場 「さんぼは自然体験のはじまり!」、NPO 法人「さんぼくらぶ」(指導・協働)

共催事業

2008. 7, 「フェアブル少年少女昆虫教室」、兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」(講演・体験指導)

2008. 7-8, NPO 法人たかつき子ども自然体験学校(講演・体験指導)
2008. 7. 12, 7. 27, 8. 2-8. 19, 昆虫採集・標本づくり指導, 昆虫標本・ビデオの展示, NPO 法人北はりま田園空間博物館(体験指導の実施, 標本・ビデオの貸出)
2008. 8. 8, ひとはくフェアブル大作戦<みつばち編> in フローラ 88 「お絵かき講談、みつばちクイズ初級編」(展示の実施, 8・8 イベント実施)
2008. 8-10, ひとはくフェアブル大作戦 in 中兵庫信用金庫「鳴く虫写真パネル, 昆虫立体 3D 写真、ゴードン・スミスの紹介」(展示の実施, 8・22 イベント実施)
2008. 8-10, ひとはくフェアブル大作戦 in 県立美術館「自然をきりとるー栗林慧氏の写真ー」(展示の実施, 9・15 イベント実施)
2009. 1. 28, おもしろ理科教室, 神戸市立有野児童館 (講演の実施)

協力事業

2008. 6, 「ゆりのきフィールドウォーカー」(講演・体験指導)
2008. 6, 兵庫県学校農業クラブ連盟リーダー講習会(講演・指導)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6. 13, 三田市立上野台中学校 1 名, 三田市立狭間中学校 1 名, 三田市立藍中学校 1 名.

学校団体対応

2009. 9-11, 小・中学校対応フェアブルトーク (計 14 校 15 件 1183 名).

講師派遣

2009. 6. 24 「自然学校での昆虫採集と標本づくり」、講師, 神戸市立道場小学校 5 年生 (39 名).
2008. 7. 15 「昆虫標本づくり」、講師, 神戸市立道場小学校 5 年生 (39 名).
2008. 12. 4 「さなぎのふしぎ」、講師, 高砂市立荒井小学校 3 年生 (131 名).

■展示

ミニ企画等

2009. 2. 12-4. 4, 臨時展示「研究員トピックス展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 生物系収蔵庫等の案内, 1 回, 3 名.

■行政等支援

相談・指導助言

- 来訪者 5 件, 8 名. 電話・FAX 相談 23 件, メール相談 8 件.

■学会開催等支援

2008. 12 日本昆虫学会近畿支部 2008 年度大会・日本鱗翅学会近畿支部例会合同大会 (会場係). 80 名.

三谷 雅純, Masazumi MITANI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／生涯学習推進室／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 准教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科博士後期課程

修了. 理学博士. 日本霊長類学会, International Primatological

Society, 日本生態学会, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ学会,

日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 広報・出版支援グループ

■研究開発部門

研究・紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 熱帯林の霊長類の生態と保全
2. 身体障害者／障害児の社会教育のあり方
3. GIS を利用した哺乳類の空間分布

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者.

■論文・著書

三谷雅純 (2008) 類人猿保護政策と地域住民—カメルーンからガボン, コンゴ共和国の事例から—. 池谷和信・武内進一・佐藤廉也 (編) 朝倉世界地理講座12 アフリカII, pp. 496-509, 朝倉書店, 東京.

- ◎三谷雅純 (2008) 障害のある子どもたちとの社会教育活動: 障害の種類に応じた野外活動やテキスト作りを中心にして. 人と自然, No. 19: 51-60.

■その他著作

- ◎三谷雅純 (2008) 伝えたい「ユニバーサル・ミュージアム」. 霊長類の窓①, 毎日新聞 (4月8日).
- ◎三谷雅純 (2008) 見えるようになった脳の活動. 霊長類の窓②, 毎日新聞 (4月15日).
- ◎三谷雅純 (2008) 理解しにくい人もいて当然. 霊長類の窓③, 毎日新聞 (4月22日).
- ◎三谷雅純 (2008) 〈こころのハンディキャップ〉と付き合う. 霊長類学の窓④, 毎日新聞 (5月13日).
- ◎三谷雅純 (2008) 世界にはいろんなヒトがいる. 霊長類学の窓⑤, 毎日新聞 (5月20日).
- ◎三谷雅純 (2008) 価値観の異なる出会い. 霊長類学の窓⑥, 毎日新聞 (5月27日).
- ◎三谷雅純 (2008) 出口の見えない日本社会. 霊長類学の窓⑦, 毎日新聞 (6月3日).
- ◎三谷雅純 (2008) いじめられているあなたへ. 霊長類学の窓⑧, 毎日新聞 (6月10日).
- ◎三谷雅純 (2008) 狩猟、農耕の時代には支障なく. 霊長類学

の窓⑨, 毎日新聞 (6月17日).

- ◎三谷雅純 (2008) 色の見え方, 異なるのが自然. 霊長類学の窓⑩, 毎日新聞 (7月1日).
- ◎三谷雅純 (2008) 肢体の障害と夏の暑さ. 霊長類学の窓⑪, 毎日新聞 (7月8日).
- ◎三谷雅純 (2008) 障害のある人は疲れやすい. 霊長類学の窓⑫, 毎日新聞 (7月15日).
- 三谷雅純 (2008) 障害者のインドネシア調査行. 霊長類学の窓⑬, 毎日新聞 (7月29日).
- 三谷雅純 (2008) インドネシアのマレーグマ. くまいるクラブ8号 (7月)
- 三谷雅純 (2008) 最大の功労者は「話し好き」/スマトラ島の広域調査. 霊長類学の窓⑭, 毎日新聞 (8月5日).
- 三谷雅純 (2008) イスラムのインドネシア. 霊長類の窓⑮, 毎日新聞 (8月19日).
- 三谷雅純 (2008) スマトラ島おおうグローバル化. 霊長類の窓⑯, 毎日新聞 (8月26日).
- 三谷雅純 (2008) 消えゆく『我が家の畑』. 霊長類の窓⑰, 毎日新聞 (9月1日).
- 三谷雅純 (2008) 病気より怖いのはトラウマ. 霊長類の窓⑱, 毎日新聞 (9月9日).
- 三谷雅純 (2008) 津波の後のパンガンダラン. 霊長類の窓⑲, 毎日新聞 (9月23日).
- 三谷雅純 (2008) 残ったルトン、減ったカニクイザル. 霊長類の窓⑳, 毎日新聞 (9月30日).
- ◎三谷雅純 (2008) 左手だけの野外調査. 霊長類の窓21, 毎日新聞 (10月7日)
- ◎三谷雅純 (2008) 『子殺し』行動を読み解く. 霊長類の窓22, 毎日新聞 (10月21日).
- ◎三谷雅純 (2008) 続・『子殺し』行動を読み解く. 霊長類の窓23, 毎日新聞 (10月28日).
- ◎三谷雅純 (2008) いくつかの『愛情』と子どもの立場. 霊長類学の窓24, 毎日新聞 (11月11日).
- 三谷雅純 (2008) 『わたし』は何者だろうか? 霊長類学の窓25, 毎日新聞 (11月18日).
- 三谷雅純 (2008) インドネシア あたたかい南の島から①. ひとくレーター (11月26日)
- 三谷雅純 (2008) 子どもは〈みんなの宝〉. 霊長類学の窓26, 毎日新聞 (12月2日).
- 三谷雅純 (2008) 人の手でゴリラを育てる. 霊長類学の窓27, 毎日新聞 (12月9日).
- 三谷雅純 (2008) 人からゴリラにうつったポリオ. 霊長類学の窓28, 毎日新聞 (12月16日).
- 三谷雅純 (2009) 動物園の木々は〈わか森〉. 霊長類学の窓29, 毎日新聞 (1月20日).
- 三谷雅純 (2009) ゴリラを返して森を再生する. 霊長類学の窓30, 毎日新聞 (1月27日).
- 三谷雅純 (2009) 自然に依存し、自然と争う. 霊長類学の窓31, 毎日新聞 (2月3日).
- 三谷雅純 (2009) 貧困と欲望と復習の紛争. 霊長類学の窓32, 毎日新聞 (2月10日)

三谷雅純 (2009) 若い狩人モゲッサ・マルセル. 霊長類学の窓 33, 毎日新聞 (2月18日)
三谷雅純 (2009) 森の動物と〈恵みの肉〉. 霊長類学の窓 34, 毎日新聞 (2月24日).
三谷雅純 (2009) インドネシア あたたかい南の島から②, ひとくはくレター (2月27日).
三谷雅純 (2009) 塩と脂と笑顔がごちそう. 霊長類学の窓 35, 毎日新聞 (3月10日).
三谷雅純 (2009) 植物分類学者のムサンボテさん/能力の差と財力の差. 霊長類学の窓 36, 毎日新聞 (3月17日).
三谷雅純 (2009) アフリカの教育事情. 霊長類学の窓 37, 毎日新聞 (3月24日).

■研究発表

三谷雅純・Gurmaya, J. K. ・Noviar, E. ・渡邊邦夫 (2008) 1997-98年エル・ニーニョで減ったシルバールトンの個体群密度はどのような刺激で補償されたか? ジャワ島パンガンダランの例から. 日本霊長類学会大会, 明治学院大学, 東京都.
渡邊邦夫・三谷雅純・Rizaldi ・Santi, K. N. (2008) スマトラ島中部におけるほ乳類 26 種生息状況モニタリングの試み. 野生生物保護学会, 長崎国際大学, 佐世保市.
Kunio Watanabe, Masazumi Mitani, Bambang Suryobroto, Islamul Hadi, Kanthi A. Widayati, Erri N. Megantara, Kunkun J. Gurmaya, Made Wedana, I Wayan Dirgayusa, Asep R. Pernama, & Edy Brotoisworo (2009) Population trends of *Trachipithecus auratus* and *Macaca fascicularis* in the Pangandaran Nature Reserve, Indonesia. Conference of the Association for Tropical Biology and Conservation, Asia-Pacific Chapter, Chiang Mai, Thailand.

■学会役員など

Ecological Research, reviewer
霊長類研究, 査読者
人と自然/ Nature and Human Activities, reviewer

■助成を受けた研究

アジア産旧世界ザルの道具使用等社会行動に関する研究とその保全. 文部科学省科学研究費 基盤研究(B) (海外学術調査) 研究分担者 (500千円/1,900千円)
東西日本で比較したニホンザル各種パラメータの人為的な影響による変容. 平成20年度京都大学共同利用研究, 研究代表者 (126千円/126千円)

■海外調査

2008. 8-9 インドネシア (ジャワ・スマトラ)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 ユニバーサル・ミュージアムに関する資料

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三谷雅純, 2008. 6, オープンセミナー「チンパンジー、アイの描いた絵について」, 博物館. (30名)
三谷雅純, 2008. 8, 夏期教職員セミナー「体の不自由な子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (7名)
三谷雅純, 2008. 11, 「ゴリラが生きる世界 オスとメス、『子殺し』の行動学」, 博物館. (8名)
三谷雅純, 2008. 12, 「むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと」, 博物館. (10名)

館外講演

三谷雅純, 2009. 1, 「障がいのある人たちとの野外活動入門」, よみうり文化センター. (30名)
三谷雅純, 2009. 1, 「霊長類に学ぶ性差と役割 メスとオスと女と男」, アンダス☆フリット. (30名)
三谷雅純, 2009. 2, 「霊長類に学ぶ性差と役割 女性霊長類学者」, アンダス☆フリット. (30名)

非常勤講師

2008. 4-2009. 3, 「セミナー アフリカ中央部の自然と文化」, 市民団体「アフリカ中央部の自然と文化」
2008. 6, 「自然とデザイン ユニバーサル・ミュージアムとデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■地域研究員養成事業

連携グループ等

東中国クマ集会 (協働)

■学校教育支援

学校団体対応等

2008. 4, 大阪府立泉北高等学校. (40名)
2008. 7, 兵庫県立大学附属高等学校. (20名)
2008. 8, 柏原高等学校. (40名)
2008. 9, 愛媛県立松山南高校. (30名)
2008. 12, 兵庫県立有馬高等学校. (40名)

■フェスティバル等

2008. 4 ひとくはく恐竜ラボの開所式典, 記録担当.
2008. 9 ひとくはくフェアブル大作戦! 開催記念式典, 記録担当.
2008. 11 ひとくはくフェスティバル, 記録担当.
2009. 2 共生のひろば2008, 記録担当.

■展示

企画展

共生のひろば展: 研究員の研究課題

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2008. 4-2009. 3 Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).
2008. 4-2009. 3 Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).
2008. 4- 関西テレビ青少年育成事業団, 理事, 関西テレビ青少年育成事業団.

相談・指導助言

来訪者 10件, 30名. 電話相談 10件, メール 30件.

- 2008. 4- 失語症者の発話機能補填について
- 2008. 4- 青少年のキャンプを中心とした野外活動について
- 2008. 4- 脳梗塞者に無理のない野外活動について
- 2008. 6- 発達障害者の人権擁護について
- 2008. 10 種の多様性と森林づくりについて

遠藤 菜緒子, Naoko ENDO

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ/企画調整室/生涯学習推進室

研究員

昭和48年宮城県生. 立教大学大学院理学研究科博士課程後期課程修了. 理学博士. 日本鳥学会, 日本生態学会, Waterbirds Society (アメリカ)所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門 企画調整室

事業推進担当, 事業推進会議進行・事務局, ホームページ運営推進, ミュージアムショップ窓口, 兵庫デスティネーションキャンペーン対応

■事業推進部門 生涯学習推進室

演示フロアサービスグループ, 展示設営補助

■タスクフォース

情報システム更新タスクフォース 研究部内の調整, 公開資料データベース整備へのアドバイス

■研究開発会議

共同研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. カワウおよびサギ類の集団繁殖地に係る研究
2. ひとほくりサーチプロジェクト「カワウ」

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者.

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」, 研究分担者.

■論文・著書

◎江崎保男・彦根宏道・遠藤菜緒子(2008) 兵庫県三田市の市街地残存林でのミゾゴイの繁殖. 山階鳥類学雑誌, 40, 56-58.

■その他著作

遠藤菜緒子(2008) 研究者適応放散の時代. 生物科学, 60(1), 49-50.

■ブログへの情報提供

8件

■研究発表

遠藤菜緒子・江崎保男(2008) コロニー形成時の行動からサギコロニーの形成プロセスと機能を探る. 日本鳥学会2008年度大会, 立教大学, 東京都.

遠藤菜緒子(2008) How do herons and egrets form a heronry? Dominique G. Homberger 教授招待セミナー, 奈良女子大, 奈良市.

■助成を受けた研究

人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究. 平成20年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究分担者.

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2008. 4-2009. 3 兵庫県のカワウ・サギ集団繁殖地の写真データの収集. 県内各地.

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物(哺乳類, 鳥類)

小林コレクション鳥類標本データ s-net (日本ネットワーク経由) 登録 15,382点

資料登録 12点

公開資料データベース整備(動物)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎遠藤菜緒子, 2008. 5, 「はじめてのバードウォッチング」, 有馬富士公園. (全2回28名)

◎遠藤菜緒子, 2008. 12, 「干支展ネズミさんありがとう。展示案内」, 博物館. (2名)

◎遠藤菜緒子, 2009. 1, 「干支展ウシさんようこそ! 展示案内」, 博物館. (4名)

◎遠藤菜緒子, 2009. 2, 「ふかたん冬の鳥」, 博物館. (12名)

館外講演

遠藤菜緒子, 2008. 8, 「ゴイサギのすんでいる世界」, 日本野鳥の会兵庫県支部室内例会, 講師, 日本野鳥の会兵庫県支部事務所. (25名)

遠藤菜緒子, 2008. 10, 「兵庫県のカワウの状況」, 平成20年度カワウ広域管理対策講座, 講師, 兵庫県中央労働センター. (40名)

澤邊久美子・遠藤菜緒子, 2009. 1, 「森の湿地を利用する鳥とほにゅう類!」, 有馬富士公園湿地観察会, 講師, 有馬富士公園パークセンター. (10名)

非常勤講師

2008. 10-2009. 2 「生物学野外実習」, 神戸大学. (19名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2009. 2 阪神南地区「'08 芦屋探検隊 恐竜のバス遠足」. 企画, 博物館~丹波の恐竜化石発掘現場.

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル'08春(責任者), 有馬富士フェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 4, 神戸中華同文学学校 5~6 年生 (147 名).
2008. 10, 加古川エメラルド少年団, 加西市立九会小学校 3
年生 (100 名)・

講師派遣

2009. 2, 「コハクチョウの観察」, 講師, 加西市富合小学校 3
年生 (47 名).

■展示

ミニ企画等

2008. 12. 7-2009. 1. 12, ミニ企画展「干支展ネズミさんあり
がとう。&ウシさんようこそ!」(責任者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 10 回, 16 名.
液浸収蔵庫の案内, 2 回, 3 名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 3 件, 3 名. 電話・FAX 相談 29 件, メール相談 2 件.
2008. 10 平成 20 年度カワウ広域管理対策講座, 講師, 兵庫
県農政環境部環境創造局自然環境課.

田口 勇輝, Yuki TAGUCHI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ/企画調整室

研究員

昭和 56 年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修
士課程修了. 農学修士. 日本爬虫両棲類学会, 日本生態学会,
応用生態工学会, オオサンショウウオの会, 日本ハンザキ研究
所, 京都大学大学院地球環境学舎博士課程等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門 企画調整室

中期目標担当, 中期目標の取りまとめ, 月例報告会の取りま
とめ

<研究開発>

1. 調査研究

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学
の実践」, 研究分担者.

■論文・著書

田口勇輝 (2009) オオサンショウウオの季節的な移動-流水
に棲む両生類による繁殖移動の可能性-. 日本生態学会誌
59, 117-128

田口勇輝・夏原由博 (2009) オオサンショウウオが遡上可能
な堰の条件. 保全生態学研究 14, (印刷中)

■その他著作

田口勇輝・大沼弘一・川上徳子・福岡誠一 (2008) オオサン

ショウオの潜在的な生息適地モデルの構築と保護計画への
適用. プロ・ナトウラ・ファンズ第 17 期助成成果報告書,
119-130.

◎田口勇輝・三橋弘宗・夏原由博 (2008) オオサンショウウオ
の遡上を助ける小さな工事. 爬虫両生類学会報第 2008 巻 1
号, 38-39. (学会大会講演要旨).

田口勇輝 (2009) 個体確認調査. 瀬戸市特別天然記念物オオ
サンショウウオ生息調査報告書, 22-36, 瀬戸市

田口勇輝 (2009) 爬虫類. 生物多様性ひょうご戦略, 45-46,
兵庫県

■ブログへの情報提供

38 件

■研究発表

田口勇輝 (2008) オオサンショウウオは移動性の動物か, 第
5 回 オオサンショウウオの会 (全国集会), 生野マインホ
ール, 兵庫県朝来市. (口頭)

田口勇輝・夏原由博・三橋弘宗 (2008) オオサンショウウオ
は定住性をもつか. 日本爬虫両生類学会第 47 回大会, 栃木
県総合教育センター, 栃木県宇都宮市. (口頭)

◎田口勇輝・三橋弘宗・夏原由博 (2009) 兵庫県におけるオオ
サンショウウオの分布推定モデルを用いた生息地分断化の
評価. 日本生態学会第 55 回盛岡大会, 岩手県立大学・盛岡
市民文化ホール, 盛岡市.

2. 資料収集・整理

■整理同定担当資料

両生類 (有尾目, 無尾目), 爬虫類 (トカゲ亜目, ヘビ亜目).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田口勇輝, 2008. 8, 教職員セミナー「子どもに人気のあるカ
エルとヘビを知ろう!」, 博物館. (15 名)

田口勇輝, 2008. 10, 「篠山川の生き物」, 篠山鳳鳴高校. (50
名).

田口勇輝, 2008. 11, フェアブルトーク「フェアブルも知らな
いオオサンショウウオの不思議」, 姫路市立書写中学校.
(100 名)

館外講演

田口勇輝, 2008. 7, 「両生類と爬虫類」, (社) 大阪自然環境保
全協会「第 6 回自然環境市民講座」, 講師, 大阪市立中央青
年センター (30 名).

田口勇輝, 2008. 7, 「キッピー山の学校 (キッズ研究員)」観
察会, 講師, 三田市有馬富士自然学習センター, 三田市 (30
名).

田口勇輝, 2008. 8, 「オオサンショウウオ, カエルツボカビ症」,
(社) 大阪自然環境保全協会「おもしろ学習会」, 講師, 大
阪自然環境保全協会 (5 名).

田口勇輝, 2008. 12, とよおか子ども野生復帰大作戦「オオサ
ンショウウオの世界」, 講師, 日本・モンゴル民族博物館 (20

名).

田口勇輝, 2009.2, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, 丸山湿原エコミュージアム推進協議会 (20名).

ラジオ・テレビ等出演

2008.10, 「オオサンショウウオ 34箇所姿消した?」, 朝日新聞

■学校教育支援

学校団体対応

液浸収蔵庫の案内, 兵庫県立淡路園芸学校1年生, 20名.

講師派遣

2008.6, 「生きもの共生の日」ワークショップ, 講師, 豊岡市立高橋小学校, 豊岡市 (60名).

2008.7, 「出石川の環境調査」, 講師, 豊岡市立高橋小学校, 豊岡市 (20名).

2009.9, 「オオサンショウウオの生態, すむ環境」, 講師, 篠山市立後川小学校, (25名).

■展示

ミニ企画等

2008.6.3-9.19, トピックス展「兵庫県のオオサンショウウオ」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内, 1回, 20名.

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2006.4-1. 瀬戸市オオサンショウウオ調査委員会, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2007.7-1. 武庫川ルネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所.

2008.8-1. 丸山湿原エコミュージアム推進協議会, 委員, 阪神北泉民局 (丸山湿原エコミュージアム推進協議会).

相談・指導助言

来訪者1件, 1名. 電話・FAX相談0件, メール相談16件.

2008.10, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2008.11, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2008.12, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, (株)ネイチャースケープ.

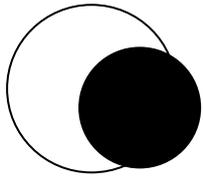
2008.12, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2009.1, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, (株)ネイチャースケープ.

2009.2, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2009.2, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, (株)ネイチャースケープ.

2009.3, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.



個人別成果報告に関する資料

No. 4

● 自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

中瀬 勲, Isao NAKASE

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業推進部

副館長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授

昭和23年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会、日本都市計画学会、環境情報科学センター等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

事業推進部長

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究代表者。

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究代表者。

■論文・著書

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の要因に関する研究, ランドスケープ研究, Vol. 71(5), 811-816.

Isao NAKAE, Takashi KYAKUNO(2008)Regional Planning with a Focus on Biodiversity: Challenge of a Local Natural History Museum, Conserving nature-A Japanese perspective-, Biodiversity Network Japan, 42-47.

中瀬勲・橋本佳延(2008)「生物多様性ひょうご戦略構想」, 生物多様性を考える・生物多様性条約COP10に向けて, 生物多様性ジャパン, 22-28.

中瀬勲・嶽山洋志・李樹華(2008)「日本阪神淡路大地震後緑地重建の思路と計画設計」, 中国園林, Vol. 24/153 200809, 22-29.

嶽山洋志・中瀬勲(2008)「プレーパークにおける持続的な活動形態に関する研究～有馬富士公園あそびの王国での一考察～」, 環境情報科学論文集, 22, 411-416.

中瀬勲(2009)「種の保存とランドスケープ」, ランドスケープ研究 72(4), 399-402.

■その他著作

中瀬勲(2008)「公園マネジメントと指定管理者との間に横た

わる地域性の課題」, 平成20年度日本造園学会全国大会分科会講演集, 77-78.

中瀬勲(2008)「拠点施設の整備と地域振興」, 巻頭言, 国立公園666, 2-3.

中瀬勲(2008)「鼎談: 環境重視社会における造園界の責任と役割」, 淡路環境緑化新聞平成20年8月1日. 大阪自然史講演会記録集

中瀬勲(2008)「60周年記念公演の開催おめでとうございます」, 絆.

中瀬勲(2008)「庭の楽しみ」, 人と自然の博物館メールマガジン.

中瀬勲(2008)「マネジメントの時代」, 年報2007Vol. 5, (財)兵庫丹波の森協会.

中瀬勲(2008)「丹波の森構想20年を思う!」, 兵庫丹波の地域情報紙; 丹波の森No. 37(2008.9), (財)兵庫丹波の森協会.

中瀬勲(2008)「丹波の森20年の節目を迎えて」, 丹波OB大学ぬくもり.

中瀬勲(2008)「生物多様性を支える人々」, ハーモニー原稿, ひとく新聞200811.

中瀬勲(2009)「丹波の知恵を21世紀の地域づくりに展開」, 丹波OB大学大学院「2008年のまとめ」.

中瀬勲(2009)「神戸・六甲山から学ぶ公園づくりの知恵—再度公園等を事例にして, 名称再度山公園及び再度山永久植生保存地・外国人墓地保存管理計画報告書」, 神戸市.

◎木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲(2008)多自然居住地域での限界集落における集落移転に関する研究. 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表要旨集, 日本造園学会関西支部, 39-40.

■研究発表

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の要因に関する研究, 平成20年度日本造園学会全国大会, 北海道大学, 北海道.

◎中瀬勲(2008)「公園マネジメントと指定管理者との間に横たわる地域性の課題」, 平成20年度日本造園学会全国大会分科会, 北海道大学, 北海道.

■学会役員など

1995.6-(社)日本造園学会, 評議員.

1995.6-(社)日本造園学会, 校閲委員.

1996.4-2003.4(社)日本造園学会, 関西支部幹事.

2000.1-(社)日本造園学会, ランドスケープマネージメント研究委員会, 企画責任者.

2000.1-(社)日本造園学会, 景観計画・デザイン研究委員会, 委員.

2003.5-2005.5(社)日本造園学会, 常務理事, 副会長.

2004.5-2006.4(社)日本造園学会, 関西支部監事.

2005.5-2007.4 (社) 日本造園学会, 理事, 学会長。
 2007.11-2009.11 (社) 日本造園学会, 19・20年度代議員。
 1996- (社) 日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員。
 2001.10-2007.5 人間・植物関係学会, 理事, 副会長。
 1995.6- (社) 環境情報科学センター, 評議員。
 1995.7- (社) 環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員。
 1995.9- 兵庫県政学会, 評議員。
 2005.11-2007.10 (社) 日本農学会, 評議員。
 2000- 任意団体「花みどり市民ネットワーク」, 代表。
 2001- NPO 法人「六甲山と市民のネットワーク」, 顧問。
 2001- NPO 法人「里と森のゼロエミッション倶楽部」, 顧問。
 2003- NPO 法人「尼崎男女共同参画ネットワーク」, 理事。
 2003- NPO 法人「農都共生ネットこうべ」, 顧問。
 2003- NPO 法人「西日本自然史系博物館ネットワーク」, 副理事長。
 2003- 任意団体「六甲楽学会」, 代表。
 2003- 任意団体「高槻市民環境会議」, 相談役。
 2003- 任意団体「国領区まちづくり活性化委員会」, アドバイザー。
 2005- NPO 法人「地域再生研究センター」, 理事。
 2008- 任意団体「兵庫オープンガーデンネットワーク」, 顧問。
 2008- 任意団体「朝来自然塾」, 相談役。
 2008- 任意団体「シューベルティアーゼたんば」実行委員会, アドバイザー。

■助成を受けた研究

対話型科学技術社会に求められる教師教育プログラムの開発と評価, 文部科学省科学研究費基盤研究(A), 研究分担者(金額 3934 万円)。
 国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性, 財団法人公園緑地管理財団公募研究, 研究分担者 (60 万円/60 万円)。
 科学系博物館, 協力者。
 コベルコ環境創造基金, 代表者。

■海外調査

2008.6.18-24 成都市, 渡こうきょう市, 深川市
 2008.10.25-30 北京市

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

中瀬勲, 2008.8-2008.10, 「造園・景観学講座」, 兵庫県立大学神戸キャンパス (全10回, 200名)
 藤本真里・中瀬勲・赤澤宏樹・嶽山洋志, 2008.9, 「ひととはくパークマネジメントゼミ」, 博物館・有馬富士公園・尼崎21世紀の森中央緑地・国営明石海峡公園神戸地区。(全6回, 120名)

館外講演

中瀬勲, 2008.4, 「市民活動と環境保全」, 講師, 三木自然愛好会, 三木市 (50人)。
 中瀬勲, 2008.4.30 「地域(環境)学の進め」, 講師, 宝塚市社会福祉協議会, 30人, 宝塚市。
 中瀬勲, 2008.5.4 「恐竜を活かしたまちづくりシンポジウム」, コーディネーター, 600人, 丹波市。
 中瀬勲, 2008.5.10 「地球の環境問題を淡路で考える」, 講師, 2008 G8 環境大臣会合プレフォーラム in 淡路, 300人, 洲本市。
 中瀬勲, 2008.5.17 「里山・里池をいかした地域づくり」, 講師, ため池インストラクター養成講座, 加古川市, 40人。
 中瀬勲, 2008.5.18 「博物館連携のありかたについて」, 報告者, 国際博物館の日記念シンポジウム, 都市の魅力発信と博物館連携, 100人, 大阪市。
 中瀬勲, 2008.5.21 「ひょうごの環境学習・教育実践発表会」, 講評, 兵庫県・兵庫県教育委員会, 300人, 神戸市。
 中瀬勲, 2008.5.26 「公園マネジメント分科会」, パネラー, (社) 日本造園学会大会, 30人, 札幌市。
 中瀬勲, 2008.5.31 「市民生活と環境」, 講師, 宝塚市民環境大学「環境学習リーダー入門講座」, 30人, 宝塚市。
 中瀬勲, 2008.6.7 「プレイ・フォー・オールの世界」, 講師, 明舞幼稚園両親参観日講演会, 明石市, 300人。
 中瀬勲, 2008.6.7 「災害時における植物の役割-私達は植物といかにかわるか」, 講師, 人間植物関係学会 2008 年大会公開講演会, 大津市, 250人。
 中瀬勲, 2008.6.8 「兵庫県を中心とした行政との関わり」, 報告者, 鳴海邦碩先生ご退職記念シンポジウム, 150人, 大阪市。
 中瀬勲, 2008.6.20 「日本阪神・淡路大震災後都市緑地の再建の考え方および計画設計の事例」, 講師, 中国災後都市防災/緑地再建計画設計国際検討会, 国立緑, 70人, 成都市(中国)。
 中瀬勲, 2008.6.22 「日本阪神・淡路大震災後都市緑地の再建の考え方および計画設計の事例」, 講師, 全国震後都市防災/計画設計高級検討会, 深川市城市管理局, 深川風景園林協会, 130人, 深川市(中国)。
 中瀬勲, 2008.6.22 「日本阪神・淡路大震災後都市緑地の再建の考え方および計画設計の事例」, 講師, 地震災後都市/緑地再建計画設計及び生態修復学術報告会, 中国農業大学, 北京市園林局, 150人, 北京市(中国)。
 中瀬勲, 2008.6.25 「市民生活と環境」, 講師, 平成20年度「いばらき環境市民大学」, 30人, 茨木市。
 中瀬勲, 2008.6.28 「生物多様性兵庫戦略構想」, 講師, 地球温暖化と生物多様性を考える, 生物多様性ジャパン, 兵庫県立人と自然の博物館, 120人, 神戸市。
 中瀬勲, 2008.7.3 「花と緑の環境づくりと私達の役割」, 園芸学科講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 50人, 宝塚市。
 中瀬勲, 2008.7.12 「地域住民が主役となって花と緑のまちづくりを進めていく必要性について」, 講師, 平成20年度第18期生緑化リーダー講習会記念講演, 講師, (財) 大阪スポーツ・緑振興協会, 150人, 大阪市。

中瀬勲, 2008. 8. 25 「生物多様性兵庫戦略について」, 講師, 平成 20 年度神戸端会第二例会, 人と自然の博物館 (特注セミナー), 20 人, 三田.

中瀬勲, 2008. 9. 6 「花・緑の環境づくりとコミュニティの役割」講師, 平成 20 年度川西市コミュニティ協議会連合会活動研修会, 170 人, 川西市.

中瀬勲, 2008. 9. 10 「中国四川省現地報告; 緑地の保全復旧や公園緑地計画」, 講師, 神戸市防災技術者の会例会, 20 人, 神戸市.

中瀬勲, 2008. 9. 11 「幼児期に大切な自然体験」, 講師, 神戸市私立保育園連盟研修会, 100 人, 神戸市.

中瀬勲, 2008. 9. 15 「環境の世紀・三田のまちづくりを考える」, 講師, 消費生活プラザ三周年イベント, 50 人, 三田市.

中瀬勲, 2008. 9. 23 「庭の古今東西」, 講師, ひとくはくオープンセミナー, 10 人, ヒトと自然の博物館, 三田市.

中瀬勲, 2008. 9. 28 「公園の存在意義と指定管理者制度」, 講師, 人と自然の博物館パークマネジメントゼミ, 12 人, 三田市.

中瀬勲, 2008. 10. 4 「パネルトーク自然を活かした地域づくり」, ナビゲーター, 国際フォーラム in 淡路夢舞台, (財) 淡路花博記念事業海, 人と自然の博物館, 500 人, 淡路市.

中瀬勲, 2008. 10. 11 「三田市姉妹都市環境セミナー」, コーディネーター, 60 人, 三田市.

中瀬勲, 2008. 10. 18 「関西発の新たな都市計画と専門家の使命 part2」, パネラー, NPO 日本都市計画家協会関西支部, 40 人, 大阪市.

中瀬勲, 2008. 10. 26 「日本災後重建経験紹介」, 主旨報告講師, 北京大学第六屆景觀設計学教育大会および 2008 中国景觀設計師大会, 400 人, 北京市 (中国).

中瀬勲, 2008. 10. 28 「日本阪神淡路大地震後城緑地重建の思路と計画設計」, 講師, 第 139 期清華大学研究生学術集会, 災後重建と公共安全, 300 人, 北京市 (中国).

中瀬勲, 2008. 10. 28 「日本阪神淡路大地震後城緑地重建の思路と計画設計」, 講師, 城市園林緑化工作座談会, 中国建設省住宅まちづくり局, 600 人, 北京市 (中国).

中瀬勲, 2008. 11. 8 「20 年後の丹波を考える」, コーディネーター, (財) 兵庫丹波の森協会設立 20 周年記念事業シンポジウム, 300 人, 丹波市.

中瀬勲, 2008. 11. 13 「造園 1, 造園 2」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 60 人 (30 人*2), 神戸市.

中瀬勲, 2008. 11. 15 「過去の開発, これからの開発」, 講師, 自然保護レクチャー「開発から自然を守るには」, 関西自然保護機構設立 30 周年記念イベント, 60 人, 大阪市.

中瀬勲, 2008. 11. 22 「クリチーバのまちづくり」, 講師, 県立博物館連携イベント (兵庫県立美術館関連イベント), 80 人, 神戸市.

中瀬勲, 2008. 12. 13 「造園 3, 造園 4」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 60 人 (30 人*2), 神戸市.

中瀬勲, 2008. 12. 14 「生物多様性兵庫戦略私論」, 講師, 西宮自然保護協会総会, 30 人, 西宮市.

中瀬勲, 2009. 1. 16 「県のビジョン」, 講師, 平成 20 年度職員

研修, 兵庫県自治研修所, 50 人, 神戸市.

中瀬勲, 2009. 1. 25 「兵庫県における環境学習・教育と森林」, 講師, ひょうご森のインストラクター会発足 10 周年記念フォーラム基調講演, ひょうご森のインストラクター会, (社) 兵庫県緑化推進協議会, 200 人, 三木市.

中瀬勲, 2009. 1. 25 「環境学習・教育においてグリーンサポーターに期待されること」, コーディネーター, ひょうご森のインストラクター会発足 10 周年記念パネルディスカッション, ひょうご森のインストラクター会, (社) 兵庫県緑化推進協議会, 200 人, 三木市.

中瀬勲, 2009. 2. 1 「M-1 グランプリ」, 審査 (講評) 委員長, NPO たんばぐみ, 200 人, 篠山市.

中瀬勲, 2009. 2. 6 「恐竜を活かしたまちづくり」, 講師, (社) 土木学会関西支部・兵庫県建設技術協会, 200 人, 神戸市.

中瀬勲, 2009. 2. 14 「持続可能な地域づくりへの展望」, 講師, 猪名川町公民館講座 (人博連携事業), 20 人, 猪名川町.

中瀬勲, 2009. 2. 16 「有馬富士公園のマネジメント」, 講師, 木津川右岸運動公園勉強会, 60 人, 城陽市.

中瀬勲, 2009. 3. 1 「生物多様性兵庫戦略について」, 講師, 加西炭フォーラム, リバークリーンエコ炭銀行, 加西市, 60 人.

中瀬勲, 2009. 3. 2 「多自然居住地域における安全・安心の実現方策」, 講師, (財) ひょうご震災記念研究機構研究調査本部安全安心なまちづくり政策研究群研究成果報告会, 40 人, 神戸市.

中瀬勲, 2009. 3. 7 「生物多様性と私たちとの関わり」, 講師, 第三回自然学習講座, とよなか市民環境会議, 30 人, 豊中市.

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (主任)

非常勤講師

2008. 4-2008. 7 「兵庫・地方及び広域計画論」, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

2008. 10-2009. 3 「緑地計画」, 兵庫県立大学環境人間学部.

2008. 10-2009. 3 「ランドスケープデザイン論」, 国立大学法人名古屋工業大学.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示 (準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6 月 13, 上野台, 狭間, 藍, 3 名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3 名.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくはくフェスティバル, 実行副委員長.

■展示

2006. 4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2006. 5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯, 実行委員長, 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会.
2006. 5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』, 塾長, (財) 兵庫丹波の森協会.
2006. 5- 兵庫県立丹波並木道中央公園森の円卓会議, 会長, 兵庫県丹波県民局.
2006. 6- 兵庫県高大等連携推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
2006. 6- コウノトリ自然博物館 (仮称) 構想検討委員会, 委員長, 兵庫県県民政策部.
2006. 7- 環境教育副読本編集委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
2006. 7- 近畿農政局農村景観・自然環境保全再生パイロット事業審査委員会, 委員長, 農林水産省近畿農政局.
2006. 7- 兵庫県立国見の丘公園運営協議会, 会長, (財) 宍粟森林王国協会.
2006. 8- 兵庫楽農生活センター運営協議会, 顧問, (財) 兵庫みどり公社.
2006. 9- (財) ひょうご震災記念21世紀研究機構, 安全・安心研究所, 上級研究員.
2006. 9- 多自然居住地域における安全・安心に関する研究会, 会長, (財) ひょうご震災記念21世紀研究機構, 安全・安心研究所.
2006. 10- 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
2006. 10- 丹波地域における集落活性化戦略調査委員会, 委員長, (財) 兵庫丹波の森協会.
2006. 10- ひょうごっこグリーンガーデン研究会, 会長, 兵庫県健康生活部.
2006. 11- CSR ネットワーク委員会, 委員長, 兵庫県産業労働部.
2006. 11- 三田市都市景観研究会, 会長, 三田市.
2007. 1- 丹波年輪の里運営協議会, 委員, 兵庫県立年丹波年輪の里.
2007. 1- 環境体験支援委員会, 副委員長, 兵庫県教育委員会.
2007. 1- ”神戸三田” 国際公園都市・カルチャータウン地区センター事業提案協議審査委員会, 委員長, 兵庫県企業庁.
2007. 2- 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターひと未来館展示検討委員会, 副委員長, (財) ひょうご震災記念21世紀研究機構.
2007. 3- 近畿畿圏広域地方計画学識者会議, 委員, 国土交通省.
2007. 4- 神戸市公園緑地審議会, 委員, 神戸市.
2007. 4- 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部会長, 神戸市.
2007. 4- 兵庫県立淡路景観園芸学校有識者検討委員会, 委員長, 兵庫県立淡路景観園芸学校.
2007. 4- 機関誌「公園緑地」編集委員会, 委員, (財) 日本公園緑地協会.
2007. 4- 県民意識調査懇談会, 委員, 兵庫県県民政策部.
2007. 4- 新たな「人と自然の博物館基本計画」策定調査業務委託業者選定審査審査委員会, 委員, 兵庫県立人と自然の博物館.
2007. 6- 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.
2007. 6- 西播磨風景づくり支援センター, 登録, 兵庫県西播磨県民局.
2007. 6- 平成19年度助成事業審査委員会, 委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ.
2007. 7- 平成19年度環境体験丹波地域支援委員会, 委員長, 兵庫県教育委員会丹波教育事務所.
2007. 7- 丹波市今田町アドバイザー派遣.
2007. 7- 丹波恐竜化石にかかる事業連携推進会議, 会長, 県立人と自然の博物館, 丹波県民局, 丹波市.
2007. 8- 兵庫県地域景観計画策定委員会, 委員, 兵庫県県土整備部.
2007. 8- 平成19年度環境体験丹波地域支援委員会, 委員長, 兵庫県教育委員会丹波教育事務所.
2007. 9- 名勝再度公園及び再度山永久植生保存地・外国人墓地保存管理計画策定委員会, 委員長, 神戸市建設局・教育委員会.
2007. 9- 西播磨花の郷選定委員会, 委員長, 兵庫県西播磨県民局.
2007. 9- 企業の森づくり調査検討委員会, 委員長, 兵庫県丹波県民局.
2007. 10- 時代潮流研究会-持続可能な地域ユニット会議-, 委員, 兵庫県県民政策部.
2007. 12- 兵庫県立大学景観園芸専門職大学院 (仮称) 設置準備委員会, 委員長, 兵庫県立大学.)
2007. 12- 風景街道委員会, 委員長, 兵庫県丹波県民局・(財) 兵庫丹波の森協会.
2008. 1- 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会, 委員, 国土交通省豊岡河川国道事務所.
2008. 1- 恐竜を活かしたまちづくり計画調整会議, 委員, 丹波市.
2008. 1- 野生動物保護管理運営協議会, 副会長, 兵庫県農林水産部.
2008. 1- 野生動物保護管理運営協議会, WLM推進部会, 部会長代行, 兵庫県農林水産部.
2008. 2- 加古川流域委員会設立準備会, 委員長, 国土交通省姫路河川国道事務所.
2008. 4- やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの森公園協会.
2008. 4- 県立淡路景観園芸学校教育研究部主任景観園芸専門員, 兵庫県.
2008. 5- 丹波の森構想評価・検証委員会, 委員長, 兵庫県丹波県民局・(財) 兵庫丹波の森協会.
2008. 6- 生物多様性ひょうご戦略 (仮称) 検討小委員会, 委員, 兵庫県環境局.

2008. 6- 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム, 座長, 兵庫県丹波県民局.
2008. 6- 質の高い大学教育等推進事業委員会, 審査委員, 独立行政法人日本学術振興会.
2008. 6- 大阪駅北地区2期開発ビジョン企画委員会, 委員, (財) 大阪市都市工学情報センター.
2008. 6- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2008. 6- 農産漁村(ふるさと)地域力発掘支援モデル事業アドバイザー, 全国土地改良事業団体連合会.
2008. 7- 県立但馬ドーム指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 兵庫県産業労働部.
2008. 10- 近畿圏広域地方計画学識者会議, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
2008. 10- 三木総合防災公園屋内テニスコートネーミングライツ選定委員会, 委員長, 兵庫県県土整備部.
2008. 10- 豊岡市の公の施設指定管理者選定審査委員会, 委員長, 豊岡市.
2008. 11- 神戸市新神戸ロープウェー再整備等事業者審査委員会, 委員長, 神戸市.
2008. 12- 朝来市生野鉦山の文化的景観調査委員会, 委員, 朝来市.
2008. 12- 丹波竜モニュメント制作コンペ選定委員会, 委員長, 丹波市.
2008. 12- 淡路を舞台とする花の祭典(淡路花博10周年記念事業)(仮称)企画委員会, 委員長, 兵庫県県土整備部.
2008. 12- 「尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討委員会」, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2009. 1- 「丹波の森大学」, 学長, (財) 兵庫丹波の森協会.
2009. 2- 「国営明石海峡公園神戸地区基本計画改定委員会」, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡公園事務所.
2009. 2- 県立三木防災公園運営協議会, 会長, 兵庫県北播磨県民局三木土木事務所.

相談・指導助言

来訪者 60 名, 100 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 60 件.

藤本 真里, Mari FUJIMOTO

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 助教.
昭和 36 年兵庫県生. 大阪市立大学生生活科学部卒. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 社会経済システム学会, 環境情報センター等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

■事業推進部

生涯学習推進室(連携・担い手担当)

■タスクフォース

フェスティバルタスクフォースリーダー

恐竜・化石タスクフォースサブリーダー 地域づくり担当
生物多様性タスクフォース 住民参加担当

■研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■その他著作

藤本真里(2008)ミツカンよかわビオトープ倶楽部と関係機関の連携. 株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書.
藤本真里(2008)清流猪名川を取り戻そう町民運動の新展開. 猪名川町協定報告書.

藤本真里(2008)地域・企業・博物館が育むビオトープ—ミツカンよかわビオトープ倶楽部の実践. 私の住んでいる地域の魅力調査, (財)ひょうご経済研究所.

藤本真里(2008)パークマネジメントの人材養成に関する研究 その2. 兵庫県阪神北県民局受託研究報告書.

藤本真里(2008)公園運営を担う新たな公—兵庫県立有馬富士公園における住民参画型公園運営. 日本都市計画学会関西支部だより, 日本都市計画学会関西支部.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 12-2009. 3 丹波市山南町上久下における地域資源写真収集. 丹波市.

2008. 6-2009. 3 佐用町三河地域における地域資源写真収集. 佐用町.

2009. 3 但馬地域(山陰海岸)における地域資源写真収集. 豊岡市他.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬・勲・嶽山洋志, 2008. 10, ひとつはくパークマネジメントゼミ第1回「公園運営の現場から」, 博物館. (17名)

藤本真里, 2008. 10, ひとつはくパークマネジメントゼミ第2回「公園運営の主役は住民」, 博物館. (17名)

中瀬・勲・藤本真里・赤澤宏樹・嶽山洋志, 2008. 11, ひととはくパークマネジメントゼミ第6回「総括討論」, 博物館. (17名)

藤本真里, 2008. 11-12, 「有馬富士公園のしくみ」他, 講師およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'08, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (15名)

藤本真里, 2008. 8-12, 「クイズ うんちく博物館」, 博物館. (全2回 43名)

藤本真里, 2008. 11, 「簡単料理教室 味で感じる三田」, 博物館. (21名)

藤本真里, 2009. 3, ありまふじフォーラム, 企画およびコーディネーター, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (名)

藤本真里, 2008. 7, 「CCクロ フォーラム」, 講師, CCクロ, 博物館. (10人)

藤本真里, 2009. 1, 「市民グループと指定管理者」, コーディネーター, ありまふじフォーラム事前勉強会, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (25人)

館外講演

藤本真里, 2008. 4, 「みんなで育てる公共施設 人と自然の博物館・有馬富士公園から」, 講師, 第12回実践まちづくり道場, 有限会社豊中駅前まちづくり会社, 大阪府豊中市. (15人).

藤本真里, 2008. 5, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, 平成21年度 いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (30人).

藤本真里, 2008. 5, 「みんなで育てる公共施設」, 講師, 関西大学, 吹田市. (6人)

藤本真里, 2008. 7, 「NPO法人 人と自然の会とひととはく」, 講師, NPO法人 人と自然の会 新人研修, NPO法人 人と自然の会, 博物館. (11人)

藤本真里, 2008. 7, 「住民参画型運営の公園と指定管理者制度」, 講師, NPO日本都市計画家協会 関西支部, 大阪府大阪市. (8人)

藤本真里, 2008. 7, 「ひととはくのシンクタンク機能」, 講師, 阪神北ビジョン委員会, 兵庫県阪神北県民局, 宝塚市. (40人)

藤本真里, 2008. 9, 「清流猪名川をみんなの力で」, 講師, リバグレス猪名川, 猪名川町教育委員会, 猪名川町. (30人)

藤本真里, 2008. 11, 「住民参画型の公園運営」, 講師, 大阪市西淀川区未来わがまち会議, 大阪市西淀川区, 三田市. (30人)

藤本真里, 2009. 1, 「計画づくりのために 一協働のまちづくり (佐用町) ー」, 講師, 佐用町三河地域づくり協議会運営委員研修会, 佐用町南光支所, 佐用町. (40人)

藤本真里, 2009. 3, 「みんなで育てる公共施設 人と自然の博物館・有馬富士公園から」, 講師, 岐阜県立森林文化アカデミー, 三田市. (40人)

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (分担)

非常勤講師

2008. 7, 「人と自然の共生」, 兵庫県立大学.

2008. 6, 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示 (準備)

佐用町三河地域の古写真収集

セミナー

藤本真里, 2009. 1, 「計画づくりのために 一協働のまちづくり (佐用町) ー」, 講師, 佐用町三河地域づくり協議会運営委員研修会, 佐用町南光支所, 佐用町. (40人)

■ミニ・キャラバン

ふれあいフェスティバル (淡路)

■連携事業

連携グループ等

NPO法人人と自然の会 (副担当)

共催事業

2008. 11-12, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局 (企画・運営, 講師)

2008. 3, ありまふじフォーラム, 兵庫県阪神北県民局 (企画・運営, コーディネーター)

■学校教育支援

2008. 9 高校連携セミナー「ひととはくとまちづくり」, 兵庫県立有馬高等学校.

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6月13, 上野台, 狭間, 藍, 3名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3名.

■フェスティバル等

2008. 11. 3, ひととはくフェスティバル 総括.

■展示

ミニ企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」 (分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」. 猪名川町. (30万円)

「ミツカンよかわビオトープ倶楽部と関係機関の連携」. 研究代表者, 株式会社ミツカングループ本社. (75万円)

「パークマネジメントの人材養成に関する研究 その2」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)

■行政等支援

委員会等 (計23件)

2008. 8 協会施設の運営及び利用促進を図るための指導・助言, (財) 兵庫県勤労福祉協会.

2006. 7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

1998. 4- 豊中市まちづくり専門家会議, 委員, 豊中

- 市。
2001. 8— 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 阪神北市民局
2000. 11— 千種川圏域清流づくり委員会, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局。
2005. 4— 篠山チルドレンミュージアム運営委員会, 委員長, 篠山市。
2005. 6—2009. 5 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市。
2003. 4— 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市。
2007. 6— 兵庫県生涯学習審議会, 委員, 兵庫県。
2007. 7—2008. 6 生涯学習プラザ企画運営委員会, 委員, 兵庫県神戸県民局。
2005. 9— 財団法人しそ森林王国協会, 理事, 財団法人しそ森林王国協会。
2007. 9— 公園等マネジメント委員会, 委員, (財)兵庫県園芸・公園協会。
2008. 2— まちづくり憲章策定委員会, 委員, 三田市。
2008. 12— 兵庫県内水面漁場管理委員会, 委員, 兵庫県。
2008. 8— (仮称)市民活動・ボランティアセンター設置準備会議, 委員, 姫路市。
2007. 7— 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局。
2008. 6— 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市。
2008. 8— 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会, 委員長, 尼崎市。
2008. 8— 道づくり地域づくりコンペ審査委員会, 委員, 兵庫県丹波県民局。
2008. 6— 姫路市市民局市民センター等指定管理者選定委員会, 委員, 姫路市。
2009. 2 第5期阪神北地域ビジョン委員審査会委員, 兵庫県。
2009. 1— 山陰海岸ジオパーク専門部会兵庫分会, 委員, 兵庫県但馬県民局。
2009. 1— 高砂市歴史文化基本構想等策定委員会, 委員, 高砂市教育委員会。

相談・指導助言

電話・FAX 相談 150 件, メール相談 200 件。

赤澤 宏樹, Hiroki AKAZAWA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師。

昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, 人間・植物関係学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 生涯学習推進室

広報・出版支援担当 ひとはく新聞編集担当

■タスクフォース

フェアブル展推進タスクフォース

国際シンポジウム担当サブリーダー, 事務局運営, 報告書作成

生物多様性タスクフォース 景観部分担当

環境学習推進タスクフォース 環境計画担当

情報システム更新タスクフォース 環境計画担当

■研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当, 自然・環境情報データ活用

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究

2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者。

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者。

■論文・著書

◎Mayumi Hayashi・Hiroki Akazawa (2008) Changes in the landscape of the city of Ashiya, Hyogo Prefecture as seen from the rivers flowing from the Rokko Mountains—Harmony between people and the natural landscape—, Journal of Landscape Architecture in Asia, Vol. 4

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の要因に関する研究, ランドスケープ研究, Vol. 71(5), 811-816.

赤澤宏樹(2008)まちづくりとコミュニティ~ランドスケープ研究の動向~, ランドスケープ研究, 72(1), 57-61.

■その他著作

赤澤宏樹(2009)ARの◎◎◎, あいな里山公園情報, 国営明石海峡公園事務所, 神戸。

◎木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲(2008)多自然居住地域での限界集落における集落移転に関する研究. 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表要旨集, 日本造園学会関西支部, 39-40.

赤澤宏樹(2008)牛乳パックでカメラを作ろう, サンピアだより, 兵庫県学校厚生会。

■研究発表

◎木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲(2008)多自然居住地域での限界集落における集落移転に関する研究. 日本造園学会関西支部大会, ドーンセンター, 大阪市。

赤澤宏樹(2008)公有地のNPOへの信託・暫定利用による緑地空間の創造—NY/シカゴの事例から—, 日本造園学会関西支部大会, ドーンセンター, 大阪市。

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の

要因に関する研究, 平成 20 年度日本造園学会全国大会, 北海道大学, 北海道.

■学会役員など

日本造園学会, 代議員.

日本造園学会, 平成 18・19 年度造園作品選集刊行委員.

日本造園学会, 論文校閲委員.

日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会 委員.

日本造園学会関西支部, 幹事.

日本造園学会関西支部大会実行委員会, 委員.

日本造園学会関西支部大会実行委員会作業部会, 委員.

日本造園学会関西支部・みどりの 5 団体合同設計競技事務局, 委員.

情報処理学会, 校閲委員.

環境情報科学センター, 校閲委員.

日本都市計画学会, 校閲委員.

■助成を受けた研究

米国・公園区を事例とした官民協働による地域マネジメント手法に関する研究. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者 (金額 110 万円/270 万円).

国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性, 財団法人公園緑地管理財団公募研究, 研究代表者 (60 万円/60 万円).

■海外調査

2008.7 アメリカ・シカゴ市

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 古写真の収集. 佐用町, 三田市など.

■整理同定担当資料

古写真 (佐用町, 三田市).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎赤澤宏樹, 2008.7, 「カメラをつくって撮影・現像まで (初級編)」, 博物館. (10 名)

◎赤澤宏樹, 2008.8, 「針穴 (ピンホール) カメラをつくって撮影・現像まで (中級編)」, 博物館. (7 名)

◎赤澤宏樹, 2009.3, 「里山でシイタケづくり」, 有馬富士公園. (31 名)

藤本真里・中瀬勲・赤澤宏樹・嶽山洋志, 2008.9, 「ひとくはくパークマネジメントゼミ」, 博物館・有馬富士公園・尼崎 21 世紀の森中央緑地・国営明石海峡公園神戸地区. (全 6 回, 120 名)

館外講演

赤澤宏樹, 2008.9, 「21 世紀の森づくりと世界の現状」, 講師, 阪神南地域県民局, アミティホール (25 名)

赤澤宏樹, 2008.8, 「牛乳パックでカメラを作ろう」, 兵庫県学校厚生会「親子で楽しむ夏休み」, 講師, サンピア明石 (60

名).

赤澤宏樹, 2008.11, 「アメリカの公園とコミュニティガーデン」, 兵庫県阪神シニアカレッジ国際理解学科 (50 名)

赤澤宏樹, 2008.11, 「パークマネジメント事例学習—国営明石海峡公園神戸地区のアクションリサーチから—」, 講師, 兵庫県三田土木事務所, 有馬富士公園 (25 名)

赤澤宏樹, 「アメリカの風景とライフスタイル」, 大阪大学コミュニケーションデザインセンター, アートエリア B 1 (10 名)

赤澤宏樹, 2003.2, 「国営明石海峡公園神戸地区アクションリサーチの成果と今後の活用」, 国営明石海峡公園管理事務所, 藍那公民館 (50 名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担)

非常勤講師

2005- 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学, 分担.

2005- 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.

2005- 「農業と社会」, 奈良県立大学.

2006- 「博物館事前実習」, 神戸大学, 分担.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示 (準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.10-6 月 13, 上野台, 狭間, 藍, 3 名.

講師派遣

2008.4-2009.3. 「総合的な学習の時間 (プロジェクト研究)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生 (5 名).

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8.9-8.10, 8.18-8.23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3 名.

■展示

ミニ企画等

2008.12.1-2009.1.12, トピックス展示「タンスに眠る古写真～暮らしの風景資料～」(責任者).

2009.2.15-2009.4.5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 18 件)

2005.10- 兵庫県立西武庫公園管理運営協議会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2003.10- 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 兵庫県阪神南県民局.

2003.8- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.

2004.4- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2004. 4- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部
会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
2004. 12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.
2005. 1- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネジメントプラ
ン検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
2005. 4- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネジメントプラ
ン検討委員会アクションリサーチ部会, 部長, 国土交通
省近畿地方整備局.
2005. 4- 国営明石海峡公園神戸地区アクションリサーチ, 担
当長, 国土交通省近畿地方整備局.
2006. 8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県
阪神南泉民局.
2005. 2- 尼崎の森中央緑地植栽勉強会, コーディネーター,
兵庫県阪神南泉民局.
2005. 4- 国営明石海峡公園フレンズ, 会長, 国営明石海峡公
園事務所.
2006. 8- 西宮市都市景観アドバイザーグループ, 委員, 西宮
市.
2006. 4- 芦屋市立総合公園運営計画協議会, 委員, ヘッズグ
ループ (指定管理者)
2006. 8- 芦屋市史編纂委員会専門部会, 委員, 芦屋市教育委
員会.
2007. 4- 阪神南地域ビジョン委員会, 委員, 阪神南泉民局.
2007. 4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業
審査会, 委員, 阪神南泉民局.
2009. 3 第 5 回阪神南地域ビジョン委員審査委員会, 委員,
阪神南泉民局.

相談・指導助言

来訪者 15 件, 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 60 件.

■学会開催等支援

2008. 10 日本造園学会関西支部大会開催. 300 名.

嶽山 洋志, Hiroshi TAKEYAMA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進
室

研究員

1976 年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修士
課程修了. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学セン
ター, こども環境学会 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 広報・出版支援担当

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース

■研究開発部門

研究環境整備・研究紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 子どもの環境学習および教材開発
2. 子どもの遊び場に関する研究
3. 多自然居住地域の担い手創出に関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落
に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参加型公園運営に関する実
践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

◎嶽山洋志・中瀬勲 (2008) プレーパークにおける持続的な組
織形態に関する研究—有馬富士公園あそびの王国における
一考察—. 環境情報科学論文集 22. P411-416.

◎中瀬勲・嶽山洋志・李樹華 (2008) 日本阪神淡路大地震后城
市緑地重建の思路と規設計画 (理論と実践例). 中国科技核心
期刊. Vol. 24/153. P22-29.

嶽山洋志・上甫木昭晴 (2009) 学校ビオトープの空間特性の
評価. 5-27. 「検証! 学校ビオトープ」(阪神・都市ビオト
ープフォーラム編). 大阪公立大学共同出版会.

■その他著作

嶽山洋志 (2008) 都市公園におけるルールづくり, 第 42 回公
園緑地講習会テキスト, P5-26.

嶽山洋志 (2008) 天王寺学びのもりの創造, 平成 20 年度近畿
国立大学附属学校園 P T A 合同研修会テキスト, P 8-11.

先山徹・高橋 晃・藤本真里・三枝春生・池田忠広・嶽山洋
志・佐藤裕司・古谷裕・松原尚志・半田久美子・客野尚志・
小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯
学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第 115 年学
術大会講演要旨集. Vol. 2008, P528.

嶽山洋志・中瀬勲 (2008) 都市公園へのパークスキャンの導
入に関する研究—アメリカサンフランシスコにおける取り
組みからの考察—. 公園管理研究. Vol. 2. P106-111.

嶽山洋志 (2009) 自然環境シミュレーター「ビオトープ」を
つくりよう! ~活用編~, PP16.

有田寛之・高橋みどり・先山徹・嶽山洋志 (2009) 恐竜発掘
地層ケーキをつくりよう!. 55-64. 「科学リテラシー涵養に
資する科学系博物館の教育事業の開発・体系化と理論構築
中間報告書」. 国立科学博物館.

嶽山洋志 (2009) 兵庫県における集落の現状—但馬地域—
(118-126), アンケートを通じた危険や不安の把握
(180-185), 多自然居住地域の安全安心の実現方策—集落
意識データ—(270-272). 「多自然居住地域における安全安
心の実現方策」. 安全安心研究会.

嶽山洋志 (2009) 評価・検証 “潤いと安らぎのある地域社会
の実現”. 26-32. 「丹波の森構想評価・検証報告書」. 丹波
の森構想評価・検証委員会.

■研究発表

嶽山洋志 (2008) 都市公園へのパークスキャンの導入に関す

る研究—アメリカサンフランシスコにおける取り組みからの考察—。第13回(財)公園緑地管理財団技術研究発表会。(財)公園緑地管理財団。

嶽山洋志(2008) プレーパークにおける持続的な組織形態に関する研究—有馬富士公園あそびの王国における—考察—。環境情報科学研究発表会。日本大学。

先山徹・藤本真里・古谷裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋 晃・嶽山洋志(2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み—地学教育・まちづくりへの適用—。日本地質学会2008年度近畿支部総会・合同例会。兵庫県。

■助成を受けた研究

自然環境シミュレーター『ビオトープ』をつくろう！(Ver-2.0)。子どもゆめ基金, 研究代表者(金額835万円/835万円)。

ビオトープ製作ゲームを用いたバーチャルな体験とリアルなビオトープでの体験学習との一体的学習プログラムの実践とその効果について。笹川科学研究助成, 研究代表者(金額33万円/33万円)。

博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究。文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者。

科学リテラシーの涵養に資する科学系博物館の教育事業の開発・体系化と理論構築。科学技術研究費補助金基盤研究(A), 研究協力者。

■海外調査

2008.6 中国・成都

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

嶽山洋志, 2008.8, 教職員セミナー「ビオトープをつくろう！」講師, 人と自然の博物館。(16名・全2回)

嶽山洋志, 2008.10, 「子どもと自然」講師, 人と自然の博物館。(10名)

嶽山洋志, 2008.11, 「公園の模型をつくろう！」講師, 人と自然の博物館。(20名)

館外講演

嶽山洋志, 2008.10, 「学びのよりの可能性」講師, 大阪教育大学教育学部付附属天王寺中高等学校, 中講堂。(100名)

嶽山洋志, 2008.10, 「学校ビオトープの空間特性の評価」講師, 大阪府立大学現代G Pシンポジウム, 大阪府立大学。(30名)

嶽山洋志, 2008.8~10, 「幼稚園教諭および保育士のための環境学習」講師, 有馬富士公園。(12名)

嶽山洋志, 2008.8~10, 「幼稚園教諭および保育士のための環境学習」講師, 明石公園。(30名)

嶽山洋志, 2008.11, 「恐竜発掘ケーキをつくろう！」講師, 人と自然の博物館。(7名)

嶽山洋志, 2008.11, 有馬富士公園公開セミナー「都市公園におけるプログラムデザインの手法」講師, 有馬富士公園。

(16名)

嶽山洋志, 2008.11, 第42回公園緑地講習会「都市公園におけるルールづくり」講師, 日本公園緑地協会。(100名)

嶽山洋志, 2008.12, インタープリター養成講座「プログラムづくりの基本」講師, 淡路島公園。(10名)

嶽山洋志, 2009.1, 「幼稚園教諭・保育士環境学習リーダー研修全体研修会」講師, 兵庫県立のじぎく会館。(30名)

嶽山洋志, 2009.2, 平成20年度近畿国立大学附属園PTA合同研修会基調講演「天王寺まなびのよりの創造」講師, 都ホテル。(200名)

嶽山洋志, 2009.3, 「丹波の森構想検証フォーラム」パネラー, 丹波の森公苑。(70名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学(分担)

■展示

ミニ企画等

2008.12.1-2009.1.12, トピックス展示「タンスに眠る古写真—暮らしの風景資料—」(分担者)。

2009.2.15-2009.4.5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)。

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示(準備)

佐用町三河地域の古写真収集

セミナー

2008.7 西播磨地域 佐用キャンプ(講師・企画運営)

■地域研究員養成事業

成果発表

2009.2 共生の広場「恐竜発掘ケーキをつくろう!~お菓子を通した学習プログラムの可能性を探る~」, 有田寛之, 高橋みどり, 佐藤大樹, 川本麻代, 小嶋綾子, 古杉理沙子, 鮫島裕子, 古満れんげ, 辰巳萌佑子, 三浦理紗, 松浦考一。(指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.10-6月13, 上野台, 狭間, 藍, 3名(責任者)。

学校団体対応

2008.7.10, 兵庫県立大学附属高等学校166名。

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8.9-8.10, 8.18-8.23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3名(責任者)。

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 1回, 20名。

■行政等支援

委員会等 (計8件)

2005.3-2009.3. 21世紀文明研究委員会, 研究協力者, 阪神・淡路大震災記念協会。

2007.8-。公園等マネジメント委員会, 委員, (財)兵庫県園

芸・公園協会。

2007.11-。大阪教育大学附属天王寺中・高校ビオトープ改修会議，委員，大阪教育大学附属天王寺中高支援連合会。

2008.4-。丹波の森構想評価・検証委員会総括部会，委員，丹波の森協会。

2008.4-。丹波の森20年検証まちづくり部会，部会長，丹波の森協会。

2009.1-。都市緑化フェアおかやまキッズ緑のまちづくりフォーラム実行委員会，委員，日本造園学会。

2009.2-。舞子公園旧木下家住宅及び旧武藤山治邸利活用検討ワーキング部会，メンバー，兵庫県。

2009.3-。集落活性化戦略調査ワーキング部会，委員，丹波の森協会。

相談・指導助言

来訪者20件

田原 直樹, Naoki TAHARA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授

昭和28年福岡県生。大阪大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士。日本造園学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門

企画調整室 室長

■研究開発部門

部長代理

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 歴史的緑の研究

2. 環境文化の考察

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」，研究分担者。

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」，研究分担者。

■論文・著書

◎西阪 玲子，田原 直樹，上甫木 昭春(2008) 都市公園における地域資源の存在状況と活用実態に関する研究。ランドスケープ研究，71(5)，41-44。

■研究発表

西阪 玲子，田原 直樹，上甫木 昭春(2008) 都市公園における地域資源の存在状況と活用実態に関する研究。日本造

園学会，北海道大学，札幌市。

田原直樹(2008) 大学博物館の現在。人間文化研究機構ミニシンポ，国立民族学博物館，吹田市。

田原直樹(2009) 兵庫県の博物館事情。日本博物館学会近畿支部研究会，桃山学院大学梅田サテライト，大阪市。

■学会役員など

日本造園学会，校閲委員。

環境情報科学センター学会，校閲委員。

日本都市計画学会，校閲委員。

日本都市計画学会関西支部，幹事・国際交流委員。

日本建築学会，校閲委員。

日本土木学会，校閲委員。

■海外調査

2008.9 中華人民共和国・香港・深圳

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.5-11 名所写真。伊丹市など。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田原直樹，2008.7-11，「博物館の建物を見るツアー」，博物館。(全2回，12名)

田原直樹，2008.4，「都市の歩き方・名所編 花の上町台地を歩く」，大阪市。(15名)

田原直樹，2008.4，「都市の歩き方・名所編 大阪市玉造・鶴橋界隈を歩く」，大阪市。(15名)

田原直樹，2008.4，「都市の歩き方・上級編 名所図会探検倶楽部」，博物館。(5名)

田原直樹，2008.10，「都市の歩き方・名所編 神戸市兵庫界隈を歩く」，神戸市。(15名)

田原直樹，2008.10，「都市の歩き方・街道編 大阪市八軒屋から熊野古道を歩く」，大阪市。(15名)

館外講演

田原直樹，2008.5，「摂津名所図会で解く西宮界隈の今・昔」，歴史探訪クラブ，講師，西宮市立夙川公民館(130名)

田原直樹，2008.8，「環境と共生する都市づくり・名所図会に見る二百年前の阪神地域」，現任神職研修会，講師，長田神社(30名)

田原直樹，2008.2，中播磨地域ビジョンフォーラム，コーディネータ，兵庫県中播磨県民局(100名)。

田原直樹，2008.11，「いなみ野学園40周年記念行事パネルディスカッション」，パネリスト，財団法人兵庫県高齢者生きがい創造協会，兵庫県いなみ野学園(200名)

田原直樹，2008.11，「まちづくりの事例」，兵庫県いなみ野学園大学院共通講座，講師，兵庫県いなみ野学園(90名)

田原直樹，2009.1，「環境と共生する都市をつくる」，まちな寺子屋，講師，兵庫県立大学・兵庫県少子対策本部，人と自然の博物館(20名)

田原直樹, 2008. 2, 中播磨地域ビジョンフォーラム, パネリスト, 兵庫県中播磨県民局 (100名).

田原直樹, 2009. 3, 「名所図会にみる江戸期から現在までの植生の変化」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習大学校 (80名)

田原直樹, 2009. 3, 「都市の緑と人とのかかわり」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習大学校 (80名)

田原直樹, 2009. 3, 「環境と共生するまちづくり」, 兵庫県いなみ野学園地域活動指導者養成講座, 講師, 西宮市立夙川公民館 (20名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (主任)

非常勤講師

2008. 4-2009. 3. 「都市設計論及び演習」, 兵庫県立大学.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示 (準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6月13, 上野台, 狭間, 藍, 3名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3名.

■展示

ミニ企画等

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計14件)

2008. 4-1. 揖保川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2008. 4-1. 兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県.

2008. 4-1. 中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民局.

2008. 4-1. SSH 運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2008. 4-1. 姫路市都市計画審議会, 委員・会長代理, 姫路市.

2008. 4-1. 姫路市景観・広告物審議会, 委員, 姫路市.

2008. 4-2009. 3. 姫路市総合計画審議会, 委員・分科会長, 姫路市.

2008. 4-1. 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市.

2008. 4-1. 三田市環境保全審議会, 会長, 三田市.

2008. 4-1. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市.

2008. 4-1. 西はりま天文台公園運営協議会, 委員, 佐用町.

2008. 4-1. 丹波OB大学運営委員会, 委員, (財)丹波の森協会.

2008. 4-1. いなみ野学園大学院, 指導教官, (財)兵庫県高齢者生きがい創造協会.

2008. 4-1. 兵庫県立大学景観園芸学校専門職大学院 (仮称) 設置準備委員会, 委員, 兵庫県立大学.

相談・指導助言

来訪者10件, 20名. 電話・FAX相談2件, メール相談3件.

山崎義人, Yoshito YAMAZAKI

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/企画調整室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師.

昭和47年神奈川県生. 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程・修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本都市計画学会, 農村計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 企画調整室

経営戦略担当, 事業推進担当

生涯学習推進室 広報支援担当

■研究開発部門

研究シンクタンク推進室 研究紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 太平洋沿岸におけるペンキ塗り住宅の実態把握に関する研究
2. ジャワ島中部地震における居住地再建に関する研究
3. 欧州のSpatial Planning と City Region の計画理論に関する研究
4. 多自然居住地域におけるデータベース利用に関する研究
5. 小屋に着目した生業景観の保全に関する研究
6. 元気なむらをつくる技術と政策

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

◎山崎義人 (2009) 地域を維持・継承する住まい方. 住民主体のまちづくり研究ネットワーク(編), 「住民主体の都市計画」, p224-p232, 学芸出版社.

山崎義人 (2009) まちづくりオーラル・ヒストリー ～個々人の口伝の人生史を積層させることから社会的文脈を出現させる試み～. 都市計画, No. 277, 35-40.

田中貴宏, 山崎義人, 山口秀文 (2009). 2006年ジャワ島中部地震後の農村集落における集落復興 GIS データベース作成とその解析 - プレンプタン集落を対象として-, 日本建築学会技術報告集第15巻第29号, 233-237,

神吉紀世子, 山崎義人, 山本新平 (2008), 西伊豆沿岸漁村に

みる太平洋沿岸ペンキ塗り住宅群の成立時期に関する考察、日本建築学会第3回住宅系研究論文集、p209-p214
依藤智子、田原直樹、客野尚志、山崎義人(2008)、インドネシア・ジャカルタにおける屋外空間の利用実態について、日本造園学会関西支部

Hidefumi Yamaguchi, Tsutomu Shigemura, Yoshito Yamazaki, etc (2008), Process and The Support Institutions for Housing Reconstruction in a Rural Village After the 2006 Central Java Earthquake, 7th International Symposium on Architectural Interchange in Asia

HAYASHI Taizo, HOKUGO Akihiko, SHIGEMURA Tsutomu, YAMAZAKI Yoshito, etc (2008), A Study on Residents' Strategy for Housing Reconstruction after 2006 Central Java Earthquake, The 21st EAROPH World Congress and Mayors' Caucus

室崎千重、重村力、山崎義人(2008)、一人暮らし高齢者の居住継続を支える近隣環境に関する研究、第631号、p1907-p1914

◎田中貴宏、山崎義人、稲地秀介、山下卓洋、三笠友洋(2008)、都市デザインシャレットを支援するGISのあり方に関する実践研究、GIS-理論と応用、地理情報システム学会 vol. 16-no. 1, p37-p47

■研究発表

田中貴宏、山崎義人、山口秀文 他(2008) 2006年ジャワ島中部地震における集落復興過程に関する研究 その1 - プレンブタン集落における集落復興GISデータベースの作成とその解析-, 日本建築学会近畿支部研究報告集・第48号計画系

小野田俊夫、北後明彦、山口秀文、山崎義人他(2008) 2006年ジャワ島中部地震における集落復興過程に関する研究 その2 - 住宅再建に関するヒアリング調査 -, 日本建築学会近畿支部研究報告集・第48号計画系

山口秀文、山崎義人、田中貴宏(2008) 2006年ジャワ島中部地震における集落復興過程に関する研究 その3 - 地震前後の建物配置と住まい方、公共施設・共同空間に着目して -, 日本建築学会近畿支部研究報告集・第48号計画系

◎中川和樹、山崎寿一、山崎義人(2008) 都市内の漁村集落の空間構成と街路パターン - 神戸市西部沿岸地域を対象として -, 日本建築学会近畿支部研究報告集第48号・計画系

■学会役員など

日本建築学会農村計画委員会、委員

日本建築学会技術報告集委員会、委員

日本建築学会農村計画委員会農村居住小委員会、幹事

日本建築学会農村計画委員会集落共生デザイン小委員会、委員

日本建築学会農村計画委員会ルーラルネットWG、幹事

日本都市計画委員会近畿支部都市計画部会、委員

日本都市計画委員会近畿支部国際交流委員会、委員

■助成を受けた研究

口述集積型データベース(LUDS)を用いた自律型景観利用の促進計画。文部科学省科学研究費基盤研究(B)、研究分担者(金額60万円/730万円)。

ジャワ島中部地震被災地における居住環境の復興に関する総合的研究。文部科学省科学研究費基盤研究(A)、研究分担者(金額25万円/3,450万円)

小屋に着目した「生業景観」の保全に関する研究、兵庫県立大学特別教育研究助成金奨励研究、(研究代表者)、研究代表者(金額70万円/70万円)

■海外調査

2008.8 中国・香港

2. 資料収集・整理

■資料収集

2009.1-3 企画展関連資料の収集(古写真など)。佐用町、兵庫県

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館外講演

山崎義人, 2009.1, 「風とむら ~防風林から見えるもの~, 元気なむらをつくる技術と政策研究会, 神戸大学農学部(6名)。

山崎義人, 2008.10, 「商店街・中心市街地復興分科会」, コーディネーター, 震災被災地市民サミット, 中越復興市民会議, えちご川口ホテルサンローラ(20名)。

山崎義人, 2008.8, 「居住環境と地域社会の持続への足掛かり」, 農村の新しいガバナンスが創る国土, 日本建築学会大会農村計画部門研究協議会, (100名)。

山崎義人他, 2008.8. 「簡易な建築の自力建設を通じた体験学習-引っ張ってドロー-」, アート臨海学校, 芸術と計画会議, STUDIO Q2, (10名)

山崎義人, 2008.7. 「縮みゆく時代にモガク、僕ら」, 大阪市立大学都市計画研究会, キャンパスポート大阪(50名)。

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化演習(主任, 指導補助)

修士論文(指導補助)

2008.4.1-2009.3.31, 依藤智子(兵庫県立大学大学院環境人間学研究科2年), インドネシア・

ジャカルタ郊外におけるテラスを中心にみた屋外空間の利用実態に関する研究

非常勤講師

2008.7. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学。

2008.10- 2009.3 早稲田大学理工学研究所, 客員講師

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示(準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル (分担者), 有馬富士公園.
2008. 10, 有馬富士フェスティバル (分担者), 有馬富士公園
2008. 11, ふれあいフェスティバル (分担者), 淡路島

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6月13, 上野台, 狭間, 藍, 3名.

学校団体対応

2008. 11, 高校生2年生 (40名). (ファーブルトーク)
2008. 11-, 兵庫県立大学附属中学プロジェクト学習中学1年生. (20名)

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3名.

その他

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 藤原圭祐 (神戸大学大学院工学研究科修士課程2年), ジャワ島中部
地震被災地に向けた竹造漆喰壁工法の実験建築に関する実践的研究
2008. 4. 1-2009. 3. 31, 木村美樹雄 (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), 中山間地域における企業による集落環境保全活動に関する研究
2008. 4. 1-2009. 3. 31, 山口泰人 (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), コミュニティ計画の策定過程における住民自治の萌芽に関する研究
2008. 4. 1-2009. 3. 31, 跡部嵩幸 (早稲田大学理工学部4年), 山梨県早川町における都市農村交流の運営上の課題に関する研究
2008. 4. 1-2009. 3. 31, 小野ちれか (早稲田大学理工学部4年), 地方都市の中心市街地における空き店舗対策としての屋台村の研究
2008. 4. 1-2009. 3. 31, 矢島拓弥 (早稲田大学理工学部4年), 都心部の街路における自転車利用者の注視特性に関する研究

■フェスティバル等

2008. 11 ひとほくフェスティバル, (会場設営/自動車誘導) (分担者).

■展示

企画展

2008. 3, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

ミニ企画等

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2008. 4-2009. 3. 恐竜化石等を活かしたまちづくりプロジェクト, ワーキンググループ, 委員

相談・指導助言

来訪者3件, 3名. 電話・FAX相談2件, メール相談1件.

客野 尚志, Takashi KYAKUNO

都市再生研究グループ/恐竜タスクフォース、マーケティングタスクフォース

主任研究員

昭和46年京都府生. 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本都市計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■恐竜タスクフォース, マーケティングタスクフォース

クリーニングラボ記念式典進行担当、ラボ空間計画諸調整、諸調整業務、事務局運営全般

■研究開発部門

会計担当、予算取りまとめ

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. GIS および人工衛星データを用いた都市環境評価に関する研究
2. 多自然居住地域の安心安全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究-兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

©Takashi KYAKUNO (2008) Quantitative Representation of Distribution and Mixture of Urban Land Use Through Spatial Autocorrelation and Information Entropy. Journal of Asian Architecture and Building Engineering, 7(2), 427-434.

■その他著作

■研究発表

■学会役員など

日本建築学会, 環境工学委員会空間利用データ小委員会・委員.

日本都市計画学会, 査読部会.

日本造園学会, 校閲委員.

日本土木学会景観・デザイン研究論文集, 査読委員.

■助成を受けた研究

フラクタルと自己相関による都市の空間解析とそれに基づく環境評価システムの構築. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者 (40万円/210万円)

■海外調査

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.10 景観資料. 丹波

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 客野尚志, 2008. 8, 「太陽の力を測ってみよう!」, 博物館. (13名)
- 客野尚志, 2008. 8, 「太陽の力から考える都市と地球」, 博物館. (17名)
- 客野尚志, 2008. 8, 「都市のヒートアイランドー人工衛星から捉えた都市環境」, 博物館. (7名)
- 客野尚志, 2008. 8, 「数字で考える地球環境問題2008」, 博物館. (39名)
- 客野尚志, 2008. 9, 「芦屋の景色の温度を測る」, クラーク記念国際高等学校. (120名)

特注セミナー

- 客野尚志, 2008. 7, シニア自然大学花組15期, 「ヒートアイランド」, 博物館. (64名).
- 客野尚志, 2008. 7, 阪神北教育事務所初任者教員研修, 「景色の温度を測る」, 博物館. (54名).
- 客野尚志, 2008. 9, 名古屋大学農学国際教育協力研修センター, 「都市計画におけるGISの活用」, 博物館. (11名)

館外講演

- 客野尚志, 2008. 7 「この暑さどうなってるのー ヒートアイランド問題について考えるー」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚市阪神シニアカレッジ会場(160名)
- 客野尚志, 2008. 9 「環境の温度を測ってみよう」, 宝塚市環境リーダー入門講座, 講師, 宝塚市勤労福祉センター (30名)

非常勤講師

2008. 4-2008. 9 「政策トピックL」, 関西学院大学
2009. 10-2009. 3 「政策課題研究J」, 関西学院大学

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示(準備)

佐用町三河地域の古写真収集

セミナー

2008. 7 西播磨地域 佐用キャンプ(講師)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6月13, 上野台, 狭間, 藍, 3名(分担者).

学校団体対応

2008. 5 帝塚山学院中学校, 景色の温度を測る(71名).
2008. 5 海南市立第2中学校, 地球環境の今とこれから(53名).
2008. 8 和歌山県立海南高等学校, 暑くなる都市~都市のヒートアイランド問題について(40名).
2008. 11 明石市立衣川中学校, 都市の環境を考える(36名).
2008. 11 神戸市立糀台小学校, 景色の温度を測る(74名).
2008. 11 三田市立富士小学校, 地球環境の今とこれから(79

名).

2008. 11 神戸市立多聞南小学校, 地球環境の今とこれから(24名).

2009. 2 尼崎市立立花北小学校, 地球環境の今とこれから(75名).

2009. 3 西宮市立東山台小学校, 景色の温度を測ろう(41名).

講師派遣

2009. 1 三田市立富士小学校, 地球環境に関するコメント(79名).

遠隔授業

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3名(分担者).

■フェスティバル等

2008. 11 ひとつはくフェスティバル, 「ステージ」(分担者).

■展示

ミニ企画等

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 3回, 15名.

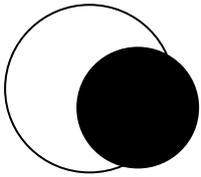
■行政等支援

委員会等(計4件)

2007. 4- 多自然居住地域における安心・安全に関する研究会, 研究者・事務局, (財) ひょうご21世紀震災記念機構 安心安全研究所.
2007. 8- 丹波集落活性化戦略調査委員会ワーキング部会, 部会長, (財) 丹波の森協会.
2008. 4-2009. 3 丹波の森構想20年検証評価検証委員会, 総括部会長, (財) 丹波の森協会.
2008. 4-2009. 3 丹波の森構想20年検証評価検証委員会, 共生社会部会長, (財) 丹波の森協会.

相談・指導助言

- 来訪者10件, 50名. 電話・FAX相談20件, メール相談10件.
2008. 4-2009. 3 丹波の森構想20年検証事業について, 指導, 財団法人丹波の森協会.



個人別成果報告に関する資料

No. 5

● 自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／

生物多様性保全研究グループ

服部 保, Tamotsu HATTORI

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／事業推進部門

研究部長／総合調整担当

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 教授。

昭和23年大阪府生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。学術博士。日本生態学会、日本造園学会、植生学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

総合調整担当

■タスクフォース

生物多様性タスクフォース、マーケティングタスクフォース
リーダー

■研究開発部門

部門研究調整担当、会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山、草原、照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」、研究代表者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究代表者。

■論文・著書

服部 保・南山典子・松村俊和(2008)北限と上限の照葉樹林の種組成と種多様性の比較。植生学会誌, 25:25-35.

◎石田弘明・戸井可名子・武田義明・服部 保(2008)都市域の孤立化した夏緑二次林における緑化・園芸樹木の逸出状況とその特徴。保全生態学研究, 13:1-16.

◎石田弘明・服部 保・小舘誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松村俊和・藤木大介(2008)ニホンジカの強度採食下に発達するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用。保全生態学研究, 13:137-150.

◎橋本佳延・服部 保・岩切康二・田村和也・黒田有寿茂・澤田佳宏(2008)タケ類天狗巣病による西日本の竹林の衰退。保全生態学研究, 13:151-160.

栃本大介・服部 保・岩切康二・南山典子・澤田佳宏(2008)宮崎県綾町大森岳の照葉樹林における着生植物の種多様性および種組成。植生学会誌, 25:63-72.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保(2009)布団籠工の

表層におけるシダ群落の成立とその要因について。ランドスケープ研究, 72(5):493-496.

服部 保(2008)里山の照葉樹林化による種多様性の低下。岩槻邦男+堂本暁子(編),「温暖化と生物多様性」,173-181,築地書館。

◎服部 保・栃本大介(2008)六甲山におけるブナの衰退。岩槻邦男+堂本暁子(編),「温暖化と生物多様性」,196-206,築地書館。

■その他著作

服部 保(2008)生物多様性保全からの植栽計画。環境科学ニュース, 21:1-3.

服部 保(2008)水と植生。水とともに, 2008・5:2.

服部 保(2008)何の葉で包む?あなたの地域のかわもち。日本自然保護協会ニュース。

服部 保(2008)里山林の将来像。GEO CONSULTANT ANNUAL REPORT, 4:11-12.

◎石田弘明・服部 保(2009)猪名川上流域に分布する絶滅危惧種エドヒガン。pp.4,人と自然の博物館,三田。

◎服部 保(2009)猪名川上流域の里山。ひょうご環境創造協会

服部 保(2009)照葉樹林の多様性。照葉樹林研究フォーラム要旨集,2-5.てるは森の会。

■研究発表

服部 保・黒田有寿茂・澤田佳宏・南山典子・岩切康二・福井聡・黒木秀一(2008)照葉人工林の自然性ほどの程度まで発達するのか。植生学会第13回大会,東京農工大学,府中市。石田弘明・服部 保・戸井可名子・武田義明(2008)2タイプの孤立林における林床生シダ植物の種数と樹林面積の関係。植生学会第13回大会,東京農工大学,府中市。

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保(2008)屋久島低地部におけるスギ人工林の種組成および多様性とその地域間差異。植生学会第13回大会,東京農工大学,府中市。

橋本佳延・岩槻邦男・服部 保・武田義明・黒田有寿茂・澤田佳宏・石田弘明(2008)中国雲南省南部菜陽河自然保護区における照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係(予報)。植生学会第13回大会,東京農工大学,府中市。

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保(2009)中国雲南省菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して。第56回日本生態学会,岩手大学,盛岡市。

■学会役員など

植生学会 群集に関する検討ワーキング

日本生態学会近畿地区会,運営委員

■助成を受けた研究

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C),研究代表者(金額

143万円/373万円)。

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析ー中国と日本を対比してー。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B) 海外学術調査, 研究分担者(金額 403万円/1532万円)。

■賞罰

植生学会 学会賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 植物および植生景観の映像資料収集。神戸市, 宝塚市, 尼崎市, 姫路市, 伊丹市, 三田市, 川西市, 大阪府, 鹿児島県, 宮崎県, 沖縄県。

2008.4-2009.3 照葉樹林の映像資料収集。沖縄県(石垣島), 鹿児島県(種子島, 奄美大島), 宮崎県。

■整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料収集, 照葉樹林の映像資料収集。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

服部 保, 2008.4, 「博物館セミナー 植物と文化①本当のかしわもちとちまき」, 博物館。(13名)

服部 保, 2008.5, 「オープンセミナー チガヤとちまき」, 博物館。(7名)

服部 保, 2008.8, 「教職員セミナー 子どもに教える里地・里山」, 博物館。(56名)

服部 保, 2008.9, 「博物館セミナー 植物と文化②秋の七種(ななくさ)」, 博物館。(42名)

服部 保, 2008.4, 「環境大臣会合開催記念シンポジウム講演 日本の里山, そして里山とは」, 人と自然の共生のみちをさぐる, 博物館。(400名)

服部 保, 2008.4, 「特注セミナー 里山の現状と里山管理の方向」, 新しい風プロジェクト, 博物館。(15名)。

服部 保, 2008.6, 「特注セミナー 里山」, 武庫川女子大学附属高等学校, 博物館。(36名)。

服部 保, 2008.7, 「特注セミナー 生物多様性に対する兵庫の取り組み」, 神戸市シルバーカレッジ 生活環境コース, 博物館。(80名)。

服部 保, 2008.7, 「特注セミナー 里山と湿原の保全」, 宝塚市民環境大学, 博物館。(23名)。

服部 保, 2008.7, 「特注セミナー 子供に教える里地・里山」, 神戸市立広陵小学校, 博物館。(26名)。

服部 保, 2008.10, 「オープンセミナー 月見と七種」, 博物館。(15名)

服部 保, 2008.11, 「特注セミナー 生物多様性とジーンファーム」, 環境プロジェクトあこう, 博物館。(24名)。

服部 保・他, 2008.12, 「特注セミナー 北摂里山講座 北摂の里山概要」, 博物館。(150名)。

服部 保・他, 2009.1, 「特注セミナー 北摂里山検定」, 博物館。

(137名)。

服部 保, 2009.1, 「特注セミナー 尼崎に森を育てる」, 尼崎市立七松小学校, 博物館。(91名)。

服部 保, 2009.2, 「特注セミナー 川西市の日本一の里山」, 川西市立明峰小学校, 博物館。(142名)。

館外講演

服部 保, 2008.4, 「指導 川西市多田地区のエドヒガン調査」, 講師, 川西里山クラブ, (30名)。

服部 保, 2008.4, 「講演 生物種の絶滅と生物多様性」, 講師, 人と植物コース①, 姫路市立生涯学習大学校, (60名)。

服部 保, 2008.4, 「講演 森林のはたらき:照葉樹林と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (80名)。

服部 保, 2008.4, 「講演 地球温暖化と森林ボランティア」, 講師, 森林ボランティアフォーラム, ひょうご森の倶楽部, (180名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 宝塚の里山を考える」, 講師, いきいき学舎・プレミラ(専門コース), 宝塚市立老人福祉センター, (40名)。

服部 保, 2008.5, 「見学会 川西市黒川の里山」, 講師, 森林総合研究所関西支所, (15名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 都市山六甲」, 講師, 環境フォーラム IN“神戸”, 兵庫県神戸県民局, (280名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 植物種保全への取り組み①フジバカマ」, 講師, 人と植物コース②, 姫路市立生涯学習大学校, (60名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 西谷地区の豊かな自然(里山の自然)について」, 講師, 宝塚市立西谷小学校, (20名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 森の荒廃・地球温暖化と森林ボランティア」, 講師, 甲山森林・湿原サポーター養成講座, 甲山森林環境センター, (40名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 タマムシの飛ぶ森づくり」, 講師, 猪名川自然林サポータークラブ, (40名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 人と自然の博物館における植物種の保全」, 講師, 人と植物コース④, 姫路市立生涯学習大学校, (60名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 植物種保全への取り組み②外来種対策」, 講師, 人と植物コース③, 姫路市立生涯学習大学校, (60名)。

服部 保, 2008.6, 「講義 神戸の都市山・六甲山」, 講師, 神戸学, 神戸市看護大学, (100名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 生物多様性に対する兵庫の取り組み」, 生物多様性を考える公開シンポジウム, 生物多様性 JAPAN, (135名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 植物群落とは何か(植生, 群落)」, 講師, 人と植物コース⑤, 姫路市立生涯学習大学校, (60名)。

服部 保, 2008.7, 「講演 里山」, 講師, 森林ボランティア講座, ひょうご森の倶楽部, (102名)。

服部 保, 2008.7, 「講演 王朝文学の植物たち」, 講師, 特別講座「王朝文化の輝き」, よみうり天満橋文化センター, (50名)。

服部 保, 2008.7, 「講演 里山保全と観察」, 講師, 大阪シニア自然大学, (50名)。

服部 保, 2008.7, 「講演 里山の現状と課題」, 講師, 西宮市環境講演会, 西宮市, (130名).

服部 保, 2008.7, 「講演 都市山としての六甲～これからの植生を考える～」, 講師, 阪神大水害から70年 六甲防災フォーラム, 六甲砂防事務所・他, (470名).

服部 保, 2008.8, 「実習 植生調査指導」, 講師, 兵庫みどり公社, (60名).

服部 保, 2008.8, 「講演 里山の現状とこれから」, 講師, 緑化環境部・桜台自治会の学習会, 中山台コミュニティ緑化環境対策部, (56名).

服部 保, 2008.8, 「講演 日本の植生①植生と環境条件」, 講師, 人と植物コース⑨, 姫路市立生涯学習大学校, (60名).

服部 保, 2008.8, 「パネルディスカッション 生物多様性」, 講師, 昆陽池フォーラム, 伊丹市, (180名).

服部 保, 2008.9, 「講演 日本の植生②照葉樹林」, 講師, 人と植物コース⑩, 姫路市立生涯学習大学校, (60名).

服部 保, 2008.9, 「講演 里山再生～里山保全の現状と将来」, 講師, 西播磨高齢者文化大学, 兵庫県西播磨県民局, (70名).

服部 保, 2008.9, 「実習 猪名川上流広域ごみ処理施設地区植生調査指導」, 講師, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合, (4名).

服部 保, 2008.9, 「講演 日本一の里山」, 講師, リバグレス猪名川, (40名).

服部 保, 2008.9, 「講演 森づくりの基礎講座」, 講師, アマフォレストの会, (40名).

服部 保, 2008.9, 「講演 エドヒガンと生物多様性」, 講師, NPO 法人川西再発見, (50名).

服部 保, 2008.10, 「講演 生物多様性と里山」, 講師, 兵庫県立三木東高等学校, (20名).

服部 保, 2008.10, 「講演 里山とは」, 講師, みのお森の学校, (30名).

服部 保, 2008.10, 「講演 石垣と植物」, 講師, 姫路市立城郭研究室市民セミナー, 姫路市立城郭研究室, (150名).

服部 保, 2008.10, 「講演 総合的流域管理に関する勉強会」, 講師, 総合的流域管理に関する勉強会, 国土交通省近畿地方整備局, (30名).

服部 保, 2008.10, 「実習 西宮社家郷山植生管理」, 講師, 生活協同組合コープこうべ, (10名).

服部 保, 2008.10, 「講演 兵庫県における温暖化の生態系への影響」, 講師, 平成20年度兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会, 兵庫県地球温暖化防止活動推進センター, (50名).

服部 保, 2008.10, 「講演 ドングリからの森づくり」, 講師, 林野庁箕面森林環境保全ふれあいセンター, (150名).

服部 保, 2008.10, 「実習 箕面体験学習の森植生調査指導」, 講師, 林野庁箕面森林環境保全ふれあいセンター, (10名).

服部 保, 2008.11, 「実習 外来種を考える会」, 講師, 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会, (40名).

服部 保, 2008.11, 「講演 草原と湿原の保全」, 講師, 人と植物コース⑭, 姫路市立生涯学習大学校, (60名).

服部 保, 2008.11, 「講演 生物多様性と里山」, 講師, 兵庫県立福崎高等学校, (50名).

服部 保, 2008.11, 「講演 里山の意義と社家郷山」, 講師, 生活協同組合コープこうべ, (150名).

服部 保, 2008.12, 「講演 温暖化問題と生物多様性について」, 講師, 21世紀文明研究セミナー, ひょうご震災記念21世紀研究機構, (60名).

服部 保, 2008.12, 「講演 里山の大切さ, 里山の整備について」, 講師, 「ふれあいの里山」復活大作戦, 明石市, (30名).

服部 保, 2008.12, 「講演 里山の保全①雑木林」, 講師, 人と植物コース⑯, 姫路市立生涯学習大学校, (60名).

服部 保, 2008.12, 「講演 台場クスギとエドヒガン調査」, 講師, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省, (55名).

服部 保, 2009.1, 「講演 照葉樹林の多様性」, 講師, 照葉樹林研究フォーラム, 照葉樹林研究フォーラム実行委員会, (80名).

服部 保, 2009.1, 「実習 有馬富士里山管理」, 講師, 緑の環境クラブ, (10名).

服部 保, 2009.2, 「講演 薪の利用が里山に与える影響(里山の変化)」, 講師, 薪のある暮らしセミナー, 兵庫県阪神北県民局, (50名).

服部 保, 2009.2, 「実習 里山管理講習会」, 講師, 緑の環境クラブ, (10名).

服部 保, 2009.2, 「講演 里山と生物多様性」, 講師, 森林動物研究センターシンポジウム, 森林動物研究センター, (120名).

服部 保, 2009.2, 「講演 生物多様性と里山」, 講師, 神戸市私立保育園連盟北ブロック研修会, 神戸市私立保育園連盟北ブロック加盟保育園, (100名).

服部 保, 2009.3, 「講演 植生と文化(万葉集・枕草子の植物群落)」, 講師, 人と植物コース⑳, 姫路市立生涯学習大学校, (60名).

服部 保, 2009.3, 「講演 能勢町(猪名川流域)の本物の里山について」, 講師, にほんの里100選記念シンポジウム, 大阪みどりのトラスト協会, (100名).

兵庫県立大学・大学院教育

2008.5.28, 6.4, 11.18 植生保全論(大学院)
2008.9.18, 19 共生生物学(分担講義)

ラジオ・テレビ等出演

2009.4.14, 「菊炭」, 朝日放送「NEWSゆう」
2009.3.6, 「里山」, 東海テレビ「スーパーニュース」

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2008.12 里なび研修会 in 兵庫(責任者)

■連携事業

共催事業

2008.12, 北摂里山講座, 阪神北県民局(企画・運営・セミナーの実施)
2008.12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省(企画・セミナーの実施)
2009.1, 北摂里山検定, 阪神北県民局(企画・運営)

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「平成20年度オグラコウホネ等管理業務委託」。兵庫県丹波県民局。研究代表者(116万円)
- 「シダ類, ラン類の栽培業務」。財団法人ひょうご環境創造協会。研究代表者(170万円)
- 「平成20年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」。兵庫県阪神南県民局。研究代表者(110万円)
- 「平成20年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」。三田市。研究代表者(150万円)
- 「平成20年度川西市北部の里山の現状調査」。川西市。研究代表者(200万円)
- 「平成20年度北摂里山検定業務」。兵庫県阪神北県民局。研究代表者(50万円)
- 「国道178号道路緑化作業推進業務」。株式会社長大。研究代表者(28.6万円)
- 「ウチワゴケ栽培業務」。株式会社総合技術コンサルタント中国支店。研究代表者(12万円)
- 「ひょうごの川・自然環境調査に関する分任業務」。兵庫県県土整備部河川計画室。研究分担者(450万円)
- 「シカに関する植物調査」。兵庫県森林動物研究センター。研究代表者(90万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 25回, 97名。

■行政等支援

委員会等 (計60件)

- 1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局。
- 1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー, (独)水資源機構。
- 1995.8- 自然環境アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局。
- 1996.5- 宝塚市環境審議会, 委員, 宝塚市。
- 1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会, 委員, (社)兵庫県緑化推進協会。
- 1996.10- 宝塚市文化財審議会, 委員, 宝塚市。
- 1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県県民生活部。
- 1999.4- 岬町多奈川地区多目的公園計画に係わる土砂採取事業環境監視データ解析検討委員会, 委員, (財)関西空港調査会。
- 2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局。
- 2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会, 委員, 宝塚市。
- 2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿ブロック調査会議, 委員, 環境省。
- 2002.3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)丹波の森協会。
- 2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会, 委員, 豊岡市。
- 2002.12- 兵庫県環境審議会, 特別委員, 兵庫県。
- 2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 近畿地方整備局・兵庫県但馬県民局。
- 2003.3- 円山川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。
- 2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会, 委員, ゆめさきの森公園運営協議会。
- 2003.3- 一庫ダム水源地域ビジョン策定協議会委員会, 委員, (独)水資源機構。
- 2004.1- 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省猪名川河川事務所。
- 2004.3- 神戸地区稀少植物等の保全対策検討会, 委員, 日本緑化センター。
- 2004.11- 国営明石海峡公園 公園事業座談会, 委員, (社)日本公園緑地協会。
- 2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員長, 兵庫県阪神南県民局。
- 2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業, 景観アドバイザー, 国土交通省六甲砂防事務所。
- 2005.4-2009.9 近畿地方整備局景観アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局。
- 2005.6- 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会, 委員, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合。
- 2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会, 委員長, 南あわじ市。
- 2005.7- 近畿地方整備局事業評価監視委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。
- 2006.2- 生態系保全対策検討委員会, 委員, 兵庫県自然環境保全課。
- 2006.6- 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。
- 2006.7-2009.3 昆陽池再生推進委員会, 委員長, 伊丹市。
- 2006.11- 兵庫県河川審議会特別委員会, 委員, 兵庫県土整備部。
- 2006.11- 吹上海岸(吹上浜)環境再生検討委員会, 委員, 兵庫県淡路県民局。
- 2007.1- 野生動物育成林整備にかかわる指導・助言, アドバイザー, 兵庫県農林水産部。
- 2007.4- 丹波の森公苑運営委員会, 委員, 兵庫県丹波の森協会。
- 2007.6- 六甲山自然保護センター環境学習運営委員会, 委員, 兵庫県神戸県民局。
- 2007.7- 箕面体験学習の森整備事業検討委員会, 委員長, 近畿中国森林管理局。
- 2007.9- 姫路城石垣整備委員会, 特別委員, 姫路市。
- 2007.12- 兵庫県環境審議会・環境基本計画検討小委員会, 委員, 兵庫県。
- 2008.1- 明石市環境審議会, 委員, 明石市。
- 2008.2-2008.6 加古川流域委員会設立準備会議, 委員, 国土交通省姫路河川国道事務所。
- 2008.3-2008.6 地域性在来緑化植物の供給体制整備等に関する検討会, 委員, (財)日本緑化センター。
- 2008.4- やしろの森公園協会評議会, 委員, やしろの森公園協会。

- 2008.6- 兵庫県環境審議会自然環境部会・生物多様性ひょうご戦略検討小委員会, 委員, 兵庫県.
- 2008.6- 三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部.
- 2008.6- 西宮市甲山自然環境センター指定候補者選定委員会, 委員, 西宮市環境局.
- 2008.6- 岸田川水系ひょうごの川・自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県但馬県民局.
- 2008.6- 掛保川水系ひょうごの川・自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.
- 2008.6- 生物多様性ひょうご戦略検討小委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2008.7- 加古川流域委員会, 委員, 国土交通省姫路河川国道事務所.
- 2008.7- 「災害に強い森づくり」にかかる事業検証委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部.
- 2008.7- 自然環境保全基礎調査・中国四国ブロック調査会議, 委員, 環境省.
- 2008.8- 東播海岸の環境に関する会:環境部会(仮称), 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2008.9-2010.3 由良川水系竹田川(黒井川工区)河川整備計画検討委員会, 委員, 兵庫県丹波県民局.
- 2008.10- 和田山八鹿道路環境事後評価, アドバイザー, 国土交通省豊岡河川国道事務所.
- 2008.11- 一庫公園管理運営協議会, 委員長, (財)兵庫県園芸・公園協会.
- 2009.1- 尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討委員会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 2009.1- 西紀ダム基本設計, アドバイザー, 兵庫県丹波県民局.
- 2009.1- 六甲山系グリーンベルト樹林整備マニュアル(案)改定検討ワーキング, 委員, 国土交通省六甲砂防事務所.
- 2009.1- 「コープの森・社家郷山」森林保全活動推進委員会, 委員長, 生活協同組合コープこうべ.
- 2009.2- 国営明石海峡公園神戸地区基本計画改定委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

相談・指導助言

来訪者 170 件, 430 名. 電話・FAX 相談 100 件, メール相談 150 件.

小舘 誓治, Seiji KODATE

自然・環境再生研究部
植生創出研究グループ
研究員

小舘 誓治, Seiji KODATE

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教
昭和37年福岡県生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 森林立地学会, 植生学会, 日本ペ

ドロロジー学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門

企画調整室 副室長, 経営戦略担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎小舘誓治(2009)六甲山系における砂防堰堤上流側に発達した森林植生とその土壌環境. ランドスケープ研究, 72(5), 905-98.

◎石田弘明・服部 保・小舘誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松村俊和・藤木大介(2008)ニホンジカの強度採食下に発達するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用. 保全生態学研究, 13(2), 137-150.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

◎小舘誓治(2008)夏期干ばつによる照葉樹林への影響と立地環境. 日本ペドロロジー学会, 筑波大学, つくば市.

◎小舘誓治(2008)砂防堰堤上流部に発達した植物群落とその土壌環境. 植生学会, 東京農工大学, 東京都.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集. 神戸市, 芦屋市など.

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

◎小舘誓治, 2008.4, 「ちょっと観察!この植物(春の植物)」, 博物館・深田公園(14名).

小舘誓治, 2008.4, 「特注セミナー 里山とマツ枯れ」, 吹田シニア環境大学同窓会かたりべ会, 博物館(28名).

小舘誓治, 2008.6, 「草本群落の調べ方」, 博物館・深田公園(3名).

小舘誓治, 2008.7, 「特注セミナー 身近な植物の観察の仕方」, 三田市市民センター講座, 博物館・深田公園(15名).

小舘誓治, 2008. 7, 「森と土の観察会」(六甲山編), 六甲山(6名).

小舘誓治, 2008. 7, 「特注セミナー 深田公園の植物観察」, シニア自然大学花組15期, 博物館・深田公園(31名).

小舘誓治, 2008. 8, 夏季教職員セミナー「身近な植物の観察の仕方」, 博物館・深田公園(46名).

小舘誓治, 2008. 9, 「森林植生の調べ方」, 有馬富士公園・有馬富士自然学習センター(5名).

小舘誓治, 2008. 10, 11, 高校連携セミナー(有馬高等学校)「里山の自然」, 博物館・深田公園(全2回, 87名).

◎小舘誓治, 2008. 11, 「ちょっと観察! この植物(春の植物)」, 博物館・深田公園(22名).

小舘誓治, 2008. 11, 「六甲山「森の植物」観察会(秋)」, 六甲山(9名).

館外講演

小舘誓治, 2008. 10, 「六甲山の植生と土壌(秋)」, 平成20年度六甲山自然案内人養成研修プログラム入門コース, 六甲山(28名).

小舘誓治, 2008. 10, 「役立つ植物と怖い植物」, いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース, 講師, 宝塚市.(27名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2008. 4-5 阪神北地域 ひょうごの里山、日本の里山(分担者)

■ミニキャラバン事業

セミナー担当

2008. 10 有馬富士フェスティバル・ひとはくミニキャラバン自然観察会講師(植物)(12名)

■連携事業

連携グループ等

おおばこの会(アドバイザー)
五葉クラブ(アドバイザー)

成果発表

2009. 2 共生のひろば「小学校3年生の自然環境学習をサポートして」, 自然観察サポーターチーム「おおばこの会」(指導・助言)

2009. 2 共生のひろば「マツ枯れ調査をしてみよう」, 五葉クラブ(指導・助言)

共催事業

2007. 7-8, ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール'08, ひとはく連携活動グループ
run♪run♪plaza, 兵庫県立人と自然の博物館・ハチ北高原(全5回;講師)

2008. 4-5. 「かわいい春をみつけよう」. run♪run♪plaza, 深田公園(全2回;講師)

2008. 5-2009. 3「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他(全5回)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 4, 富士中学校1名, ゆりのき台中学校1名, 八景中学校1名.

学校団体対応

2008. 7 甲南女子高等学校1年生(18名).
2008. 6 西脇市立芳田小学校3年生(16名).
2008. 6 尼崎市立成良中学校2年生(74名).
2008. 9 高砂市立伊保小学校5年生(116名).
2008. 10 多可町立八千代中学校1年生(83名).
2008. 10 丹波市立南小学校3年生(40名).
2009. 3 西宮市立東山台小学校6年生(42名).

講師派遣

2008. 6, 「生き物観察(春の植物編)」, 講師, 小野市立市場小学校3年生(74名).
2008. 7, 「夏の植物観察(教職員研修)」, 講師, 神戸市立榎谷小学校他教職員(53名).
2008. 11, 「生き物観察(秋の植物編)」, 講師, 小野市立市場小学校3年生(74名).
2008. 11, 「校庭の樹木調査学習会」, 講師, 高砂市立小学校5年生(117名).
2008. 11, 「校庭の樹木調べ」, 講師, 三田市立武庫小学校PTA(10名).
2008. 12, 「冬の植物観察(教職員研修)」, 講師, 神戸市立榎谷小学校他教職員(53名).

■フェスティバル等

2008. 11 ひとはくフェスティバル, 「植物採れ取れビンゴ」(責任者).

■展示

企画展

2009. 2-2009. 3 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談35件.

石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 植生学会, 植物地理・分類学会, 日本造園学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 生涯学習推進室

演習フロアサービスマネージャー

■タスクフォース

マーケティングタスクフォース

グローバル・プログラムタスクフォース

フェスティバルタスクフォース

■研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

森林群落、特に照葉樹林、ブナ林、里山林の生物多様性とそ
の保全・復元に関する研究

絶滅危惧植物の保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」、研
究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林
の生態学的研究」、研究分担者。

■論文・著書

◎石田弘明・戸井可名子・武田義明・服部 保 (2008) 都市域
の孤立化した夏緑二次林における緑化・園芸樹木の逸出状
況とその特徴. 保全生態学研究, 13:1-16.

◎石田弘明・服部 保・小舘誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松
村俊和・藤木大介 (2008) ニホンジカの強度採食下に発達
するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用.
保全生態学研究, 13 (2), 137-150.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保 (2009) 布団籠工
の表層におけるシダ群落の成立とその要因について. ラン
ドスケープ研究, 72 (5), 493-496.

■その他著作

◎石田弘明 (2009) 武田尾溪谷の植物と植物群落. 宝塚の自然,
23:2-4. 宝塚市自然保護協会.

◎石田弘明・服部 保 (2009) 猪名川上流域に分布する絶滅危
惧種エドヒガン. pp. 4, 人と自然の博物館, 三田.

◎石田弘明 (2009) 北摂里山検定を実施しました. ひとく新
聞 2009年3月14日号.

八木 剛・石田弘明・山下治子 (2009) イタリアの自然史系ミ
ュージウム (1). ミュゼ, 87: 14-17.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

石田弘明・服部 保・戸井可名子・武田義明 (2008) 2タイ
プの孤立林における林床性シダ植物の種数と樹林面積の関
係. 植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

橋本佳延・岩槻邦男・服部 保・武田義明・黒田有寿茂・澤
田佳宏・石田弘明 (2008) 中国雲南省菜陽河自然保護区に
おける照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係 (予報).
植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保 (2008)

屋久島低地部におけるスギ人工林の種組成および種多様性
とその地域間差異. 植生学会第13回大会, 東京農工大学,
府中市.

石田弘明・黒田有寿茂・武田義明・田村和也・岩切康二・武
素功・岩槻邦男 (2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区にお
けるカバノキ二次林の構造と動態. 第56回日本生態学会,
岩手大学, 盛岡市.

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩
切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保 (2009) 中国雲南省
菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の
種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して. 第56
回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市.

■学会役員など

植生学会, 運営委員.

植生学会, 会計幹事.

日本生態学会近畿地区会, 運営委員.

日本造園学会, 論文査読

■助成を受けた研究

中山間地域における限界集落の増加が生物多様性に与える影
響. 平成20年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究
代表者 (金額60万円)

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究. 日本学
術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究分担者 (分
担金なし/373万円).

■海外調査

2008.6 中華人民共和国

2008.8-9 イタリア

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.6-2009.2 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集.
川西市, 三田市, 猪名川町, 鹿児島県など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2008.5, 「初夏の武田尾溪谷で植物を観察しよう」,
武田尾溪谷. (20名)

石田弘明, 2008.5-6, 「身近な環境を調査しよう」, 祥雲館高
等学校・博物館. (全3回, 30名)

石田弘明, 2008.5, 「身近な植物の名前を覚えよう」, 博物館.
(7名)

石田弘明, 2008.7, 「オープンセミナー 身近な植物を観察し
よう」, 博物館. (22名)

石田弘明, 2008.7-8, 「ボルネオジャングルスクール」, 博物
館. (23名)

石田弘明, 2008.8, 「教職員セミナー 人間の活動による植生
の変化」, 博物館. (27名)

石田弘明, 2008.8, 「特注セミナー 里山の現状と保全」, 博
物館・有馬富士公園. (28名)

- 石田弘明, 2008. 8, 「特注セミナー なぜ多くの植物が絶滅に瀕しているのか」, 博物館. (20名)
- 石田弘明, 2008. 10, 「秋の武田尾溪谷で植物を観察しよう」, 武田尾溪谷. (14名)
- 石田弘明, 2008. 10, 「特注セミナー 里地里山の自然について」, 博物館. (22名)
- 石田弘明, 2008. 11, 「オープンセミナー タネを観察しよう」, 博物館. (36名)
- 石田弘明, 2008. 12, 「特注セミナー 北摂里山講座 里山の特徵・現状・管理」, 博物館. (150名)
- 石田弘明, 2009. 1, 「特注セミナー 北摂里山検定」, 博物館. (137名)
- 石田弘明, 2009. 2, 「特注セミナー 里山と生物のつながり」, 博物館. (71名)

館外講演

- 石田弘明, 2008. 4, 「山東町の森林」, 講師, 与布土地域自治協議会, 山東町柗木地区公民館 (30名).
- 石田弘明, 2008. 6, 「奥山溪谷の植物と植物群落」, 講師, 与布土地域自治協議会, 山東町奥山溪谷 (8名).
- 石田弘明, 2008. 8, 「熱帯雨林の自然」, 講師, 平成20年度姫路生涯学習大学校, 姫路市立姫路生涯学習大学校 (50名).
- 石田弘明, 2008. 9, 「武庫川の植物」, 講師, いきいき学舎・フレミラ (専門コース), 宝塚市立老人福祉センター (26名).
- 石田弘明, 2008. 9, 「里山の植物」, 講師, ひょうご環境体験館 (15名).
- 石田弘明, 2008. 10, 「孤立林の保全」, 講師, 平成20年度姫路生涯学習大学校, 姫路市立姫路生涯学習大学校 (50名).
- 石田弘明, 2008. 12 「エドヒガンの調査結果と調査方法」, 講師, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省 (55名).

非常勤講師

2008. 4. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

ラジオ・テレビ等出演

2008. 11, 「北摂里山検定」, FM宝塚

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2008. 4-2009. 3 阪神北地域 テーマ「里山林の保全・復元・再生」

展示作成

2008. 4-5 阪神北地域 ひょうごの里山、日本の里山 (責任者)
2008. 11 阪神北地域 猪名川上流域のエドヒガン (責任者)

セミナー担当

2008. 6 阪神北地域 エドヒガン調査研修会 (実施・企画運営)

2008. 12 里なび研修会 in 兵庫 (分担者)

■ミニキャラバン事業

2008. 5, G8エコフェスタ神戸 (分担者), G8環境大臣会合神戸実行委員会, 神戸市立中央体育館.

■連携事業

連携グループ等

- 山東の自然に親しむ会 (主担当)
- 菊炭友の会 (主担当)

成果発表

2008. 11 黒川里山まつり 「猪名川上流域のエドヒガン」, 菊炭友の会 (指導・協働)

共催事業

2008. 12, 北摂里山講座, 阪神北県民局 (分担者・セミナーの実施)
2008. 12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省 (分担者・セミナーの実施)
2009. 1, 北摂里山検定, 阪神北県民局 (分担者・セミナーの実施)
2009. 1, 自然のたからもの～丹波竜&コウノトリに会おう! ～, NHK神戸放送局・NHKプラネット近畿・共同通信社・全国地方新聞社連合会・県立コウノトリの郷公園 (分担者)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 5, 富士中学校1名, ゆりのき台中学校1名, 八景中学校1名.

学校団体対応

2008. 8, 「なぜ多くの植物が絶滅に瀕しているのか」, 香川県立観音寺第一高等学校. (20名)
2008. 10, 「里地里山の自然について」, 香美町立中学校 (22名)
2009. 2, 「里山と生物のつながり」, 宝塚市立山手台小学校 (71名)

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 14, 神戸大学発達科学部学生1名, 近畿大学農学部学生1名.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとつはくフェスティバル (深田公園本部担当).

■展示

企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(責任者).

ミニ企画等

2008. 4. 15-5. 31, トピックス展示「里山復元の取り組みと菊炭」(責任者).
2008. 7. 20-8. 31, 巡回展「バイオメディカル写真展」(責任者).
2009. 3. 20-4. 26, ミニ企画展「第19回堀明子詩集『四季の色』展」(責任者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「平成20年度自然環境調査補足業務委託(経年変化調査)」. 三田市. 分担者 (150万円)
- 「平成20年度北摂里山検定業務」. 阪神北県民局. 分担者 (50万円)
- 「平成20年度川西市北部の里山の現状調査」. 川西市. 分担

者 (200 万円)

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 分担者 (90 万円)

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2008. 4-1. MAB 計画委員会, 委員, MAB 国内委員会.

2002. 4-1. 尼崎の森中央緑地整備事業, アドバイザー, 阪神南県民局.

2002. 5-2003. 3. 野生動物育成林整備事業, アドバイザー, 豊かな森づくり課

相談・指導助言

来訪者 2 件, 2 名. 電話・FAX 相談 3 件, メール相談 4 件.

2008. 6 地域産苗木の栽培, 講師, 阪神南県民局.

2008. 12 BBEC プログラムのカウンターパート研修, 講師, JICA.

橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/生涯学習推進室

研究員

昭和 51 年愛知県生. 神戸大学大学院総合人間科学研究科修士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 造園学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 連携・担い手養成マネージャー

キャラバン事業総括, 地域研究員養成事業総括, 「共生のひろば」発表会実施総括, 「共生のひろば 第 4 号」編集, 連携事業申請窓口担当

■タスクフォース

生物多様性タスクフォース サブリーダー

生物多様性ひょうご戦略策定委員会事務局運営補助, 館内作業とりまとめ

フェアブル展推進タスクフォース

記念シンポジウムでのミニセミナー講師およびシンポジウム運営補助

フェスティバルタスクフォース

設営準備, 出展者への什器・備品配置作業総括

■研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. タケ類天狗巣病による竹林の衰退に関する研究
2. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
3. 里山の生物多様性保全に関する研究

4. 外来植物の侵入・定着に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎橋本 佳延・服部 保・岩切 康二・田村 和也・黒田 有寿茂・澤田 佳宏 (2008) タケ類天狗巣病による西日本の竹林の衰退. 保全生態学研究 13 (2), 151-160.

■その他著作

中瀬 勲, 橋本佳延 (2008) 生物多様性ひょうご戦略構想. 生物多様性を考える・生物多様性条約 COP10 に向けて, 生物多様性ジャパン.

◎橋本佳延 (2008) 兵庫県立大学附属中学校との連携活動報告 1 植物の多様性. ひとく新聞 2008 年 9 月 30 日号.

◎橋本佳延 (2008) 生物多様性ひょうご戦略 ただいま策定中!. ひとく新聞 2008 年 12 月 10 日号

■研究発表

橋本佳延, 岩槻邦男, 服部 保, 武田義明, 黒田有寿茂, 澤田佳宏, 石田弘明 (2008) 「中国雲南省南部菜陽河自然保護区における照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係 (予報)」植生学会, 東京農工大学, 府中市.

◎橋本佳延 (2008) 西日本におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林衰退の現状. 竹林景観ネットワーク第 3 回研究集会, 島根県大田市.

橋本佳延 (2009) 外来植物の侵入による植物相の地域固有性の喪失. 第 56 回日本生態学会, 岩手県立大学, 岩手県盛岡市.

◎橋本佳延 (2009) 河川敷におけるニセアカシア群落の成立による在来植生形成阻害. 第 56 回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保 (2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して. 第 56 回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市.

■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 海外学術調査, 研究分担者 (分担金なし/平成 20 年度総額 403 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集 (芦屋市, 三田市, 神戸市, 川西市, 南あわじ市, 大阪府, 山口県, 山梨県, 京都府).

■整理同定担当資料

植生映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 橋本佳延, 2008. 4, 「早春の里山を観察しよう」川西市黒川(21名)
- 橋本佳延, 2008. 4, 「春の六甲山ハイキング」六甲山(17名)
- 橋本佳延, 2008. 10, 「秋の六甲山ハイキング」六甲山(7名)
- 橋本佳延・辻秀之, 2008. 10, 「灘山探検ツアー」淡路夢舞台公園(35名)
- 橋本佳延, 2008. 11. 15, 12. 6, 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう！」(2回, 66名)
- 橋本佳延, 2009. 3, 「六甲山系最大のススキ、ネザサ草原、東お多福山の現状」博物館(11名)
- 橋本佳延, 2009. 1, 「特注セミナー 北摂里山検定」博物館(137名)

館外講演

- 橋本佳延, 2008. 4, 「生物多様性を目指した里山管理」, 神付産土の森の会, 講師, 神付産土の森(40名)
- 橋本佳延, 2008. 9, 「東お多福山の生物多様性の再生」, 日本山岳会関西支部・兵庫県山岳連盟, 講師, 芦屋市高座の滝(150名)
- 橋本佳延, 2008. 10, 「里山観察会」, 川西里山クラブ, 講師, 能勢妙見山(27名)
- 橋本佳延, 2008. 10, 「竹がひろがる?!竹が枯れる?!」, 三木市高齢者大学院, 講師, 三木市高齢者大学(49名)
- 橋本佳延, 2008. 12 「台場クヌギの調査結果と調査方法」, 講師, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省(55名)
- 橋本佳延, 2008. 12, 「西日本におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林衰退の現状」, シンポジウム「美しい森林づくり・しまね」森づくりの現場から, 講師, 島根県大田市あすてらす3階研修室(20名)
- 橋本佳延, 2009. 2, 「六甲山最大のススキ、ネザサ草原、東お多福山の現状」, 六甲山魅力再発見市民セミナー, 講師, 六甲山YMCA(30名)

ラジオ・テレビ等出演

2009. 3, 「竹の天狗巣病について」, よみうりテレビ

■キャラバン事業

セミナー担当

2008. 12 里なび研修会 in 兵庫(分担者)

■連携事業

成果発表

2008. 2, 共生の広場 「東お多福山のススキ草原再生を目指して」, プナを植える会。(指導・協働)

協力事業

2008. 5-11 東お多福山一草原の生物多様性保全事業, プナを植える会(主担当)

共催事業

2008. 12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省(分担者・セミナーの実施)
2009. 1, 北摂里山検定, 阪神北県民局(分担者)

■学校教育支援

講師派遣

2008. 4-2009. 2 兵庫県立大学附属中学校との連携授業, 講師, 2年生.(4名).

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 11, 神戸大学発達科学部学生1名, 近畿大学農学部学生1名.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとつはくフェスティバル(運営分担:フェスティバルタスクフォースメンバー)

■展示

企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

- 「川西市北部の里山の現状調査」. 川西市. 研究分担者(200万円)

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2008. 7-1. ひょうごサイエンスクロスオーバーネット運営委員会, 運営委員, 神戸大学.

相談・指導助言

- 来訪者4件, 4名. 電話・FAX相談11件, メール相談3件.
2008. 4-2009. 3 東お多福山ススキ草原の保全活動に対する助言・指導, プナを植える会.
2008. 12 BBECプログラムのカウンターパート研修, 講師, JICA.

鈴木 武, Takeshi SUZUKI

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 生涯学習推進室

副室長、広報出版支援担当

■タスクフォース

博物館ネットワーク構築タスクフォース

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究

2. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎鈴木武 (2009) 神戸電鉄沿線にちなむ生き物. 神戸電鉄(編)「神鉄ハイキング」, 122-125

■その他著作

◎鈴木武 (2009) 書評「牧野富太郎と神戸」, 神戸新聞 (1月18日).

◎鈴木武 (2009) 書評「発見する楽しみ」, 神戸新聞 (3月9日).

■ブログへの情報提供

15件

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事.

兵庫植物同好会, 会計.

兵庫植物誌研究会, 幹事.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.5-2009.3 アカウキクサ属植物の収集. 南あわじ市, 豊岡市, 京都府など.

■整理同定担当資料

シダ植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2008.4, 「ツクシをよく見よう」, 博物館. (18名)

鈴木武, 2008.5, 「タンポポをよく見よう」, 博物館. (24名)

鈴木武, 2008.5, 「酵素多型で調べるタンポポ」, 博物館. (全2回, 12名)

鈴木武, 2008.5, 「武田尾のシダ植物」, JR 福知山線武田尾駅周辺. (17名)

鈴木武, 2008.5, 「武田尾のシダ植物追加版」, JR 福知山線武田尾駅周辺. (16名)

鈴木武, 2008.7, 「神戸市立森林植物園のシダ植物」, 神戸市立森林植物園. (19名)

鈴木武, 2008.7, 「神戸市立森林植物園のシダ植物追加版」, 神戸市立森林植物園. (17名)

鈴木武, 2008.9, 「佐用のシダ植物」, 神戸市立森林植物園. (22名)

鈴木武, 2008.11, 「電子レンジで押し葉しおり作り」, 博物館. (4名)

館外講演

鈴木武, 2008.4, 「六甲山地の生き物」, 西宮市公民館講座, 講師, 西宮市塩瀬公民館 (120名)

鈴木武, 2008.4, 「西日本のタンポポ」, タンポポ調査西日本

2010 実行委員会, 講師, 倉敷市立自然史博物館 (35名).
鈴木武, 2008.6, 「シダ植物について」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚ソリオ (80名)

鈴木武, 2008.7, 「六甲山のシダ」, 六甲山自然案内人の会, 講師, 六甲山自然保護センター (24名)

鈴木武, 2008.8, 「オオアカウキクサの同定」, 淀川調査プロジェクト, 講師, 大阪市立自然史博物館 (18名)

鈴木武, 2008.8, こどもパークレンジャー講座「六甲山の植物」, 六甲山自然保護センターを活用する会, 講師, 六甲山小学校 (20名)

恩地実・鈴木武, 2008.8, 「六甲山のスミスネズミ」, 神戸市立森林植物園, 講師, 神戸市立森林植物園 (15名)

鈴木武, 2008.8, 「絶滅危惧植物の保全-兵庫県での例」香川自然博物館, 講師, マリンウエーブ三豊(85名)

鈴木武, 2008.8, 「香川県絶滅危惧種ウンラン・アッケシソウ・オニバス・アサザを探して」香川自然博物館, 講師, 観音寺市・高松市など(50名)

鈴木武, 2009.2, こどもパークレンジャー講座「六甲山の冬の植物」六甲山自然保護センターを活用する会, 講師, 六甲山小学校 (20名)

鈴木武, 2009.2, 「宝塚のシダ植物」フレミア宝塚, 講師, 宝塚市立老人福祉センター (80名)

鈴木武, 2009.3, 「タンポポとカタツムリの話」明石市立天文科学館, 講師, 明石市立天文科学館 (24名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

非常勤講師

2007.5. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

ラジオ・テレビ等出演

2008.8, 「大阪城の赤い浮草」MBS ナウ, 毎日放送

2008.9. 「外来アゾラについて」異常気象と生物の大量発生, テレビ朝日

2008.11. 「アゾラについて」ニュースUP, 名古屋テレビ

2009.1. 「赤い浮草、その後」ちちんぷいぷい, 毎日放送

2009.1. 「大阪城内堀のアゾラ」NEWS BIZ, テレビ大阪

■ミニキャラバン事業

2008.10, 有馬富士フェスティバル (分担者), 有馬富士公園, 有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

希少植物研究会 (主担当)

共催事業

2008.9, フェアブル大作戦!in 県立美術館, 兵庫県立美術館 (セミナーの実施)

2009.11, ウィーン静物画展, 兵庫県立美術館 (セミナーの実施)

協力事業

2008.5, G8 エコフェスタ神戸, G8 環境大臣会合神戸実行委員会 (展示制作)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2002.6.5-6.8, 富士中学校1名, ゆりのき台中学校1名, 八景中学校1名.

学校団体対応

2008.4, 京都府立桃山高等学校1年生(40名)

2008.11, 福崎町立福崎中学校1年生(120名)

2009.2, 京都府立農芸高等学校1年生(20名)

講師派遣

2009.2 「六甲山の生き物」, 講師, 神戸市立摩耶小学校5年生(10人)

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8.13, 神戸大学発達科学部学生1名, 近畿大学農学部学生1名.

■フェスティバル等

2008.11 ひとつはくフェスティバル, 「ミュージアムワールド」(分担者).

■展示

企画展

2008.2.23-2003.8.20, 企画展「クリプトガミック・ボタニク」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2回, 30名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者10件, 15名. 電話・FAX相談20件, メール相談5件.

藤井 俊夫, Toshio FUJII

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ/環境学習推進室

主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本植物分類学会, 日本熱帯生態学会, 植生史学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

環境学習推進事業室

■タスクフォース

環境学習推進タスクフォース

■研究開発部門

研究環境整備・研究紀要M

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ベニバナヤマシャクヤクの個体群構造の研究

2. クリンソウ自生地の研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

藤井俊夫(2008)大和川下流部の植物相, 自然史研究, 3(9):137-142. 大阪市立自然史博物館.

藤井俊夫(2008)深田公園の植物相. 人と自然, 19:135-142.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 植物標本の収集. 三田市, 大阪市など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2008.4, 「植物観察会(春の福島大池)」, 有馬富士公園. (15名)

藤井俊夫, 2008.5, 「植物観察会(春の虚空蔵山)」, 虚空蔵山. (14名)

藤井俊夫, 2008.10, 「植物観察会(秋の虚空蔵山)」, 虚空蔵山. (9名)

藤井俊夫, 2009.3, 「咲くやこの花館観察会」, 咲くやこの花館(16名)

藤井俊夫, 2009.3, 「春日山原始林観察会」, 奈良春日山(?名)

館外講演

藤井俊夫, 2008.4 「市民植物観察会」下見, 講師, 人と自然の会, (10名)

藤井俊夫, 2008.5 「山菜を食べる会」, モクモクの会, 講師, 生涯学習センター(10名)

藤井俊夫, 2008.8 「武庫川の自然観察会」, 宝塚自然保護協会, 講師, (20名)

藤井俊夫・足立勲, 2008.9 「鳴く虫観察会」ささやまの森公園, 講師, (20名)

藤井俊夫, 2008.9 「妙高山自然観察会」, 講師, 篠山自然の会, 講師, (20名)

藤井俊夫, 2008.10 「四国カルスト観察会」, 篠山自然の会, 講師, (30名)

藤井俊夫, 2009.2, 「ささやまのクリンソウ」, ささやまのクリンソウを守る会, 講師, みたけ会館(120名).

■ミニキャラバン事業

主担当

2008.10 阪神北地区 テーマ「ひとつはくファーブル in 有馬富士」

セミナー担当

2008.10 植物観察会「ひとつはく博士と歩く有馬富士」(講師・企画運営)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 3-6. 6, ゆりのき台中学校, 八景中学校, 富士中学校, 計3名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 11-8. 14, 神戸大学発達科学部学生1名, 近畿大学農学部学生1名.

2. シンクタンク事業

相談・指導助言

来訪者90件, 140名. 電話・FAX相談60件, メール相談30件.

黒田 有寿茂, Asumo KURODA

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ/研究・シンクタンク推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和53年愛知県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 博士(理学). 日本生態学会, 植生学会, 日本造園学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

グローバルプログラムタスクフォース

情報システム更新タスクフォース

■研究開発部門 研究・シンクタンク推進室

ジーンバンク活用マネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 二次林・人工林における生物多様性保全に関する研究
2. 希少植物の種生態に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保(2009) 布団籠工の表層におけるシダ群落の成立とその要因について. ランドスケープ研究, 72(5), 493-496.

◎石田弘明・服部 保・小館誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松村俊和・藤木大介(2008) ニホンジカの強度採食下に発達するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用. 保全生態学研究, 13(2), 137-150.

◎橋本佳延・服部 保・岩切康二・田村和也・黒田有寿茂・澤田佳宏(2008) タケ類天狗巢病による西日本の竹林の衰退. 保全生態学研究, 13(2), 151-160.

■研究発表

黒田有寿茂・服部 保(2008) 木製ブロック法留工の施工地におけるシダ群落の成立とその緑化への応用. 日本造園学会全国大会, 北海道大学, 札幌市.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保(2008) 屋久島低地部におけるスギ人工林の種組成および種多様性とその地域間差異. 植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保(2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して—. 第56回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市.

服部 保・黒田有寿茂・澤田佳宏・南山典子・岩切康二・福井 聡・黒木秀一(2008) 照葉人工林の自然性はどの程度まで発達するのか. 植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

橋本佳延・岩槻邦男・服部 保・武田義明・黒田有寿茂・澤田佳宏・石田弘明(2008) 中国雲南省南部菜陽河自然保護区における照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係. 植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

石田弘明・黒田有寿茂・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男(2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区におけるカバノキ二次林の構造と動態. 第56回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市.

■海外調査

2008.6 中華人民共和国・雲南省

■賞罰

植生学会第13回大会 ポスター発表賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 植物および植生の映像資料収集. 神戸市, 川西市, 養父市, 三田市, 篠山市, 芦屋市, 猪名川町, 大阪府, 鹿児島県.

■整理同定担当資料

ジーンファーム受入植物.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2008.4, 「気ままに植物ウォッチング①〜イヤガ谷東尾根〜」, 神戸市北区イヤガ谷東尾根周辺. (2回, 31名)

黒田有寿茂, 2008.5, 「気ままに植物ウォッチング②〜鎌倉峡〜」, 神戸市北区鎌倉峡周辺. (1回, 24名)

黒田有寿茂, 2008.5, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」,

博物館。(1回, 35名)

黒田有寿茂, 2008.10, 「気ままに植物ウォッチング③〜天下辻〜」, 神戸市北区天下辻周辺。(1回, 20名)

黒田有寿茂, 2008.10, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館。(1回, 25名)

黒田有寿茂, 2008.11, 「気ままに植物ウォッチング④〜六甲山紅葉谷〜」, 神戸市北区六甲山紅葉谷周辺。(1回, 20名)

黒田有寿茂, 2008.12, 「特注セミナー 北摂里山講座 猪名川上流域の里山」, 博物館。(150名)

黒田有寿茂, 2009.1, 「特注セミナー 北摂里山検定」, 博物館。(137名)

館外講演

黒田有寿茂, 2009.2, 「植生調査について」, エコウイングあかし, 講師, 明石市金ヶ崎公園 (20名)。

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2008.4-5 阪神北地域 ひょうごの里山、日本の里山 (分担者)

セミナー担当

2008.6 阪神北地域 エドヒガン調査研修会 (分担者)

2008.12 里なび研修会 in 兵庫 (分担者)

■連携事業

連携グループ等

菊炭友の会 (アドバイザー (副))

成果発表

2009.2 共生の広場 「親と子の環境教育」, きららの森 (指導)

共催事業

2008.12, 北摂里山講座, 阪神北県民局 (分担者・セミナーの実施)

2008.12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省 (分担者)

2009.1, 北摂里山検定, 阪神北県民局 (分担者)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.3-6.6, 富士中学校1名, ゆりのき台中学校1名, 八景中学校1名。

2008.11.11-11.14, 北神戸中学校3名。

学校団体対応

2008.4, 兵庫県立大学附属中学校 (40名)。

2008.4, 淡路景観園芸学校 (19名)。

2008.7, NPO 法人シニア自然大学 (33名)。

2008.10, 神戸市立大池小学校 (75名)。

2008.11, 兵庫県立大学附属中学校 (25名)。

講師派遣

2008.10. 「森と里山の話」, 講師, 雲雀丘学園中学校1年生 (160名)。

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8, 神戸大学発達科学部学生1名, 近畿大学農学部学生1名。

■フェスティバル等

2008.11 ひとくフェスティバル, 「植物採れ取れビンゴ」 (分担者)。

■展示

ミニ企画等

2008.4.15-5.31, トピックス展示「里山復元の取り組みと菊炭」 (分担者)。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成20年度オグラコウホネ等管理業務委託」, 兵庫県丹波県民局, 研究分担者 (116万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 7回, 156名

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX相談1件, メール相談1件。

2008.12 BBECプログラムのカウンターパート研修, 講師, JICA。

			研究開発																	
			調査研究																	
研究員氏名 (掲載順)	博物館	大学	特別課題研究 テーマ数	共同研究(総合) 参画数	共同研究(部門) 参画数	論文・著書			そのほか著作			ブログへの情報提供 件数	研究発表		学会役員など 件数	助成を受けた研究			海外調査 回数	受賞等 件数
						第一著者件数	第一著者以外の件数	第一著者以外の件数	第一著者以外の件数	第一著者以外の件数	第一著者以外の件数		代表			分担				
													件数	(万総円額)			件数			
小林文夫	主任研究員	教授	3	1	1	4	1	1	0	0	0	1	3	5	1	340	0	1	0	
佐藤裕司	主任研究員	教授	3	1	1	1	0	2	1	1	0	6	1	0	0	0	0	0	0	
先山 徹	主任研究員	助教授	3	1	1	0	0	3	0	0	3	1	2	1	170	0	0	0		
加藤茂弘	主任研究員		3	1	1	2	1	2	1	1	2	8	4	1	340	2	2	0		
古谷 裕	主任研究員	助教授	2	1	1	0	1	2	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0		
三枝春夫	研究員	助手	2	1	1	3	2	2	0	0	4	4	2	1	1481	0	1	0		
半田久美子	主任研究員		2	1	1	0	1	1	0	1	1	3	1	0	0	0	0	0		
松原尚志	主任研究員		3	1	1	2	3	3	2	0	2	6	1	0	0	0	1	0		
池田忠弘	研究員		2	1	1	0	1	1	1	0	2	4	0	0	0	0	1	0		
橋本佳明	主任研究員	助教授	4	1	1	0	0	7	0	0	1	0	4	1	487	1	2	0		
沢田佳久	研究員	助手	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0		
八木 剛	主任研究員		2	1	0	0	1	1	0	15	0	2	1	1	350	0	1	0		
高橋 晃	研究部長	教授	3	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0		
秋山弘之	主任研究員	助教授	3	1	1	3	2	0	0	3	2	1	2	1	80	0	2	0		
高野温子	主任研究員		2	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	310	0	1	0		
布施静香	研究員		4	1	1	0	0	0	2	2	0	1	3	1	251	1	0	0		
福田知子	研究員		1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0		
山本伸子	研究員		1	0	0	0	3	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0		
江崎保男	研究部長/研究員	教授	2	1	1	2	0	6	1	0	0	3	5	2	140	0	0	0		
田中哲夫	主任研究員	助教授	4	1	1	1	0	5	0	1	2	0	1	1	480	0	0	0		
三橋弘宗	主任研究員		2	1	1	0	4	1	15	8	1	8	4	1	400	0	0	1		
大谷 剛	主任研究員	教授	3	1	0	2	0	1	0	0	4	0	1	1	210	0	0	0		
三谷雅純	主任研究員	助教授	3	1	0	2	0	40	0	0	1	2	3	1	12.6	1	1	0		
遠藤菜緒子	研究員		2	1	1	0	1	1	0	8	2	1	0	0	0	0	1	0		
田口勇輝	研究員		0	1	0	1	0	2	0	38	3	0	0	0	0	0	0	0		
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	2	1	1	4	2	11	1	0	1	1	28	0	0	4	2	0		
藤本真里	研究員	助手	2	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
赤澤宏樹	研究員	講師	2	1	1	1	2	2	1	0	1	2	11	2	330	0	1	0		
嶽山洋志	研究員		3	1	1	2	1	6	2	0	2	1	0	2	868	2	1	0		
田原直樹	主任研究員	教授	2	1	1	0	1	0	0	0	2	1	6	0	0	0	1	0		
山崎義人	研究員		6	1	1	2	7	0	0	0	0	4	7	1	70	2	1	0		
服部 保	研究部長	教授	3	1	1	3	5	6	1	0	1	4	2	1	373	1	0	1		
石田弘明	研究員	講師	2	1	1	2	1	3	1	1	2	3	4	1	60	1	2	0		
小館誓治	研究員	助手	2	1	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0		
橋本佳延	研究員		4	1	1	1	0	2	1	0	4	1	0	0	0	0	1	0		
鈴木 武	研究員	助教	2	1	1	1	0	2	0	15	0	0	3	0	0	0	0	0		
黒田有寿茂	研究員	助手	2	1	1	1	2	0	0	0	3	3	0	0	0	0	1	1		
藤井俊夫	研究員		2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計			94	37	32	43	44	121	33	98	53	79	103	22	6752.6	21	23	3		

			生涯学習事業												
			連携事業				学校教育支援					研修生等の受入			イベント
			連携グループ	共催事業	協力事業	成果発表	トライやるウィーク	学校団体対応	講師派遣	博物館実習	卒論生など	その他	フェスティバル等の実施		
研究員氏名	博物館	役職	件数	件数	件数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	受講生徒数	受入人数	受入人数	実施件数
小林文夫	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	1	40	0	2	0	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	0	0	0	1	2	4	263	2	166	0	4	0	1
先山 徹	主任研究員	助教授	0	4	2	0	0	1	38	2	349	2	0	0	0
加藤茂弘	主任研究員	主任研究員	2	3	1	0	3	3	89	1	40	2	3	0	1
古谷 裕	主任研究員	助教授	1	2	2	0	3	7	368	8	101	0	0	0	0
三枝春夫	研究員	助手	1	2	1	0	3	1	159	0	0	0	0	0	0
半田久美子	主任研究員	主任研究員	0	2	0	0	5	5	218	1	70	0	1	0	1
松原尚志	主任研究員	主任研究員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
池田忠弘	研究員	研究員	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
橋本佳明	主任研究員	助教授	0	0	0	0	0	23	2125	1	79	0	0	0	0
沢田佳久	研究員	助手	0	0	0	0	3	24	0	0	0	0	0	0	0
八木 剛	主任研究員	主任研究員	6	8	0	6	0	27	1946	9	131	0	0	0	1
高橋 晃	研究部長	教授	1	0	1	5	0	3	388	1	3	0	0	4	0
秋山弘之	主任研究員	助教授	3	0	0	0	0	2	50	0	0	0	0	0	0
高野温子	主任研究員	主任研究員	0	0	0	0	0	1	80	0	0	0	0	3	0
布施静香	研究員	研究員	0	0	0	0	0	4	77	0	0	0	1	0	0
福田知子	研究員	研究員	0	0	0	0	0	3	108	0	0	0	0	1	0
山本伸子	研究員	研究員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江崎保男	研究部長/研究員	教授	0	0	0	2	0	3	40	0	0	0	5	6	1
田中哲夫	主任研究員	助教授	0	1	0	3	0	4	89	1	16	2	0	0	0
三橋弘宗	主任研究員	講師	6	0	1	5	0	5	275	9	310	0	4	0	1
大谷 剛	主任研究員	教授	5	7	2	3	3	15	1183	3	209	0	0	0	0
三谷雅純	主任研究員	助教授	1	0	0	0	0	5	170	0	0	0	0	0	4
遠藤菜緒子	研究員	研究員	0	0	0	0	0	2	247	1	47	0	0	0	0
田口勇輝	研究員	研究員	0	0	0	0	0	1	20	3	105	0	0	0	0
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	1
藤本真里	研究員	助手	1	2	0	0	3	1	?	0	0	0	0	0	1
赤澤宏樹	研究員	講師	0	0	0	0	3	0	0	1	5	3	0	0	0
嶽山洋志	研究員	研究員	0	0	0	1	3	1	166	0	0	3	0	0	0
田原直樹	主任研究員	教授	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0
山崎義人	研究員	研究員	0	0	0	0	3	2	60	0	0	3	0	6	1
服部 保	研究部長	教授	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石田弘明	研究員	講師	2	4	0	1	3	3	113	0	0	2	0	0	1
小館誓治	研究員	助手	2	4	0	2	3	7	389	6	381	0	0	0	1
橋本佳延	研究員	研究員	0	2	0	1	0	0	0	1	4	2	0	0	1
鈴木 武	研究員	助手	1	2	1	0	3	3	180	1	10	2	0	0	1
黒田有寿茂	研究員	助手	1	3	0	1	6	5	192	1	160	2	0	0	1
藤井俊夫	研究員	主任研究員	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0
合計			29	36	5	30	42	144	7898	53	1460	27	10	20	19

生涯学習事業						シンクタンク事業									
展示作成・実施						受託研究	収蔵庫・ジーンファームの公開	行政等支援						学会開催等支援	
常設展 (映像資料作成を含む)	企画展		ミニ企画展等					代表		実施件数	のべ受講者数	委員会など	相談・指導助言(来訪者)		相談・指導助言 (TEL・FAX・メール等)
	分担件数	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数			件数	受託金額 (万円)						
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	10	10	1
0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	2	16	27	21	0
1	0	0	0	0	0	1	170	0	0	0	5	8		10	1
0	0	0	1	0	1	0	0	1	6	19	2	17	40	80	2
0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	29	0	10	15	10	0
0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1		0	1
0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	20	30	11	0
0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1
0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	10	?	30	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	50	2	10	?	0	3
0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	80	3	?	0	11	0
0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	1	0	0	0	14	93	1	3	5	7	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	46	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	?	?	?	2	8	14	50	220	20	0
0	0	0	0	1	0	1	70	0	3	8	9	30	100	50	0
0	0	1	1	1	0	1	450	0	10	20	19	85	120	75	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	5	8	31	1
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	10	30	40	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	19	0	3	40	31	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	20	3	1	1	16	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123	60	100	90	0
0	0	0	0	0	0	2	175	1	0	0	23	150	0	200	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	18	15	0	90	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8	20	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	10	20	5	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	3	0
0	0	0	0	0	0	9	926	1	25	97	60	170	430	250	0
0	0	1	0	3	0	0	0	4	0	0	3	2	2	7	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0
0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	4	4	14	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	0	10	15	25	0
0	0	0	0	0	1	0	0	1	7	156	0	0	0	2	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	140	90	0	0
1	0	6	14	15	10	14	1791	11	110	696	317	823	1367	1280	12